



ホームページ・ビルダー SP

使い方ガイド

本書について

- ホームページ・ビルダー 22 のインストール・アンインストールに関する注意事項や Q&A 集などは、お使いの製品の PDF マニュアル「スターターブック」をご覧ください。
 - ※ PDF 形式のマニュアルを見るには、インターネット接続環境や Adobe® Acrobat® Reader などの PDF ファイルを閲覧できるソフトが必要です。PDF マニュアル「スターターブック」は、次の方法で見ることができます。
Windows® 10 の [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [JustSystems ツール&ユーティリティ -JustSystems 製品マニュアル] を選択し*1、[ホームページ・ビルダー 22 SP] から [マニュアル スターターブック] を選択します。
 - *1 Windows 8.1 の場合は、Windows のアプリ一覧画面で [JustSystems 製品マニュアル] をクリックします。
 - ※ J-License の場合は、本製品のダウンロードファイルを解凍して作成されたフォルダー内の [MANUAL] フォルダーにある [hpb22 スターターブック.pdf] をダブルクリックします。
- 本書は、ホームページ・ビルダー 22 SP、WordPress 5.3 を使用しているものとして解説しています。お使いのホームページ・ビルダー SP / WordPress / hpb ダッシュボードプラグインのバージョンによっては、記載された内容が異なる場合があります。
 - ※ 本書では、ホームページ・ビルダー 22 SP を「ホームページ・ビルダー SP」と表記しています。
- OS は Windows 10、ディスプレイは 1024 × 768 ドット (ピクセル) の画面を使用しています。Windows 10 以外を使用している画面もあります。
 - ※ お使いの OS やディスプレイの設定によっては、画面表示や画面の大きさ、OS の操作が本書と異なる場合があります。
- 本書で説明している内容・画面は開発中のものであり、実際の製品の仕様・画面とは異なる場合があります。

目次

ホームページ・ビルダー SP でできること	4
はじめの確認事項	7
サイトタイプを決める	7
ホームページの作成・公開手順を確認する	8
ホームページの公開場所(サーバー)を準備する	9
ホームページ・ビルダー SP の画面	11
サイトを作成する	16
サイトを作成する	16
ページの構成や属性を変更する	20
ページを編集する	22
パーツの種類	23
パーツ編集の基本操作	27
文字を編集する	30
画像を編集する・差し替える	32
サイトナビゲーションの項目を変更する	36
表を編集する	39
地図を設定する	40
問い合わせフォームを設定する	42
商品紹介・お知らせ・ブログなどの記事を作成するー通常サイトー	45
インターネットから記事を投稿する部分の設定をするーWordPress サイトー	52
ページのレイアウトやスタイルを変更する	58
ページの見え方を確認する	60
編集したサイトを保存する	62
サイトを公開するー通常サイトー	64
手順 1 : 情報を準備する	65
手順 2 : 転送の設定をする	66
手順 3 : サイトを転送・公開する	69
サイトを公開するーWordPress サイトー	70
手順 1 : 情報を準備する	71
手順 2 : 転送の設定をする	72
手順 3 : サイトを転送する	77
手順 4 : 転送したデータを反映(公開)する	78
インターネットから記事を投稿する	81
ページを工夫する	83
文字や画像にリンクを設定する	84
YouTube 動画や、ビデオ・サウンドを入れる	88
写真と文章でコラムを作る	90
写真を動きのある演出で見せるーフォトモーションー	92
写真と説明文を並べて商品紹介をするーアイテムギャラリーー	95
ソーシャルネットワークを利用する	100
ページに SEO 設定をする	103
Google アナリティクスの設定をする	105
アクセスカウンターを設置する	106
ネットショップのカートを設置する	107
付録 1 : パーツの設定	109
パーツのプロパティ	109
パーツのデザイン選択	128
パーツのスタイル	129
操作ボタン	136

付録2:転送のトラブル Q&A 集	141
転送の確認事項	144
付録3:データ移行の Q&A 集	150

- 「ホームページビルダー」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本マニュアル(紙媒体または電子データで提供するものを含まず)は株式会社ジャストシステムが作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社ジャストシステムに帰属します。使用許諾契約書の条項のほか、以下の点も合わせてご確認ください。
 - 1.お客様は、マニュアルを現状の内容のまま、もしくは編集・修正して、画面上もしくは紙資料として利用することができます。ただし、これを第三者へ提供したり、貸し出しすることはできません。
 - 2.マニュアルの内容の一部または全部を、株式会社ジャストシステムの書面による許可なく複写、複製して頒布することは、その形態を問わず禁じます。
- マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

◆ ホームページ・ビルダー SP でできること

ホームページ・ビルダー SP を使うと、より直感的な操作でページを編集して、思い描くイメージとおりのホームページを作成できます。

1 テンプレートを選択



2 ページを編集

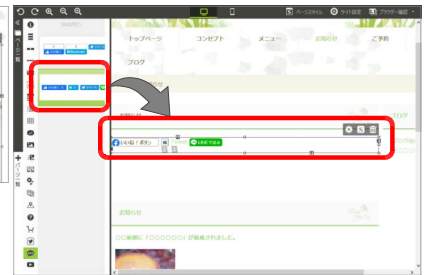
● 設定をカスタマイズ



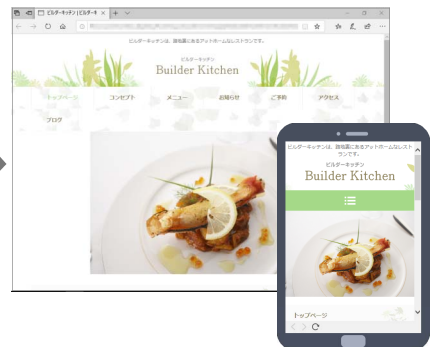
● 配置を調整



● 新しいパーツを貼る



3 サイトを転送・公開



デザイン・業種を選択するだけでサイト作成

テンプレートから好みのデザインを選択し、業種を選択するだけで、ホームページのサイトと必要なページを作成できます。



●ロングスクロール SP テンプレート

「ロングスクロール SP テンプレート」は、スマートフォンに最適化されたテンプレートです(パソコンにも対応しています)。

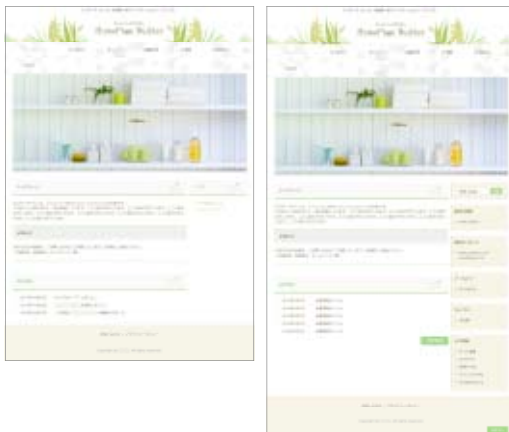
1 ページに多くの情報を集約させ、スクロール操作で情報を見てもらうことができます。企業のイメージアップや人材募集など、スマートフォンからのアクセスを成果につなげたいサイト作りに役立ちます。

サイト作成時に、サイトの「目的」(人材募集・問合せ受付など)も選択でき、選択した目的に合わせた内容のコンテンツが用意されます。



一般的なホームページも WordPress サイトも作成可能

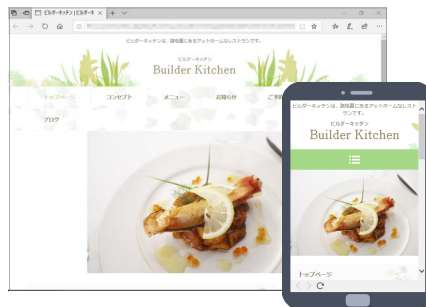
一般的なホームページも、WordPress サイトも作成できます。






※ホームページ作成時にどちらにするかを選択します。作成後に変更することはできません。

パソコン・スマートフォンに対応 —モバイルフレンドリー—

テンプレートから作成したページは、スマートフォンにも対応し、自動で最適な形式で表示されます。スマートフォン専用ページを作成する必要がありません。スマートフォンでの見え方は、ホームページ・ビルダー SP でも確認できます。



パーツを好みにカスタマイズ

ページに配置されたパーツの設定変更はとても簡単です。パーツをクリックして  /  /  をクリックし、設定を変更します。設定変更がすぐページに反映されるので、どんどんカスタマイズを試せます。

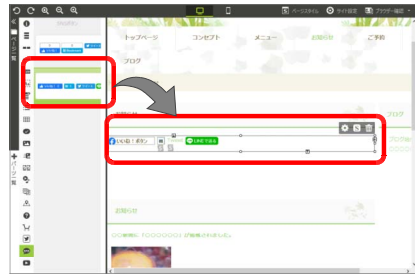


パーツの位置変更、サイズ変更もマウス操作で行えます。



パーツをドラッグ&ドロップで貼り付け

新しいパーツの配置は、パーツ一覧からのドラッグ&ドロップで完了します。



◆はじめの確認事項

ホームページビルダー SP では、テンプレートを利用してホームページのページとサイトを作成します。ホームページビルダー SP で作成できるホームページには、2つのサイトタイプがあります。はじめに、タイプの違いを確認し、自分のホームページのサイトタイプを決めます。サイトタイプが決まったら、選択したタイプに応じたホームページの作成・公開手順を確認します。ホームページの公開場所(サーバー)も準備します。

サイトタイプを決める

ホームページビルダー SP では、「通常」「WordPress」の2つのサイトタイプのホームページを作成できます。作成できるページはほぼ同じですが、サイトの公開方法や管理・運用方法、ページに配置できるパーツなどに違いがあります。違いを確認し、どちらのタイプのホームページを作成するかを決めます。

●通常

以前から一般的によく使われている、HTML をベースにしたホームページです。ホームページビルダー SP でページを編集してページを更新していきます。



ホームページビルダー SP で記事を投稿して更新する部分

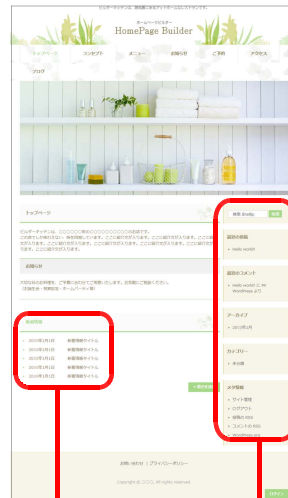
トップページの「新着情報」や「ブログ」、商品紹介・お知らせ・ブログなどのページには、「投稿一覧」という部分があります。この部分は、ホームページビルダー SP で記事を作成して投稿することで、更新していきます。

★ポイント WordPress とは

インターネットのサーバーで動作する、ブログを書くような感覚で文章や写真を投稿して、ホームページを更新するオープンソースのプログラムです。ホームページビルダー SP で作成したホームページの枠組みと、インターネットから投稿した文章や写真とをまとめて1つのホームページにする役割をします。

●WordPress

WordPress を利用したホームページ(WordPress サイト)です。ホームページの枠組みはホームページビルダー SP で作成しますが、ブログを書くような感覚でインターネットから文章や写真を投稿して、ページを更新していきます。



インターネットから記事を投稿して更新する部分

ウィジェットエリアが自動配置される

- サイトの公開先サーバーに、WordPress のプログラムが必要です。
 - サイトのページは、ホームページビルダー SP で編集する部分と、インターネットから記事を投稿して更新する部分とで構成されています。
 - サイトのページには、WordPress のウィジェットエリア*1 が自動的に配置されます。
- *1ウィジェットエリアの内容は、ホームページビルダー SP では設定できません。
- パソコン以外に、スマートフォンやタブレット端末などから記事を投稿できます。

WordPress サイトは、どこからでも、いつでも、誰でもが、ページを更新できるのが、大きな特長です。



ホームページの作成・公開手順を確認する

ホームページの作成・公開手順は、サイトタイプによって異なります。
通常サイトの場合は、すべての操作をホームページビルダー SP で行います。
WordPress サイトの場合は、ホームページビルダー SP で行う操作(SP)と、WordPress の管理画面で行う操作(WP)とがあります。

●通常サイトの場合

1 サイトを作成する SP

テンプレートのデザインを選択し、ホームページのページとサイトを作成します。

2 サイトの構成を確認・変更する SP

ページの構成を確認し、必要に応じてページを追加・削除します。

3 ページを編集する SP

文字を編集したり画像を差し替えたりなど、ページに配置されているパーツを編集します。
ブログなどの記事の投稿も行います。

4 サイトを転送・公開する SP

サイトを公開先のサーバーに転送するための設定を行い、サイトを転送して、ホームページを公開します。

手順 1 : 情報を準備する

手順 2 : 転送の設定をする

手順 3 : サイトを転送・公開する

★ポイント WordPress の管理画面とは

ブラウザなどからアクセスする、WordPress の操作画面です。ホームページビルダー SP で作成した WordPress サイトの枠組みと、インターネットから投稿した記事の文章や写真の管理をします。
WordPress の管理画面では、転送した WordPress サイトのデータの反映、記事の投稿のほか、サイトバーの設定などを行います。

●WordPress サイトの場合

1 サイトを作成する SP

テンプレートのデザインを選択し、WordPress サイトのページとサイトを作成します。

2 サイトの構成を確認・変更する SP

ページの構成を確認し、必要に応じてページを追加・削除します。

3 ページを編集する SP

文字を編集したり画像を差し替えたりなど、ページに配置されているパーツを編集します。
インターネットから記事を投稿する部分など、WordPress サイト特有のパーツの編集も行います。

4 サイトを転送・公開する SP WP

サイトを公開先のサーバーに転送するための設定を行い、サイトを転送します。

転送後、WordPress にログインし、WordPress の管理画面でデータの反映を行ってサイトを公開します。

手順 1 : 情報を準備する

手順 2 : 設定の設定をする SP WP

手順 3 : サイトを転送する SP

手順 4 : 転送したデータを反映(公開)する WP
インターネットから記事を投稿する WP

ホームページの公開場所（サーバー）を準備する

ホームページを公開するには、インターネットに接続できる環境と、ホームページの公開場所（サーバー）が必要です。プロバイダーやレンタルサーバー会社などと契約し、サーバーを準備します。

※サーバーの準備がまだの方には、ホームページ・ビルダー サービスのレンタルサーバープランをお勧めします。

▶ P.8 ★ポイント ホームページ・ビルダー サービスとは

●通常サイト

作成するホームページの規模・目的・機能によって、それを満たすサーバーを準備します。

[例] 動画や写真をたくさん使ったホームページを作成したい

…容量が大きいサーバー

[例] オリジナルの URL (例「justsystems.com」) を使いたい

…独自ドメインを取得できるサーバー

[例] 問い合わせフォームやアクセスカウンターなどを設置したい

… CGI が提供されているサーバー

●WordPress サイト

公開場所のサーバーに、WordPress というプログラムがインストールされている必要があります。そのため、サーバーは、WordPress が動作する条件を満たしたものを準備する必要があります。

▶ P.9 WordPress サイトのサーバー動作環境

※ WordPress のプログラムは、ホームページ・ビルダーとは別に提供されているものです。

★ポイント ホームページ・ビルダー サービスとは

ジャストシステムが運営するホームページの公開・運営・管理サービスです。

「ぴったり 10GB プラン」「たっぷり 50GB プラン」などのレンタルサーバープランは、WordPress が動作する条件を満たしているのはもちろん、独自ドメインの取得や簡易 CGI の利用など、運用に便利なサービスをたくさん提供しています。

また、ホームページ・ビルダー SP との連携機能により、サイトの転送設定が簡単に行えます。

詳しくは、ホームページ・ビルダー サービスの Web ページ (<https://hpbs.jp/>) をご覧ください。

※ホームページ・ビルダー サービスの Web ページは、デスクトップ画面の [ホームページ・ビルダー サービスのご案内] をダブルクリックしてもご覧いただけます。

※ J-License の場合は、ホームページ・ビルダー サービスとの連携はありません。

★ポイント Just アカウントとは

ジャストシステムのネットサービスをご利用いただくためのアカウントです。

メールアドレス (または User ID) とパスワードで、ジャストシステムが提供する複数のネットサービスを利用できます。

ジャストシステム製品のユーザー登録、ホームページ・ビルダー サービスの申し込みなどを行うと、User ID (お客様番号) の発行とともに Just アカウントに登録されます。

！注意 1つのサーバーに複数のサイトを公開する場合

- サイトの URL が重複しないよう、サブドメインを追加してサブドメインに別のサイトを公開するか、サーバーに新しいフォルダーを作成してそのフォルダーの中に別のサイトを公開します。
- サイト単位で専用の FTP アカウントを作成し、サイトごとに専用の転送設定を作成して使い分けると、まちがって別のサイトに更新してしまうなどのミスを防ぐことができます。
- 通常サイトと、WordPress サイトを 1つのサーバーの同じ場所に公開した場合、一般的には、通常サイトが優先して表示され、WordPress サイトは表示されません。

サーバーから通常サイトと WordPress サイトをいったん削除して WordPress サイトを公開しなおすか、通常サイトのトップページのファイル名 (index.html) を別の名前に変更してください。

※ホームページ・ビルダー サービスに公開したサイトを削除する方法については、Web のサポート FAQ をご覧ください。

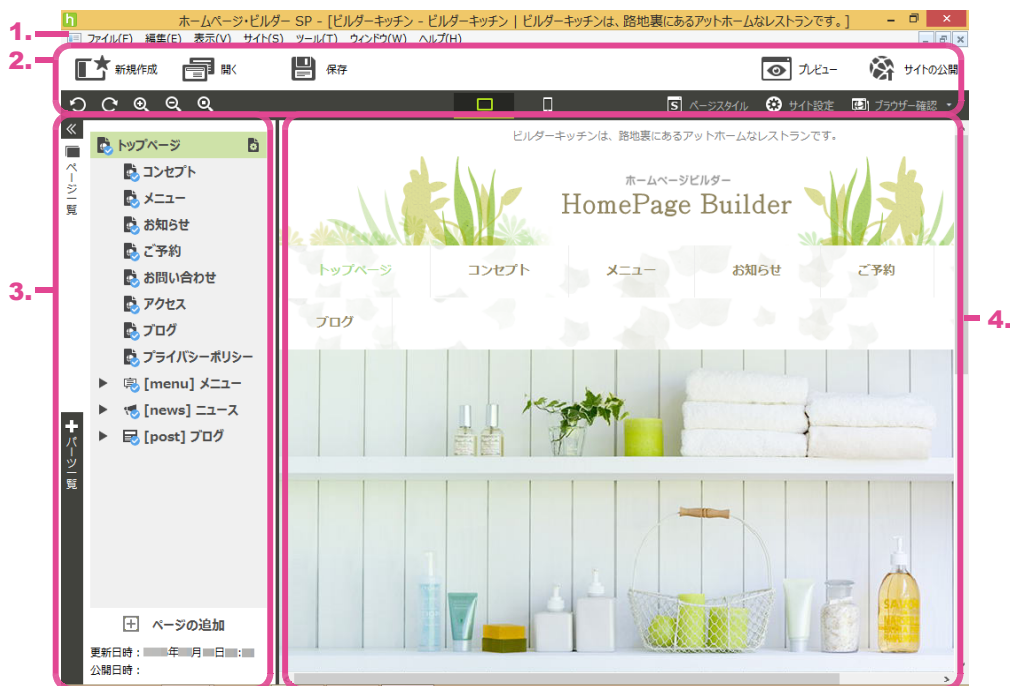
<https://support.justsystems.com/jp/>

WordPress サイトのサーバー動作環境

ホームページビルダーサービスをお使いの場合	そのほかのプロバイダーやサーバーをお使いの場合
<p>次のプランのサーバーは WordPress が動作する条件を満たしており、WordPress サイトの公開サーバーとして使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none">● ぴったり 10GB プラン● たっぷり 50GB プラン <p>※ WordPress をあらかじめインストールしておく必要はありません。ホームページビルダー SP で WordPress サイトの転送設定を作成するときに、WordPress をインストールできます。</p>	<p>確認事項① WordPress 5.3 以上(日本語版)がインストールされているか確認する</p> <ul style="list-style-type: none">→ インストールされている場合は、WordPress が動作する条件を満たしています。WordPress サイトの公開サーバーとして使用できます。→ インストールされていない場合は、「確認事項②」に進みます。 <p>確認事項② 次の条件を満たしているか確認する</p> <ul style="list-style-type: none">● PHP バージョン 7.1 以上が利用できる● MySQL バージョン 5.0 以上が利用できる● Apache mod_rewrite モジュールが利用できる*1 <ul style="list-style-type: none">→ 条件を満たしている場合は、WordPress サイトの公開サーバーとして使用できます。 <p><u>WordPress を使うために、MySQL (データベース)の設定を行っておいてください。</u></p> <p>※ WordPress をあらかじめインストールしておく必要はありません。ホームページビルダー SP で WordPress サイトの転送設定を作成するときに、WordPress をインストールできます。</p> <ul style="list-style-type: none">→ 条件を満たしていない場合は、条件を満たしたサーバーをご検討ください。 <p>*1 パーマリンクと呼ばれる簡潔な URL 形式を使用する場合に必要となります。</p>
<p>※詳しくは、プロバイダーやサーバー管理者にお問い合わせください。</p> <p>※ WordPress の動作環境については下記 URL をご覧ください。 https://ja.wordpress.org/</p>	

◆ ホームページ・ビルダー SP の画面

ホームページ・ビルダー SP の画面について、主な部分の名前と基本的な機能を紹介します。



* 画面は通常サイトのものです。

1. メニューバー

ドロップダウン形式でコマンドが表示されます。
サイトを開いているかいないかによってコマンドが変わります。

2. ナビバー

上下の2段があり、よく使う機能のボタンが表示されます。
サイトを開いていないときは、下段のボタンは表示されません。

▶ P.11 ナビバー

3. ビュー

サイトを構成しているページの一覧、ページに配置できるパーツの一覧が表示されます。
タブをクリックして一覧を切り替えます。

▶ P.12 ビュー

4. ページ編集領域

ページを編集したり、ページの見え方を確認したりします。
ナビバーの「プレビュー」をクリックすることにより、編集画面（ページ編集画面）／見え方の確認画面（プレビュー画面）が切り替わります。

▶ P.59 ページの見え方を確認する

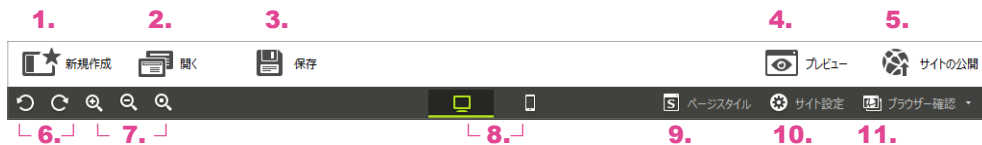
ナビバー

上下の2段で構成されます。

上段には、ホームページ作成の流れに沿って必要な操作のボタンが表示されます。下段には、編集や表示などに関する操作のボタンが表示されます。

※ナビバーが表示されていない場合は、メニューバーから[表示-ナビバー]を選択します。

※サイトを開いていないときやプレビュー画面では、下段のボタンは表示されません。



1. 新規作成

新しいサイトを作成します。

2. 開く

作成したサイトを開きます。

3. 保存

サイトを上書き保存します。

4. プレビュー

ページ編集領域をプレビュー画面に切り替えて、ページの見え方を確認します。もう一度クリックすると、ページ編集画面に切り替わり、ページを編集できます。

5. サイトの公開

サイトを公開先のサーバーに転送します。

6. 操作を元に戻す／やり直す

直前に行った操作を元に戻したり、元に戻した操作をやり直したりします。

※[ツール-オプション]の[一般]タブにある[操作の取り消し/やり直し]で、何回前まで戻せるようにするかを設定できます。

前回保存した状態に戻す

ページを編集してレイアウトがひどく崩れたり、操作を元に戻せなくなったりした場合に、メニューバーから[編集-前回保存した状態に戻す]を選択すると、ページを前回保存した状態に戻すことができます。

※前回保存したときから現在までの編集内容は失われます。

7. 編集領域の拡大／縮小／表示倍率をリセット

ページ編集画面の表示倍率を少しずつ拡大／縮小したり、起動時の表示倍率に戻したりします。

※プレビュー画面の表示倍率は変更されません。

※[ツール-オプション]の[表示]タブにある[編集ページの拡大表示]で、起動時の表示倍率や拡大／縮小ボタンをクリックしたときの動きを設定できます。

表示倍率の変更

メニューバーから[表示-編集ページの拡大表示]を選択すると、800%～12%の表示倍率に変更したり、ページ幅やページ全体が収まる表示倍率に変更したりできます。

8. ターゲットブラウザの切り替え PC /スマートフォン

ページ編集画面の表示を、パソコン用 / スマートフォン用に切り替えます。

ターゲットブラウザを切り替え後にプレビュー画面に切り替えると、パソコン / スマートフォンでのページの見え方を確認できます。

9. ページスタイル

ページの文字や背景の設定を変更したり、ヘッダー・フッター・サイドバーなどのパーツの文字や背景の設定を変更したりします。

10. サイト設定

ページのレイアウトを変更したり、ヘッダー・フッター・パンくずリストなどのパーツを表示するかしないかを設定したりします。

レスポンシブデザイン(モバイルフレンドリー)にするかしないか、ページ内リンクを移動するとき画面をスクロールにするかしないかの設定もできます。

サイト作成時に設定したサイトのタイトルやキャッチフレーズを変更することもできます。

11. ブラウザー確認

ブラウザを起動し、ブラウザでの見え方を確認します。クリックすると、インストールされているブラウザの一覧が表示され、起動するブラウザを選択できます。

※インストールされていると選択できるブラウザは、Microsoft® Edge / Internet Explorer® / Firefox® / Google Chrome™ / Opera です。

★ポイント ページ編集画面のフォント

[表示-編集表示の設定]で、ページ編集画面に表示される文字のフォント・サイズを指定できます。

ビュー



3種類のビューがあります。

- ページ一覧 ビュー / パーツ一覧 ビュー

画面の左にドッキングして表示されます。タブをクリックしてビューを切り替えます。開いているビューのタブをクリックすると、ビューが閉じます。

※ビューが表示されていない場合は、メニューバーから[表示-ページ一覧 ビュー / パーツ一覧 ビュー]を選択します。

- パーツのプロパティ ビュー

ページ上のパーツを選択してをクリックしたときにフローティングして表示されます。ビューのタイトルバー右端のをクリックすると、ビューが閉じます。

※メニューバーから[表示-パーツのプロパティ ビュー]を選択しても[パーツのプロパティ]ビューを表示できます。

● ページ一覧 ビュー

サイト内のページが一覧表示されます。ページのタイトルをクリックすると、クリックしたページの内容を編集できます。







● 通常サイト









● WordPress サイト






※タイトルの前のマークはサイトタイプやページの種類によって変わります。マークによって違いを見分けることができます。

通常サイトでは、一般的なページにはが表示されます。投稿記事アーカイブページには、左側にが表示され、をクリックすると投稿記事ページがツリー構造で表示されます。投稿記事アーカイブページ / 投稿記事ページには、投稿タイプに応じたマーク(, , など)が表示されます。


WordPress サイトでは、一般的なページにはが表示されます。投稿記事アーカイブ(スタイル確認/設定用)ページにはが表示され、左側にが表示されます。をクリックすると投稿記事(スタイル確認/設定用)ページがツリー構造で表示されます。

▶ P.14 ポイント WordPress サイトの投稿記事アーカイブ(スタイル確認/設定用)ページ / 投稿記事(スタイル確認/設定用)ページの役割


※は、ページのステータスが「公開する」になっていることを示します。ステータスを「下書き」に変更するとが消えます。

通常サイトの投稿記事アーカイブページには、ページのステータスはありません。常にが表示されます。


WordPress サイトの投稿記事アーカイブ(スタイル確認/設定用)ページ / 投稿記事(スタイル確認/設定用)ページには、ページのステータスはありません。常に公開されません。

をクリックすると、ページのタイトルやステータスの変更などができます。

▶ P.20 ページの構成や属性を変更する



をクリックするとページを削除できます。

※トップページは削除できません。

ページの追加をクリックすると、ページを追加できます。

[更新日時]には、サイトを保存した日時、[公開日時]には、サイトを最後に転送した日時が表示されます。

ページのタイトル上で右クリックするとメニューが表示され、ページの変更や削除、ページの複製、ページの追加ができます。

★ポイント WordPress サイトの  投稿記事アーカイブ(スタイル確認/設定用)ページ /  投稿記事(スタイル確認/設定用)ページの役割

WordPress サイトの投稿記事アーカイブ(スタイル確認/設定用)ページ / 投稿記事(スタイル確認/設定用)ページは、WordPress によって作成・管理される投稿記事アーカイブページ / 投稿記事ページの、デザイン・スタイルを確認・設定するためのものです。

※スタイル確認/設定用ページのため、ページの変更や削除、ページの複製はできません。

投稿記事アーカイブ(スタイル確認/設定用)ページまたは投稿記事(スタイル確認/設定用)ページにある「投稿一覧」パーツのデザイン・スタイルを設定することで、投稿記事アーカイブページ / 投稿記事ページの記事部分のデザイン・スタイルを設定することができます。

▶ P.56 投稿記事アーカイブページ / 投稿記事ページのデザイン・スタイルを設定する

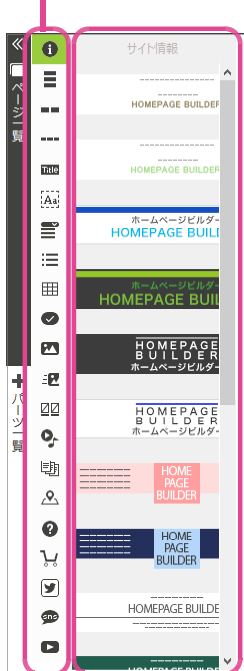
※投稿記事アーカイブ(スタイル確認/設定用)ページまたは投稿記事(スタイル確認/設定用)ページにある「投稿一覧」パーツの、プロパティを設定することはできません。

● パーツ一覧 ビュー

ページに配置できるパーツが一覧表示されます。パーツの種類を選択し、パーツを選択したら、ページにパーツをドラッグ&ドロップして配置します。

▶ P.30 新しいパーツを配置する

パーツの種類を選択



パーツを選択

パーツの種類アイコンにポインタを合わせると、種類の名前を表示して選択できます。



* 画面は、通常サイトのものです。

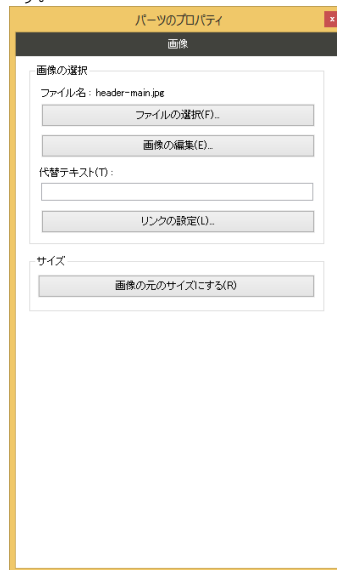
● パーツのプロパティ ビュー

ページ上で選択しているパーツに対して設定できる項目が表示されます。

設定を変更すると、ページに変更が反映されます。

▶ P.29 パーツの設定を変更する

※地図など一部のパーツは、プレビュー画面で確認する必要があります。



★ポイント ドッキングしているビューのタブの上下位置を入れ替える

ドッキングしているビューのタブ上で右クリックし、[後方へ移動] / [前方へ移動] を選択します。

★ポイント ビューのドッキング・フローティングを切り替える

ビューのドッキング・フローティングは、簡単に切り替えることができます。

● ビューをドッキングさせる

フローティングしているビューのタイトルバーをダブルクリックします。ビューが画面の横にドッキングします。

● ビューのドッキング位置を変更する

ドッキングしているビューのタブを画面の反対の端にドラッグすると、ドッキング位置を画面の反対側に変更できます。

● ビューをフローティングさせる

ドッキングしているビューのタブ上でダブルクリックするか、タブをページ編集領域までドラッグします。ビューがフローティングします。ビューのタイトルバーをドラッグして使いやすい位置に移動します。

◆ サイトを作成する

テンプレートを使ってホームページのページとサイトを作成します。

サイトを作成する

テンプレートのデザインを選択し、業種やサイトタイプなどの選択を行って、ホームページのページとサイトを作成します。

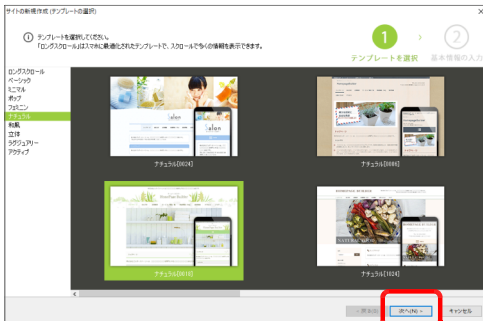
1 サイトの作成を始める

1. ナビバーの[新規作成]をクリックします。



2 テンプレートを選択する

1. 左側の一覧からテンプレートの種類を選択し、右側の一覧から作成したいデザインを選択します。

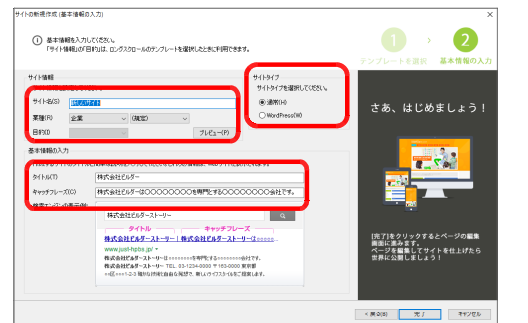


「ロングスクロール」のテンプレートは、スマートフォンに最適化されたテンプレートです。スクロール操作で多くの情報を表示できるデザインになっています。

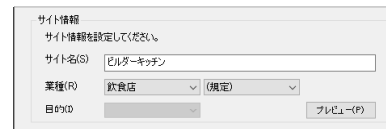
※パソコンにも対応しています。

2. **次へ** をクリックします。

3 基本情報を入力する



1. [サイト情報]の[サイト名]に、サイト名を入力します。



サイト名

ホームページ・ビルダー SP でサイトを開くときなどに表示されるサイトの名称です。サイトの内容や目的がわかる名前を付けておきましょう。

- ▶ P.18 **★ポイント** サイト名、タイトル、キャッチフレーズを変更する

つづ➡

2. [業種]の選択欄をクリックし、業種を選択します。

ここでは1つ目の選択欄で[飲食店]を選択します。必要に応じて、2つ目の選択欄で、業種の詳細を選択します。

業種の選択

選択した業種によって、サイトのページ構成や内容が異なります。

[例] クリニック:治療方針、診療案内
企業:特定商取引法に関する記述 など

！注意 業種はあとから変更できません

作成したいサイトの業種にできるだけ近い業種を選択しておいてください。

3. 操作 2-1. で「ロングスクロール」のテンプレートを選択した場合は、必要に応じて、[目的]の選択欄をクリックし、サイトの目的を選択します。

目的の選択

選択した目的によって、サイトのページ構成や内容が異なります。

例えば、[業種]で[企業]、[目的]で[人材募集]を選択した場合、「採用情報」「募集要項」などの「人材募集」に適したコンテンツが用意されます。

！注意 目的はあとから変更できません

作成したいサイトの目的にできるだけ近い目的を選択しておいてください。

4. プレビュー をクリックし、[ページ]のタイトルを順番にクリックして[プレビュー]でページの内容を確認し、閉じる をクリックします。

5. [基本情報の入力]で、[タイトル]と[キャッチフレーズ]を入力します。

タイトル

タイトルは、サイトの閲覧時にブラウザのタイトルバーに表示されたり、検索サイトの検索結果に表示されたりします。

キャッチフレーズ

キャッチフレーズは、サイトのトップページの閲覧時にブラウザのタイトルバーに表示されたり、検索サイトの検索結果に表示されたりします。

ページのヘッダー部分にも表示されます。

※「ロングスクロール」のテンプレートを利用して作成したサイトの場合、ページのヘッダー部分にキャッチフレーズは表示されません。

▶ P.18 ★ポイント サイト名、タイトル、キャッチフレーズを変更する

6. [サイトタイプ]で、[通常]または[WordPress]を選択します。

ここでは[通常]を選択します。

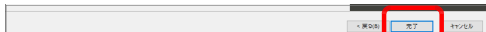
▶ P.7 サイトタイプを決める

！注意 サイトタイプはあとから変更できません

つづ➡

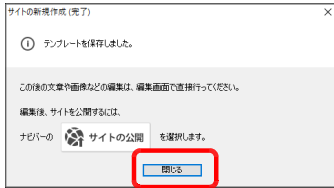
4 サイトを作成する

1. **完了** をクリックします。

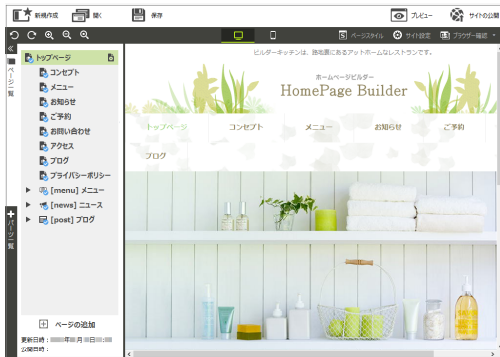


テンプレートの保存を案内する画面が表示されます。

2. **閉じる** をクリックします。

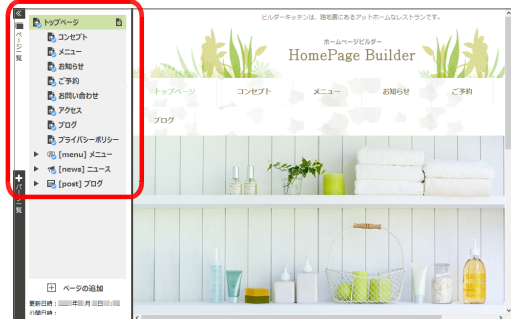


ホームページのページとサイトが作成され、ページ編集画面にサイトのトップページが表示されます。



5 ページの構成と内容を確認する

1. 画面左の[ページ一覧]ビューのページ一覧で、サイト内のページの構成を確認します。



2. ページ一覧のタイトルを順番にクリックして、ページ編集画面に表示されるページの内容を確認します。



！注意 同じサイト内のページを同時に複数開くことはできません
ほかのページを開いたときに、現在開いているページは自動的に閉じられます。

★ポイント サイト名、タイトル、キャッチフレーズを変更する

サイト作成後にサイト名を変更するには、メニューバーから[サイト-サイトの一覧]を選択し、一覧で目的のサイトを選択して **変更** をクリックします。タイトル、キャッチフレーズを変更するには、サイトを開いているときに、ナビバー下段にある[サイト設定]をクリックします。

★ポイント サイトを閉じる



メニューバーから[ファイル-サイトを閉じる]を選択します。

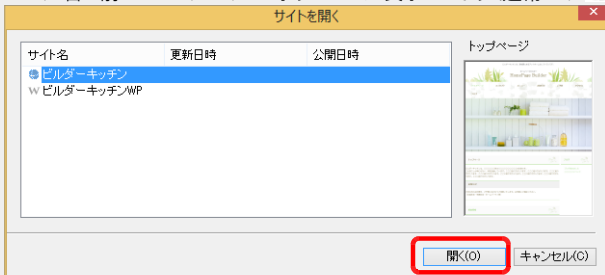
★ポイント サイトを開く

1. ナビバーの[開く]をクリックします。



2. 一覧から開きたいサイトを選択して 開く をクリックします。

※サイト名の前には、サイトタイプを示すマークが表示されます(通常サイト  / WordPress サイト )。



サイトが開き、ページ編集画面にサイトのトップページが表示されます。

★ポイント サイトを削除する

試しに作成したサイトなど、必要がなくなったサイトは削除することができます。

削除したいサイトを閉じ、メニューバーから[サイト-サイトの一覧]を選択し、一覧から削除したいサイトを選択して 削除 をクリックします。確認のメッセージで OK をクリックすると、サイトの一覧からサイトが削除され、パソコン内に保存されていたサイトのデータも削除されます。

ページの構成や属性を変更する

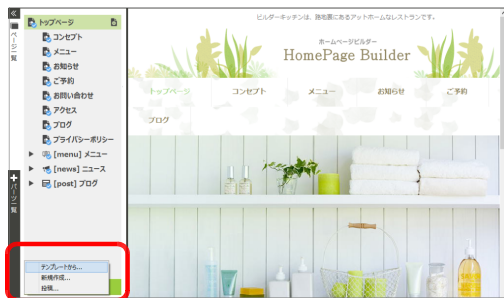
ページを追加したり、階層化したりして、ホームページを好みの構成にします。また、作成途中のページを「下書き」というステータスにして、公開しないページに設定することもできます。

ここでは、「季節のメニュー春」というページを新しく追加し、作成済みの「メニュー」ページの下階層に配置し、公開しない「下書き」のページにする例を説明します。

※作成済みのページのタイトルを変更したり、ページを階層化したりしたいときは、操作 **2** から始めます。

1 ページを追加する

1. [ページ一覧]ビューで **[+]** ページの追加 をクリックし、表示されるメニューから [テンプレートから] を選択します。

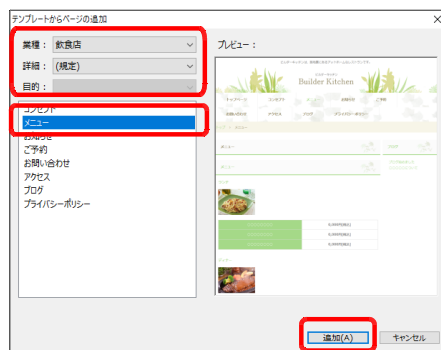


作成済みのページと似た内容のページを追加する

[ページ一覧]ビューでページのタイトルを右クリックし、表示されるメニューから [ページの複製] を選択します。[ページ一覧]ビューに「○○のコピー」という名前のページが追加されます。

※右クリックして表示されるメニューに [ページの複製] が表示されないページは、複製できません。

2. [業種] の選択欄をクリックして業種を選択します。
ここでは、サイト作成時に選択した業種 [飲食店] を選択します。
必要に応じて、[詳細] の選択欄で業種の詳細を選択します。
3. 必要に応じて、[目的] の選択欄でサイトの目的を選択します。
※ [目的] は、「ロングスクロール」のテンプレートを利用して作成したサイトの場合に選択できます。
4. 一覧から追加したいページを選択します。
[メニュー] のページを選択します。



目的のページが見つからない場合

- [業種] / [詳細] / [目的] をほかのものに切り替えて、近いページがないかを探します。ページに配置されるパーツや文章は、業種 / 詳細 / 目的によって異なるため、作成したいサイトに近いものを選択すると、このあとのページ編集の手間が少なくなります。
- 最小限のパーツだけが配置されたシンプルなページを追加して自分でページをカスタマイズします。シンプルなページを追加するには、[ページ一覧]ビューで **[+]** ページの追加 をクリックし、表示されるメニューから [新規作成] を選択します。タイトルなどを設定して **OK** をクリックすると、[ページ一覧]ビューにページが追加されます。


5. **追加** をクリックします。

[ページ一覧]ビューに「メニュー 1」というタイトルのページが追加され、ページ編集画面にページの内容が表示されます。また、ページ上部のサイトナビゲーションの最後に、「メニュー 1」という項目が追加されます。



つづく →

2 ページのタイトルや属性を変更する

1. [ページ一覧]ビューで、追加されたページをクリックし、をクリックします。



2. [タイトル]に、「季節のメニュー春」と入力します。

タイトル

ページのタイトルは、ページの閲覧時にブラウザのタイトルバーに表示されます。

3. [ステータス]の選択欄をクリックして、[下書き]を選択します。

下書きのページ

- 通常サイトの場合は、ページが転送されません。サイトを公開したときには代わりに、「作成中です」という仮のページが表示されます。
- WordPress サイトの場合は、WordPress の管理画面でデータを反映するときに、「公開しない」ページに設定されます。

ページの内容が完成したら、[ステータス]を[公開する]に変更して公開してください。


4. [親ページ]の選択欄をクリックして、[メニュー]を選択します。


「メニュー」ページと「季節のメニュー春」ページとが、「親」-「子」の階層関係を持つようになります。

ページの設定 (通常サイト)	×
タイトル(T):	季節のメニュー春
ステータス(S):	下書き
親ページ(P):	メニュー
<input type="checkbox"/> ページ内容の表示(C)	
ファイル名(N):	menu1 .html
SEO設定(E)...	OGP設定(G)...
OK	キャンセル

* 画面は通常サイトのものです。

★ポイント ページを削除する

[ページ一覧]ビューで削除したいページをクリックし、をクリックします。

※ が表示されないページは、削除できません。

5. **OK** をクリックします。

3 ページのタイトルや属性を確認する

1. [ページ一覧]ビューで、ページのタイトルと属性の変更を確認します。

[ページ一覧]ビューのページタイトルが「季節のメニュー春」に変更され、「メニュー」ページと「季節のメニュー春」ページとが階層関係になります。また、「下書き」のステータスにしたため、タイトルの前のマークから（公開する）が消えます。



2. 「季節のメニュー春」ページで、ページのタイトルと属性の変更を確認します

ページ上のページタイトルとサイトナビゲーションの最後の項目が「季節のメニュー春」に変更されます。また、パンくずリストが「トップ > メニュー > 季節のメニュー春」と階層関係になります。



3. サイトナビゲーションの項目も、ページ構成に合わせて階層化します。

▶ P.36 サイトナビゲーションの項目を変更する

◆ ページを編集する

ページに配置されているパーツの設定を変更したり、位置や大きさを調整したりして、ページの内容を目的に応じたものに編集します。

通常サイトの場合は、商品紹介・お知らせ・ブログなどの記事を作成します。

WordPress サイトの場合は、インターネットから記事を投稿する部分の設定を行います。

最初にパーツの種類と基本操作を確認しておきましょう。

- パーツの種類 ▶ P.23
- パーツの基本操作 ▶ P.28

主なパーツを編集していきます。

- 文字を編集する ▶ P.29
- 画像を編集する・差し替える ▶ P.31
- サイトナビゲーションの項目を変更する ▶ P.35
- 表を編集する ▶ P.38
- 地図を設定する ▶ P.39
- お問い合わせフォームを設定する ▶ P.41
- 商品紹介・お知らせ・ブログなどの記事を作成する **通常サイト** ▶ P.44
- インターネットから記事を投稿する部分の設定をする **WordPress サイト** ▶ P.51
- ページのレイアウトやスタイルを変更する ▶ P.58

ページを編集したときは、ページの見え方を確認し、サイトを上書き保存します。▶ P.59 、▶ P.61

！注意 WordPress サイトのページは、WordPress の管理画面でも編集できるため注意が必要です

WordPress サイトは、ページの枠組みをホームページ・ビルダー SP で作成しますが、枠組み部分は、WordPress の管理画面でも編集できます。

そのため、WordPress の管理画面で枠組み部分を編集し、そのあとホームページ・ビルダー SP で同じ部分を別の内容に編集してサイトの公開・データの反映を行うと、枠組み部分は、ホームページ・ビルダー SP で編集した内容で上書きされてしまいます。WordPress の管理画面で編集した内容は失われます。

WordPress の管理画面で枠組み部分を編集した場合は、そのあとホームページ・ビルダー SP で枠組み部分の編集・サイトの公開・データの反映をしないでください。

パーツの種類

ページに配置されているパーツには、主には次のものがあります。

※ ページ上のパーツにポインターを合わせると、操作の対象となる部分がハイライト表示され、左上にパーツの種類が表示されます。

パーツをクリックすると、「フォーカス枠」と操作ボタン(   )が表示され、パーツの設定を変更したりパーツを削除したりできます。

▶ P.28 パーツ編集の基本操作

● 通常サイトのページ



● WordPress サイトのページ



* < ページ共通 > は、サイト内で共通のパーツです。あるページのパーツの設定を変更すると、ほかのページのパーツにも変更が反映されます。

① サイト情報 < ページ共通 >

サイトの「キャッチフレーズ」、社名・店名やロゴ画像の「サイトタイトル」、住所などを入力できる「サイト情報拡張」の3つのパーツで構成されています。

※「ロングスクロール」のテンプレートを利用して作成したサイトの場合は、ページ上には「サイトタイトル」だけが表示されます。キャッチフレーズを変更するには、ナビバー下段の[サイト設定]をクリックします。

ロゴ画像を変更するには、お持ちのロゴ画像ファイルに差し替えるか、目的のロゴになるよう画像を編集します。▶ P.31

サイト情報拡張には、直接文字を入力したり書き換えたりできます。

② サイトナビゲーション < ページ共通 >


サイト内のページの一覧です。各ページの項目にはリンクが設定されており、クリックするとそのページにジャンプします。

一覧の並び順を変更したり、特定のページを一覧に表示しないようにしたりなど、カスタマイズできます。インターネット上のほかのサイトにリンクする項目を追加することもできます。▶ P.35

③画像

写真の画像や、写真と文字とを組み合わせた合成画像です。別の画像ファイルに差し替えたり、画像を編集したりできます。▶ P.31

④ページタイトル

ページ上に表示されるページタイトルは、初期設定では[ページ一覧]ビューのページタイトルと連動しています。ページタイトルと異なる文字列にしたい場合は、パーツをクリックしてをクリックし、[別の文字列]を選択して文字列を変更します。

⑤ページ内容

文字や画像など、ページの内容を配置する領域です。文字は直接書き換えることができます。

⑥投稿一覧

通常サイトの場合

記事を投稿して作成する部分です。どのような記事を投稿するかの設定と、記事の作成をホームページ・ビルダー SPで行います。

▶ P.44 商品紹介・お知らせ・ブログなどの記事を作成する

WordPress サイトの場合

インターネットから記事を投稿して更新する部分です。どのような記事を投稿するかの設定はホームページ・ビルダー SPで行い、記事の投稿はWordPressの管理画面から行います。

▶ P.51 インターネットから記事を投稿する部分の設定をする

▶ P.81 インターネットから記事を投稿する

⑦テキストボックス

文字や画像、表などを入力・配置できるパーツです。文字は直接書き換えることができます。

⑧サイドバー<ページ共通>

レイアウトを調整するためのパーツです。空白にしたりほかのパーツを配置したりできます。

サイドバーの位置や幅を変更することで、ページのレイアウトを変更できます。▶ P.58

通常サイトでは多くの場合、「ブログ」記事の投稿一覧パーツが配置されます。

※「ロングスクロール」のテンプレートを利用して作成したサイトの場合は、サイドバーはありません。

WordPress サイトでは多くの場合、ウィジェットエリアパーツが配置されます。

⑨ウィジェットエリア<ページ共通> (WordPress サイト)

WordPress サイト特有のパーツです。多くの場合、サイドバーに配置されます。

ウィジェットエリアの内容は、WordPressの管理画面で設定します。

※ホームページ・ビルダー SPでは、デザインやスタイルを変更することができます。

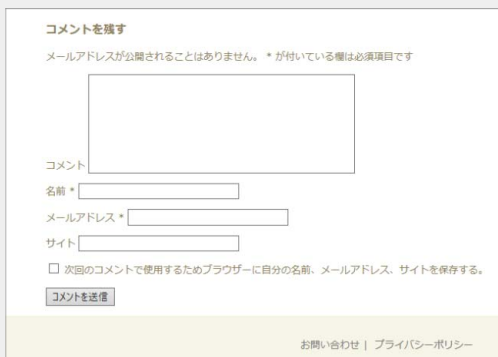
⑩ログインボタン<ページ共通> (WordPress サイト)

WordPress サイト特有のパーツです。WordPressサイトのページからWordPressの管理画面にログインするためのボタンです。

※文字列は変更できませんが、デザインやスタイルを変更することができます。



★ポイント コメントの投稿を許可する (WordPress サイト)

WordPress サイトのページには、ページの下部にコメント欄を設けることができます。



※トップページには設定できません。

※コメント欄はプレビュー画面に表示されません。サイトの転送・データの反映を行ったあと、Webのページで確認してください。

1. [ページ一覧]ビューでコメントの投稿を許可するページをクリックし、をクリックします。
[ページの変更]ダイアログボックスが表示されます。
2. [コメントの投稿を許可する]をオンにし、をクリックします。



● アクセス



● お問い合わせ



● プライバシーポリシー



* < ページ共通 > は、サイト内で共通のパーツです。あるページのパーツの設定を変更すると、ほかのページのパーツにも変更が反映されます。

⑪ バンクずリスト< ページ共通 >

初期設定では、トップページ以外には、バンクずリストが表示されません。バンクずリストを表示するかしないかは、ナビバー下段の[サイト設定]をクリックして設定できます。

※バンクずリストは、サイトのトップページからそのページまでの階層関係を示すものです。上の階層のページにはリンクが設定されており、クリックするとそのページにジャンプできます。

⑫ テーブル(表)

表のパーツです。セル内の文字は、直接書き換えることができます。

行/列の追加や削除、行/列の入れ替えは、ショートカットメニューを利用して行います。▶ P.38

⑬ Google マップ(地図)

地図のパーツです。表示する地図を設定します。

▶ P.39 地図を設定する

※テンプレートから作成したページには、Google マップが配置されていますが、Yahoo!地図を配置することもできます。

⑭ 定義リスト

定義項目と説明項目との組み合わせが 1 つのまとまりとして管理されているパーツです。文字を直接書き換えることができます。

組み合わせ項目の追加や削除、順番の入れ替えは、ショートカットメニューを利用して行います。▶ P.29

⑮ フォーム(問い合わせフォーム)

フォームに入力された内容を送信できるパーツです。送信方法を設定したり、用途に合わせてフォームの項目を変更したりします。

▶ P.41 問い合わせフォームを設定する

⑯ リスト

複数の項目が 1 つのまとまりとして管理されているパーツです。文字を直接書き換えることができます。

項目の追加や削除、順番の入れ替えは、ショートカットメニューを利用して行います。▶ P.29

このほか、コラム、ボタン、フォトモーション、アイテムギャラリー、マルチメディア(動画・音楽)、ネットショップ・カート連携、Twitter タイムライン、SNS ボタン*1、HTML ソース(YouTube、アフィリエイト)といったパーツがあり、ページに新しく配置することができます。

*1 WordPress サイトの場合は、ホームページビルダー SP 上で SNS ボタンを配置することができません。WordPress の管理画面で SNS ボタンの配置を行います。

これら以外に、ヘッダー、コンテンツヘッダー、コンテンツ、フッターなどのページを構成する基本的なパーツがあります。

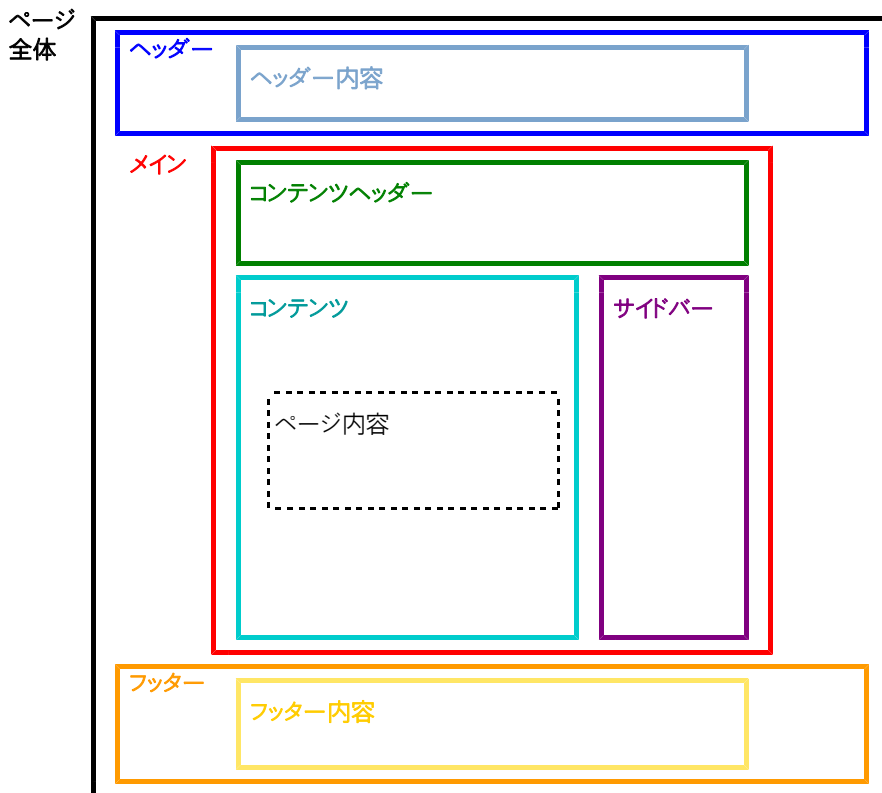
▶ P.26 ページの構成

ページの構成

ページは、サイト内のページで共通の領域と、ページに固有の領域とに分かれます。コンテンツパーツ(□)の内容が、そのページだけに表示される固有領域です。それ以外が、すべてのページに表示される共通の領域です*1。

※通常サイトの投稿記事ページのコンテンツパーツの内容は、投稿内容が1つだけの投稿一覧パーツです。

*1 共通の領域に配置されたパーツでも、パーツのスタイルで表示ページを指定した場合は、指定したページにだけ表示されます。



★ポイント パーツの種類

パーツは、次の3つに分類されます。

●固定パーツ

[パーツ一覧]ビューからの挿入、パーツの削除・移動ができないパーツです。

ヘッダー、ヘッダー内容、メイン、コンテンツヘッダー、コンテンツ、ページ内容、フッター、フッター内容、サイドバー、パンくずリスト(コンテンツヘッダー内)

●機能パーツ

「ページ内容」パーツ/「投稿内容」パーツに入れることができないパーツです。

サイト情報、サイトナビゲーション、ページタイトル、投稿一覧、ウィジェットエリア、ログインボタン

※サイトタイトル/キャッチフレーズ/サイト情報拡張は、「サイト情報」パーツ内の固定パーツです。

※投稿内容は、「投稿一覧」パーツ内の固定パーツです。

●汎用パーツ

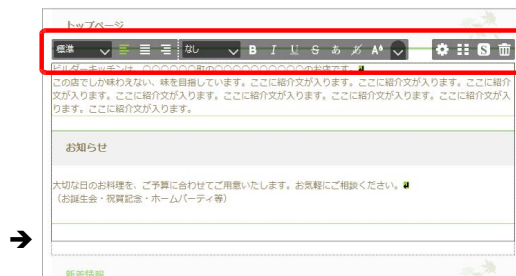
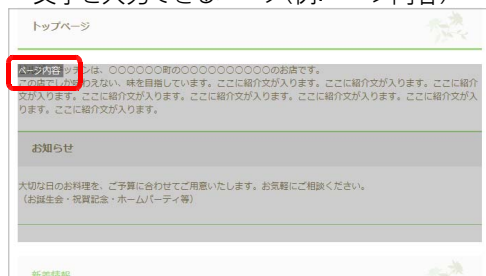
「ページ内容」パーツ/「投稿内容」パーツに入れることができるパーツです。

上記以外

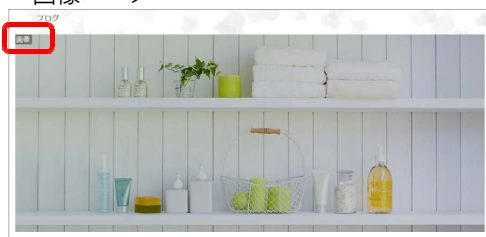
パーツ編集の基本操作

ページ上の編集したいパーツにポインターを合わせると、操作の対象となる部分がハイライト表示され、左上にパーツの種類が表示されます。
パーツをクリックするとパーツが選択され、周りに「フォーカス枠」と呼ぶ枠と、パーツを操作するボタン(操作ボタン)が表示されます。

● 文字を入力できるパーツ(例:ページ内容)










● 画像パーツ




※メニューバーから[編集-パーツの選択][次のパーツへ]/[前のパーツへ]や[上のパーツへ]/[下のパーツへ]を選択すると、次/前のパーツや親子関係にあるパーツにフォーカス枠を移動できます。パーツが重なってクリックしづらいときに利用すると便利です。Tab キー / Shift + Tab キーを押すのも同じです。
ただし、この操作でテキストボックス・リスト・定義リストなどにフォーカス枠を移動した場合、書式設定などの操作ボタンは表示されません。F2 キーを押すかパーツをクリックすると、書式設定などの操作ボタンが表示されます。

パーツをサイズ変更・移動する

フォーカス枠が表示されている状態で、枠の周りの○にポインターを合わせ、ポインターが  /  /  になるところでドラッグすると、パーツの枠サイズを変更できます。

※枠の周りの     をドラッグすると、パーツのマージンを変更できます。

枠線上や枠内でポインターが  になるところでドラッグし始めると、パーツを移動できます。移動先と

してドロップできる位置には  **ここにパーツをドラッグ** が表示されます。ポインターが  に

変わるところでドロップします。ポインターが  になるところにはドロップできません。




パーツをドラッグし、Ctrl キーを押したままドロップすると、パーツをコピーできます。

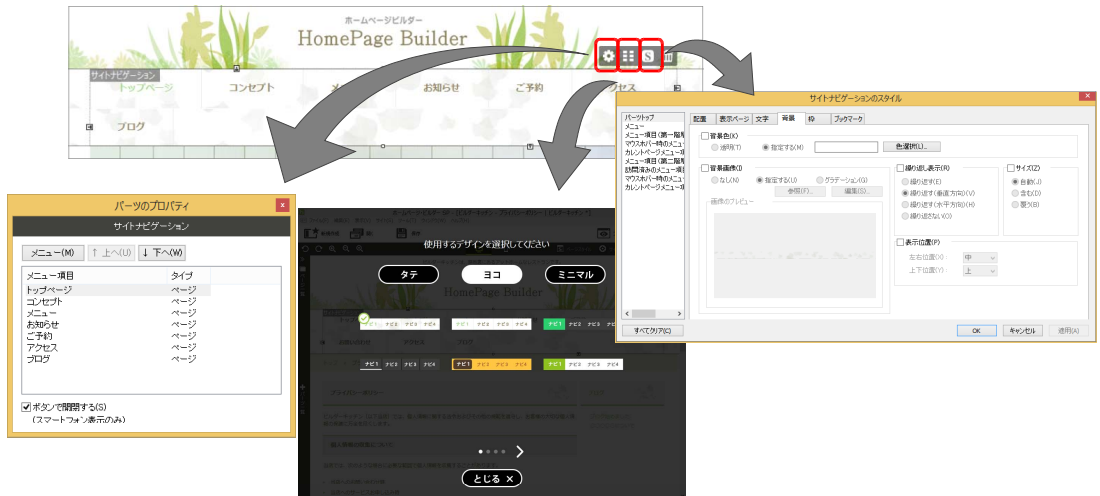
パーツを削除する

フォーカス枠の周りの  をクリックします。

パーツの設定を変更する

操作ボタンの  /  /  を利用してパーツの設定を変更できます。


-  …[パーツのプロパティ]ビューがフローティングで表示されます。パーツの設定を変更できます。
 - ▶ P.109 パーツのプロパティ
-  …デザインを選択する画面が表示されます。パーツのデザインを変更できます。
 - ▶ P.127 パーツのデザイン選択
-  …[○○のスタイル]ダイアログボックスが表示されます。パーツのサイズや配置、文字・背景・枠などのスタイルを変更できます。
 - ▶ P.128 パーツのスタイル



ビューやダイアログボックスなどで設定を変更すると、変更がページ編集画面に反映されます。

※地図など一部のパーツは、プレビュー画面で確認する必要があります。

※ビューから項目がはみ出して設定できないときは、ビューの外枠をドラッグしてビューを拡大します。

※ビューを閉じるには、ビューのタイトルバー右端の  をクリックします。


※ビューを表示したまま別のパーツをクリックすると、クリックしたパーツの設定に切り替わります。

? 困った [パーツのプロパティ]ビューが表示されなくなった

- ▶ P.28 ? 困った ビューが表示されなくなった

新しいパーツを配置する

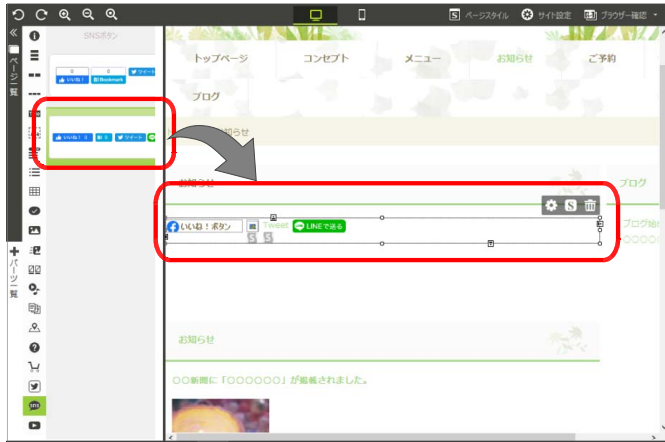
ページ上にはない新しいパーツを配置したいときは、画面左の[パーツ一覧]ビューを利用します。
[パーツ一覧]ビューのタブをクリックしてビューを表示させ、パーツの種類を選択します。
パーツの一覧が表示されたら、配置したいパーツを選択してページにドラッグ&ドロップします。

※ドロップできる位置には「ここにパーツをドラッグ」が表示されます。ポインターがに変わるところでドロップします。ポインターがに変わるところにはドロップできません。

● パーツの種類を選択



● パーツをページにドラッグ&ドロップして配置



ページにパーツを配置したら、//などをクリックしてパーツの設定を変更します。

? 困った ビューが表示されなくなった

次のことを順にお試しください。

● 表示の設定を確認する

メニューバーから[表示]を選択し、[パーツのプロパティ ビュー]にチェックマーク(レ)が付いていない場合は、選択してチェックマーク(レ)を付けます。

● ホームページビルダー SP の設定をインストール直後の状態に戻す

1. Windows 10 の[スタート]ボタンをクリックし、アプリ一覧から[JustSystems ツール&ユーティリティ-JustSystems ツール&ユーティリティ]を選択し、[ホームページビルダー○*1 SP]から[設定情報のリセット]を選択します。

※ Windows 8.1 の場合、Windows のアプリ一覧画面で [JustSystems ツール&ユーティリティ]をクリックし、[ホームページビルダー○*1 SP]から[設定情報のリセット]を選択します。

*1 「○」には、本製品のバージョン数字が入ります。

2. [アプリケーション設定(レジストリ情報)のリセット]をオンにして OK をクリックします。

※そのほかの項目はオフにします。

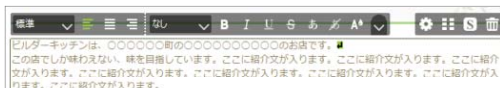
3. 確認のメッセージが表示されるので、**はい** をクリックします。

文字を編集する

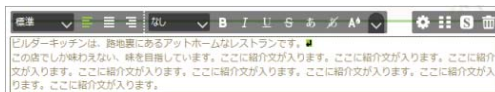
ページ内容やテキストボックス、サイト情報拡張、リスト/定義リストの文字、表(テーブル)の中の文字は、ページ上で直接書き換えることができます。

1. 文字が入力されているパーツをクリックします。

文字の周りにフォーカス枠と操作ボタンが表示され、クリックした位置にカーソルが表示されます。



2. 目的に合った内容を入力し、Backspace キーや Delete キーを押して不要な文字を削除します。



文字を入力できるパーツは、フォーカス枠の周りに次のような書式設定などの操作ボタンが表示されます。書式設定などの操作ボタンを利用して、段落や文字の属性の変更、リンクの設定/解除などができます。



▶ P.135 文字列の操作ボタン

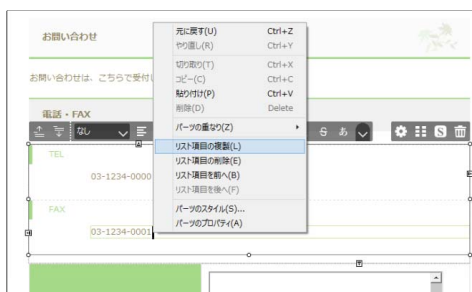
リスト/定義リストの項目を追加・削除する、順番を入れ替える

リストや定義リストは、項目単位で追加や削除、順番の入れ替えができます。

●項目を追加する

項目の追加は、既存の項目を複製して行います。

- 複製したい項目をクリックします。
- 右クリックして表示されるメニューから[リスト項目の複製]を選択します。



操作 1. でクリックした項目の下に、項目の複製が追加されます。

- 追加された項目の文字列を、目的に合った内容に書き換えます。

●項目を削除する

- 削除したい項目をクリックします。
- 右クリックして表示されるメニューから[リスト項目の削除]を選択します。

●項目の順番を入れ替える

- 順番を入れ替えたい項目をクリックします。
- 右クリックして表示されるメニューから[リスト項目を前へ]または[リスト項目を後へ]を選択します。

項目が 1 つ前または 1 つ後ろへ移動します。

※ 順番の入れ替えは、書式設定などの操作ボタンの先頭にある



(リストの場合) / (定義リストの場合) をクリックしても行えます。

★ポイント リストの先頭記号・番号・画像を変更する

リストの先頭の記号(●/○/■)や番号(1/i/l/a/A)、画像は、別のものに変更することができます。

1. リストのパーツをクリックし、**S**をクリックします。
[リストのスタイル]ダイアログボックスが表示されます。
2. 画面左側で[パートトップ]を選択し、画面右側で[リスト]タブを選択します。
3. [リストマーク]をオンにして、記号や番号を選択するか、[画像]を選択して画像ファイルを指定します。
4. **OK**をクリックします。

「プライバシーポリシー」ページのリストなど、リストによっては、先頭の記号を、リスト項目の背景画像で表現しているものがあります。リスト項目の背景画像を別のものに変更するには、次の操作をします。

1. リストのパーツをクリックし、**S**をクリックします。
2. 画面左側で[リスト項目]を選択し、画面右側で[背景]タブを選択します。
3. [背景画像]をオンにして、[●指定する]の状態、画像ファイルを指定します。
4. **OK**をクリックします。

画像を編集する・差し替える

サイト情報パーツのサイトタイトルのロゴ画像や、トップページの写真が合成画像(写真と文字などを組み合わせた画像)の場合は、画像編集ソフトを使用して画像を編集します。
合成画像ではないトップページの画像や、会社方針・コンセプトなどのページの画像は、お持ちの画像ファイルに差し替えます。

※通常サイトの〇〇一覧・商品紹介・メニュー・お知らせなどの投稿一覧パーツ内にある画像で、画像にポインターを合わせても「画像」と表示されない画像は、投稿記事のアイキャッチ画像です。アイキャッチ画像は、ここでの説明とは別の方法で差し替えます。

▶ P.44 商品紹介・お知らせ・ブログなどの作成する

画像を編集する

ここでは、テンプレート「ナチュラル[0006]」を使用して、トップページの合成画像の文字と画像を編集する方法を説明します。

サイトタイトルのロゴ画像も、同じ方法で文字を編集することができます。

1 画像の編集を始める

1. 画像をクリックし、**[画像の編集]**をクリックします。

2. 画像を編集するソフトを選択します。

ここでは、ホームページビルダーに付属の「ウェブアート デザイナー」を選択します。

！注意 ウェブアート デザイナー以外でロゴ画像や合成画像を編集する場合

写真と文字などを組み合わせたロゴ画像や合成画像は、「ウェブアート デザイナー」専用の形式で作成されています。ウェブアート デザイナー以外で編集、保存をすると、写真や文字などを別々に編集できなくなります。

！注意 ホームページビルダー 21 SP で作成したページを引き継いで編集している場合

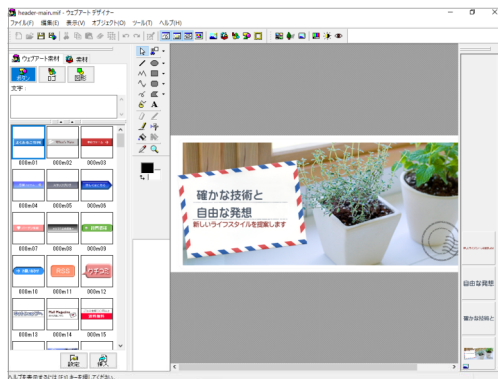
写真と文字などを組み合わせたロゴ画像や合成画像は、「イメージデザイナー」*1専用の形式で作成されています。写真や文字などを別々に編集するには、イメージデザイナーを選択してください。

*1「イメージ デザイナー」は、ホームページビルダー 21 に付属していた画像編集ソフトです。



3. **エディターを起動** をクリックします。

ウェブアート デザイナーが起動します。

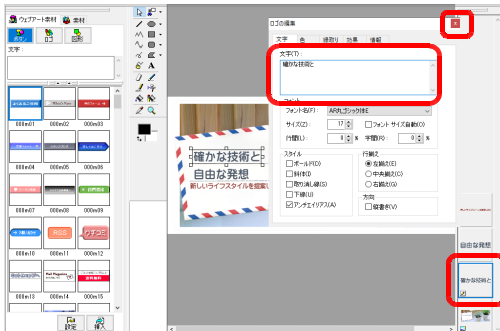



画面左側にはテンプレートギャラリーが、画面右側にはオブジェクトスタックが表示されます。

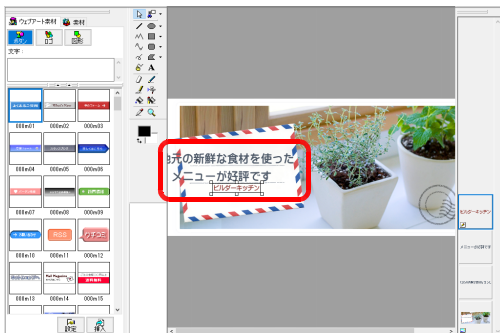
つづく➡

2 文字を編集する

1. 画面右側のオブジェクト スタックで、文字のオブジェクトをダブルクリックします。
2. [文字]シートの入力欄で文字を編集します。

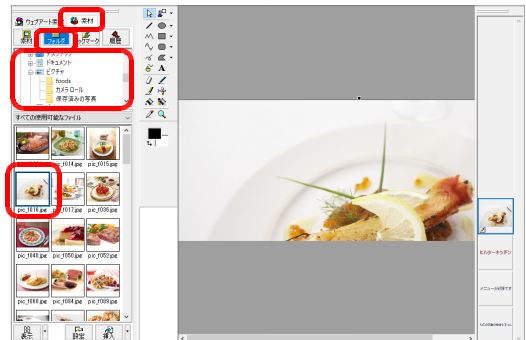


3. 必要に応じて、フォントやサイズ、ほかのシートで文字の色や縁取りなどを設定します。
4. ダイアログボックスのタイトルバー右端の  をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

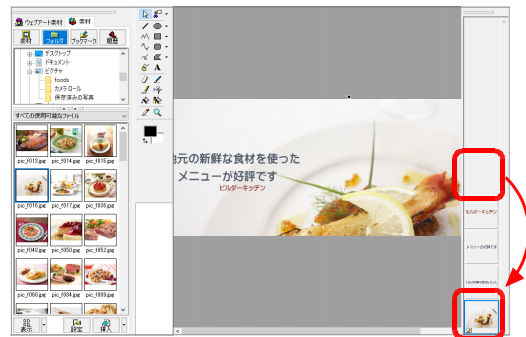


3 画像を差し替える

1. 画面右側のオブジェクト スタックで、元の画像のオブジェクトをクリックし、**Delete** キーを押します。
元の画像が削除されます。
2. 画面左側のテンプレート ギャラリーで[素材]タブをクリックし、[フォルダ]をクリックします。
3. 上のフォルダの一覧で、差し替えたい画像のあるフォルダを選択します。
4. 下の画像の一覧で、目的の画像をダブルクリックします。
キャンパスに画像が挿入されます。



5. オブジェクト スタックで、挿入した画像のオブジェクトをドラッグし、文字のオブジェクトの下に移動します。
オブジェクトの前後関係が変更され、画像の前に文字が表示されます。



つづく →

6. キャンバス上の文字や画像をドラッグして位置を移動したり、周りの□や■(右上以外)をドラッグして拡大縮小したりします。Shift キーを押したまま右上以外の□や■をドラッグすると、縦横比を保ったまま拡大縮小できます。



- キャンバスからはみ出している部分は切り取られます。画像の使いたい部分がキャンバスに重なるよう、位置や大きさを調整してください。
- ウェブアートデザイナーのメニューバーから[表示-テンプレート ギャラリー]を選択すると、テンプレート ギャラリーが非表示になり、キャンバスを見渡しやすくなります。


4 画像の編集を反映する

1. 編集が終わったら、ウェブアート デザイナーのメニューバーから[ファイル-ホームページ-ビルダーへ戻る]を選択します。
2. 変更を保存するかを確認するメッセージが表示されるので はい をクリックします。

ウェブアート デザイナーが終了し、ページ上の画像に編集が反映されます。



5 代替テキストを設定する

1. 操作ボタンの  をクリックし、[代替テキスト]に画像の説明を入力します。

代替テキストは、画像が表示されないときに表示される説明文です。

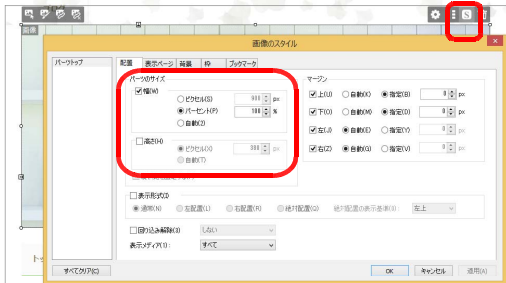


画像を差し替える

画像をお持ちの画像ファイルに差し替えます。

1 差し替える画像のサイズを確認する

1. 画像をクリックし、**S** をクリックします。
2. 画面右側で[配置]シートを選択し、[パーツのサイズ]の設定を確認します。



3. 必要に応じて、[幅]や[高さ]、[縦横比を固定する]をオンにします。

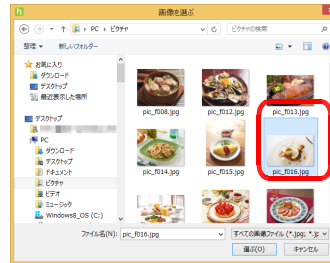
- [幅]と[高さ]は、差し替え前の画像の幅／高さが設定されています。
- [幅]をオンにして[●ピクセル]を選択し、[高さ]をオンにして[●自動]を選択すると、差し替え前の画像と同じ幅になるよう、画像が自動的に拡大縮小されます。
- [幅]と[高さ]を[●自動]に設定すると、差し替え後の画像のサイズにすることができます。
- [幅]と[高さ]の値をピクセルで設定して、指定したサイズの画像の大きさにすることもできます。

2 画像を差し替える

1. 操作ボタンの **S** [画像の選択]をクリックします。



2. 差し替えたい画像ファイルを選択して **選ぶ** をクリックします。



画像が差し替わります。



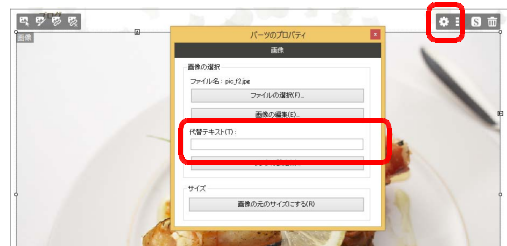
画像をドラッグ&ドロップして差し替える

エクスプローラーや写真管理ソフトの一覧で差し替えたい画像を選択して、画像のパーツにドラッグ&ドロップしても、画像を差し替えることができます。

3 代替テキストを設定する

1. 操作ボタンの **S** をクリックし、[代替テキスト]を書き換えます。

代替テキストは、画像が表示されないときに表示される説明文です。



操作 **1** で画像のサイズを設定しなかった場合、差し替え後に操作 **1** を行って、画像のサイズを指定することができます。

サイトナビゲーションの項目を変更する


サイトナビゲーションの項目(メニュー項目)は、自由に追加・削除したり階層化したりできます。インターネット上のほかのサイトにリンクする項目をサイトナビゲーションに追加することもできます。

※サイトにページを追加・削除すると、サイトナビゲーションも連動して自動的に項目が追加・削除されます。ページを追加・削除したときは、自動追加されたサイトナビゲーションの項目を確認し、必要に応じて項目名や並び順・階層を変更しましょう。

項目の表示順・階層・項目名を変更する

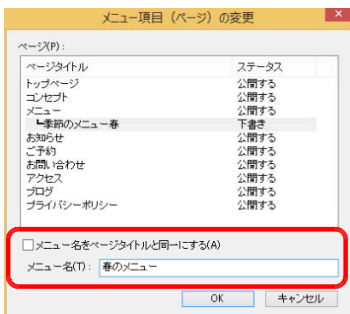
ここでは、P.20 で追加した「季節のメニュー春」ページのサイトナビゲーション項目を、ページの構成に合わせて「メニュー」のサイトナビゲーション項目の下の階層に配置します。また、「春のメニュー」という項目名で表示されるようにします。

1 項目を変更する

1. サイトナビゲーションをクリックし、 をクリックします。
2. メニュー項目の一覧で「季節のメニュー春」を右クリックします。
3. メニューから「項目の変更」を選択します。



4. [メニュー名をページタイトルと同一にする]をオフにし、[メニュー名]を「春のメニュー」と変更して **OK** をクリックします。



※ [メニュー名をページタイトルと同一にする]をオンにすると、ページタイトルと連動したメニュー名になります。

メニュー項目の一覧と、ページ上のサイトナビゲーションの項目とが「春のメニュー」に変更されます。



5. **↑上へ** を何回かクリックし、「春のメニュー」を[メニュー]のすぐ下に移動します。

メニューは、一覧の上から順に、上から下、左から右に表示されます。

↑上へ または **↓下へ** をクリックするたびに、ページが1つ上または1つ下に移動します。

6. 「春のメニュー」を右クリックし、メニューから「階層を下げる」を選択します。



つづく➔

「春のメニュー」の先頭に階層関係を示す「└」が表示され、下の階層に移動します。

ページ上のサイトナビゲーションから「春のメニュー」の項目が消えます。



階層化をやめて上の階層に戻す

下の階層に移動した項目を右クリックし、メニューから[階層を上げる]を選択します。

2 プレビュー画面で確認する

メニューの階層状態はページ編集画面では確認できません。プレビュー画面で確認します。

※ここでは、[パーツのプロパティ]ビューを閉じています。

1. ナビバーの[プレビュー]をクリックします。



2. サイトナビゲーションの「メニュー」にポインターを合わせ、「春のメニュー」が表示されることを確認します。



3. ナビバーの[プレビュー]をクリックし、ページ編集画面に戻します。

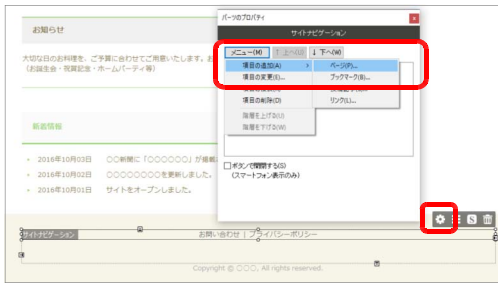
項目を新しく追加する

サイト内のページやブックマークにリンクする項目を追加したり、インターネット上のほかのサイトにリンクする項目を追加したりすることもできます。項目を追加したあとは、必要に応じて、順番の変更や階層化を行います。

ここでは、ページ下のサイトナビゲーションに項目を追加する例を説明します。

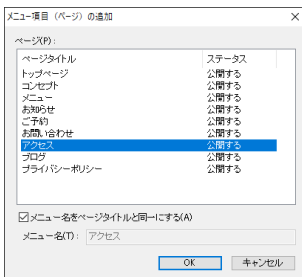
● サイト内のページやブックマークにリンクする項目を追加する

1. サイトナビゲーションの[パーツのプロパティ]ビューでメニューをクリックし、メニューから[項目の追加] - [ページ]や[ブックマーク]を選択します。



2. ページにリンクする場合は、[ページ]の一覧でリンクするページを選択し、[メニュー名をページタイトルと同一にする]のオン/オフを設定します。ブックマークにリンクする場合は、[ページ]でブックマークのあるページを選択し、[ブックマーク]でリンクするブックマークを選択して、[メニュー名をブックマークと同一にする]のオン/オフを設定します。オフにした場合は、[メニュー名]を入力します。

[例] ページにリンクする場合

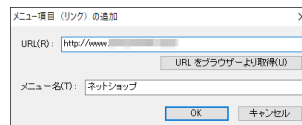


3. **OK** をクリックします。

[パーツのプロパティ]ビューのメニュー項目の一覧と、ページ上のサイトナビゲーションに、項目が追加されます。

● インターネット上のほかのサイトにリンクする項目を追加する

1. サイトナビゲーションの[パーツのプロパティ]ビューで、メニューをクリックし、メニューから[項目の追加] - [リンク]を選択します。
2. [URL]にインターネット上のアドレス(URL)を入力し、[メニュー名]を入力します。



3. **OK** をクリックします。

[パーツのプロパティ]ビューのメニュー項目の一覧と、ページ上のサイトナビゲーションに、項目が追加されます。

★ポイント 項目をコピー(複製)する

[パーツのプロパティ]ビューのメニュー項目の一覧でコピー元の項目を右クリックし、メニューから[項目の複製]を選択します。メニュー項目の一覧に「○○のコピー」という項目が追加されるので、項目を右クリックしてメニューから[項目の変更]を選択し、メニュー名などを変更します。

★ポイント 項目を削除する

[パーツのプロパティ]ビューのメニュー項目の一覧で項目を右クリックし、メニューから[項目の削除]を選択します。

表を編集する

表の行や列は、追加や削除、順番の入れ替えができます。
マウス操作で列の幅、表の幅を調整することもできます。

●行や列を追加・削除・入れ替える

1. 表をクリックして表内にカーソルを移動し、右クリックします。

行や列を操作するメニューが表示されます。



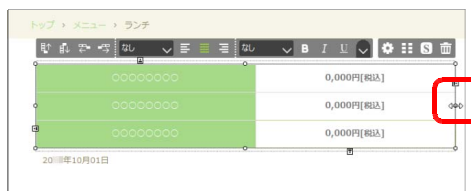
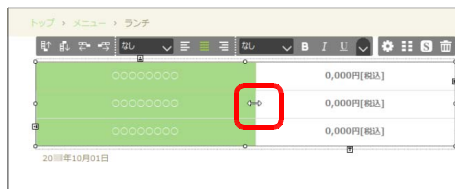
2. 目的の操作のメニューを選択します。

ここでは、行の場合のメニューを説明します。列の場合も同様のことが行えます。

- 行を追加する
[行を追加 上へ]や[行を追加 下へ]を選択すると、カーソル位置の行の上や下に行が追加されます。
- 行を削除する
[行の削除]を選択すると、カーソル位置の行が削除されます。
- 行の順番を入れ替える
[行を上へ]や[行を下へ]を選択すると、カーソル位置に行が1つ上／1つ下に移動します。

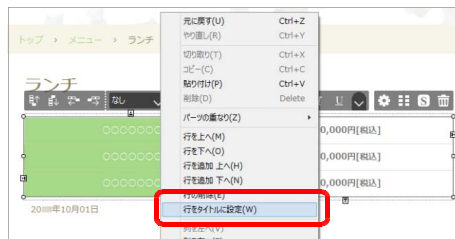
●列の幅、表全体の幅を調整する

1. 表をクリックし、列の右端や表の右端にポインターを合わせてドラッグします。



●行や列をタイトルに設定する／設定を解除する

右クリックして表示されるメニューから[行をタイトルに設定]や[列をタイトルに設定]を選択すると、タイトル行やタイトル列に設定できます。解除するときは、[行のタイトルを解除]や[列のタイトルを解除]を選択します。



地図を設定する

「アクセス」などの地図のページに、Google マップや Yahoo!地図を挿入します。

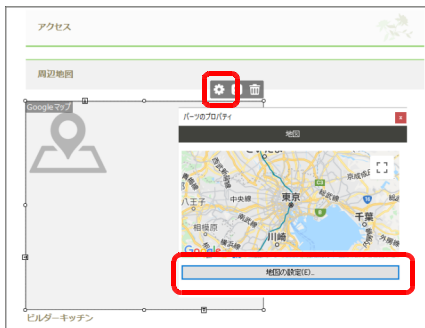
※サイト作成時に選択した業種によっては、地図のページが含まれない場合があります。

1 地図を設定する

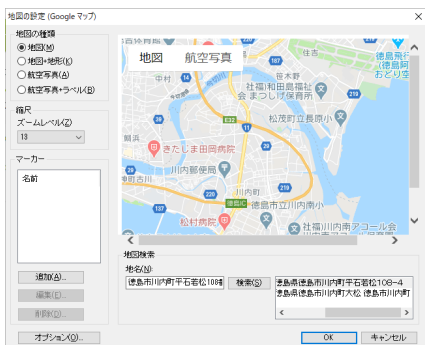
1. 地図のパーツをクリックし、をクリックします。

※地図のパーツは、ポインターを合わせると、左上に「Google マップ」と表示されます。

2. 地図の設定 をクリックします。



3. プレビューを見ながら、地図の種類、地図上の位置と表示サイズを設定します。



中心位置をより正確に指定する

[地図検索]の[地名]に中心位置の地名を入力して **検索** をクリックし、右の一覧から地名を選択します。

マーカーを表示する

[マーカー]の **追加** をクリックし、マーカーを表示したい場所を地図の中心位置に指定します。[マーカー名]を入力して、**OK** をクリックします。

別の位置にマーカーを移動する場合は、中心位置を指定しなおし、**地図の中心位置に移動** をクリックします。

4. **OK** をクリックします。

[パーツのプロパティ]ビューに地図が表示され、地図のパーツに地図が反映されます。



2 プレビュー画面で地図を確認する

地図はページ編集画面では表示されません。プレビュー画面で確認します。

1. ナビバーの[プレビュー]をクリックします。



2. 地図が表示されることを確認します。

3. ナビバーの[プレビュー]をクリックし、ページ編集画面に戻します。

！困った Google マップが利用できない

Google マップを利用する際、次の現象が発生することがあります。

- 地図の[パーツのプロパティ] / [地図の設定 (Google マップ)] ダイアログボックスなどの地図に、「このページでは Google マップが正しく読み込まれませんでした」と表示される
- [地図の設定 (Google マップ)] ダイアログボックスなどで「地図検索」を実行すると、「Google Maps API キーの設定が必要です」と表示される
- ホームページビルダーのプレビュー画面や公開したページで、Google マップが表示されない



そのときは、次の操作を行います。

1. [地図の設定 (Google マップ)] ダイアログボックスで、**オプション** をクリックします。
[オプションの設定 (Google マップ)] ダイアログボックスが表示されます。
2. [Google Maps API キー] に、Google Maps API キーを入力します。
※ Google Maps API キーについては、**キーの取得について** をクリックして表示される Web ページの説明をご覧ください。
3. **OK** をクリックします。

このあと、現象が発生していた操作を行って、現象が改善されているかを確認します。

★ポイント Yahoo!地図を挿入する

テンプレートから作成したページの地図のパーツは Google マップです。Yahoo!地図を使いたい場合は、新しくページに挿入します。

1. ページ上の地図のパーツ (Google マップ) をクリックし、 をクリックして削除します。
2. [パーツ一覧] ビューで「地図」パーツを選択します。
3. 「Yahoo!maps」と書かれたパーツをページ上にドラッグ & ドロップします。
4. 地図のパーツをクリックして  をクリックし、**地図の設定** をクリックします。
[Yahoo!地図 アプリケーション ID 設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. 入力欄に、お持ちのアプリケーション ID を入力し、**OK** をクリックします。
※アプリケーション ID をお持ちでない場合は、**登録ページをブラウザで開く** をクリックし、アプリケーション ID を取得します。
6. P.40 「地図を設定する」の操作 **1-3** 以降を行います。

問い合わせフォームを設定する

「お問い合わせ」などの問い合わせフォームのページで、フォームの設定を行って、フォームに入力された内容を送信できるようにします。

※サイト作成時に選択した業種によっては、問い合わせフォームのページが含まれない場合があります。

送信方法を設定する操作は、サイトタイプによって異なります。

通常サイトの場合は、ホームページビルダー SP で設定します。▶ P.41

WordPress サイトの場合は、WordPress の管理画面で設定します。▶ P.43

通常サイトの問い合わせフォームを設定する

通常サイト

通常サイトの場合は、ホームページビルダー SP で送信方法の設定を行います。

- ホームページビルダー サービスをお使いの場合 ▶ P.41
 - そのほかのプロバイダーやサーバーをお使いの場合 ▶ P.42
- ※お使いのプロバイダーやサーバーによって設定する内容は異なります。

ホームページ・ビルダー サービスをお使いの場合

ホームページビルダー サービスのレンタルサーバープランで提供しているフォームメール(簡易 CGI)を利用する設定を行います。

▶ P.9 ★ポイント ホームページビルダー サービスとは

1. フォームのパーツをクリックし、 をクリックします。

※フォームのパーツは、ポインターを合わせると、左上に「フォーム」と表示されます。

2. **フォームの設定** をクリックします。

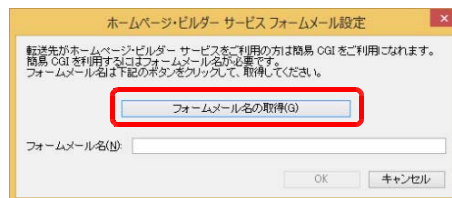
3. **フォームメール一括設定** をクリックします。



ホームページビルダー サービスのコントロールパネルで、フォームメール名を取得している場合は、操作 6. に進みます。

フォームメール名を取得していない場合は、操作 4. に進みます。

4. **フォームメール名の取得** をクリックします。



お使いのブラウザが起動し、ホームページビルダー サービスのコントロールパネルのログインページが表示されます。

5. コントロールパネルにログインし、[Web 設定] の [簡易 CGI] でフォームメール名を取得します。

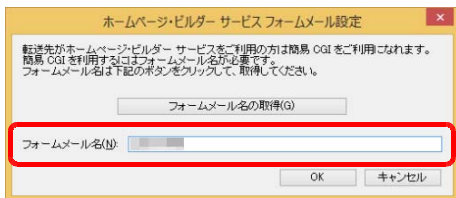
※取得したフォームメール名は操作 6. で入力します。忘れないようにメモしておいてください。



※記載の内容は予告なく変更する場合があります。

つづく →

6. [フォームメール名]に、取得したフォームメール名を入力します。



7. **OK** をクリックします。

[フォームの設定]ダイアログボックスにフォームメールの設定が反映されます。

8. [フォームの設定]ダイアログボックスの **OK** をクリックします。

フォームの設定が終了しました。サイトを公開先のサーバーに転送後、問い合わせフォームのページにアクセスすると、フォームへの入力とフォーム内容の送信が可能になります。

★ポイント フォームの項目を編集する

フォームの[パーツのプロパティ]ビューで、フォームの項目の追加や削除ができます。

●項目を追加する

[項目の編集]にある **追加** をクリックし、項目ラベル、項目名、項目タイプなどを設定します。必ず入力してほしい項目は、[入力必須]をオンに設定します。

※ブラウザによっては、[入力必須]の設定が無視され、入力していなくても送信できてしまうものがあります。

●項目を削除する

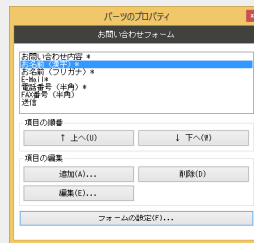
項目の一覧で項目を選択し、[項目の編集]にある **削除** をクリックします。

●項目名などを変更する

項目の一覧で項目を選択し、[項目の編集]にある **編集** をクリックして項目ラベルや項目タイプを設定します。

●項目の順番を入れ替える

項目の一覧で項目を選択し、[項目の順番]にある **↑上へ** / **↓下へ** をクリックします。



そのほかのプロバイダーやサーバーをお使いの場合

お使いのプロバイダーやサーバーによって、設定の方法が異なります。状況に合った方法で設定してください。

- CGI を設定済みのフォームが提供されている場合 ▶ P.42
- CGI プログラムがサーバー上に提供されている場合 ▶ P.43

！注意 ここでの説明は、サポート対象外の操作を含みます。動作結果も含め、お客様の責任でご利用ください


CGI を設定済みのフォームが提供されている場合

使用可能なフォームのページがサーバーから提供されている場合は、サイトナビゲーションにフォームのページへのリンクを設定します。

1. ファイル転送ツールを利用して、フォームのページ（HTML ファイルや CSS ファイルなど）をサーバーに転送します。

※サーバー上にページを転送済みの場合は、転送不要です。

2. サイトのトップページを開きます。

3. サイトナビゲーションのパーツをクリックし、 をクリックします。

4. **メニュー** をクリックし、[項目の追加-リンク]をクリックします。

5. [URL]にフォームのページのアドレスを入力し、メニュー名を入力して **OK** をクリックします。

URL には公開されたホームページの URL とページのファイル名を設定します。(例 http://○○○○○.○○○/○○○○○.○○○)

6. サイトを上書き保存し、サイトを転送します。

CGI プログラムがサーバー上に提供されている場合


サーバーにフォームの CGI プログラムだけが設置されている場合は、提供されている CGI プログラムをフォームから呼び出す設定をします。

1 情報を準備する

契約しているサーバーの説明書や情報を参照して、次の情報を確認します。

- CGI プログラムのファイル名とパス
[アクション]に入力するパスとファイル名を確認します。
大文字、小文字など正確に指定が必要です。
- メソッドの指定
- エンコードの種類
特に指定がなければ、空を選択しておきます。
- 文字コードの指定
例えば、Shift_JIS か、UTF-8 か。

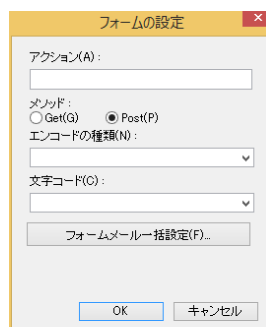
2 フォームの設定をする

1. フォームのパーツをクリックし、をクリックします。

※フォームのパーツは、ポインターを合わせると、左上に「フォーム」と表示されます。

2. **フォームの設定** をクリックします。

3. 操作 **1** で確認した情報を、各項目に設定します。



4. **OK** をクリックします。

5. サイトを上書き保存し、サイトを転送します。

フォーム (CGI プログラム) の動作はプレビュー画面では確認できません。

サイトを転送し、フォームのページをブラウザで表示して動作を確認します。

WordPress サイトの問い合わせフォームを設定する

WordPressサイト

WordPress サイトの場合は、サイトの転送・データの反映後に、WordPress の管理画面で送信先などの設定を行います。

※ホームページビルダー サービスのフォームメールを使うこともできます。その場合は、ホームページビルダー SP で設定を行います。

※テンプレートの問い合わせフォームではなく自分で作成したフォームを使うこともできます。その場合は、作成したフォームを WordPress サイトで使えるようにするための設定をホームページビルダー SP で行います。

WordPress サイトのフォームの設定方法は、WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) のページ下部にある [hpb ダッシュボードで投稿・集客 PDF マニュアル] をクリックし、表示される PDF マニュアルの「問い合わせフォームを設定する」をご覧ください。

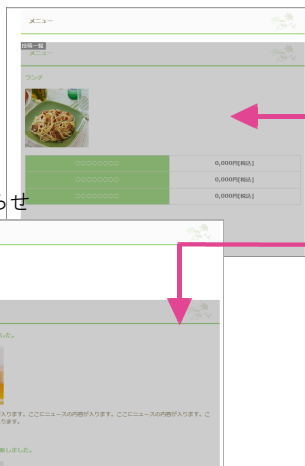
商品紹介・お知らせ・ブログなどの記事を作成するー通常サイトー



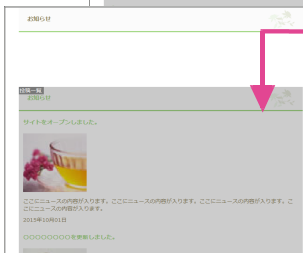
通常サイトのトップページの「新着情報」や「ブログ」、商品紹介・メニュー・お知らせ・ブログなどのページには、「投稿一覧」というパーツが配置されています。「投稿一覧」の内容は、記事を投稿して更新します。

例えば、下記の通常サイトでは、メニュー・ニュース・ブログという3種類の記事を投稿しています。そして、「メニュー」の記事は「メニュー」ページの投稿一覧に、「ニュース」の記事はトップページと「お知らせ」ページの投稿一覧に、「ブログ」の記事はトップページと「ブログ」ページの投稿一覧に、自動的に更新されるように設定しています。

●メニュー



●お知らせ



■記事を作成して投稿すると、投稿一覧に反映される



●ブログ

通常サイトでは、投稿記事の作成と、どの記事をどのページの投稿一覧に表示するのかという設定を、ホームページビルダー SPで行います。

投稿記事と投稿一覧とを結び付けるために、投稿記事と投稿一覧には「投稿タイプ」を指定します。

上記ページ一覧ビューの「[] サイトをオー...」という投稿記事ページは、投稿タイプ「ニュース」を指定して作成しています。

※記事を作成すると、その投稿タイプの記事を管理するページ(投稿記事アーカイブページ[「[] news」ニュース])が自動作成されます。

トップページの「新着情報」の投稿一覧と、お知らせページの投稿一覧には、投稿タイプ「ニュース」を指定しています。

投稿記事ページと投稿一覧に同じ投稿タイプを指定することにより、投稿タイプ「ニュース」の記事を投稿すると、投稿タイプ「ニュース」の投稿一覧に、自動的に記事が更新されるようになります。

投稿記事を編集・作成する

記事を編集する

記事の内容は、投稿一覧内の「投稿内容」パーツで直接編集します。投稿記事ページのほか、投稿記事アーカイブページや投稿先のページの各「投稿内容」パーツで編集しても、編集が反映されます。

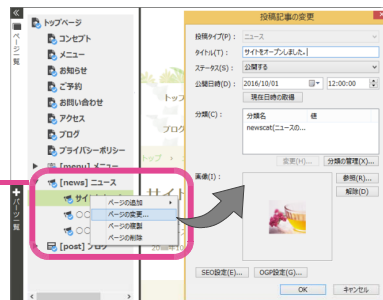
● 投稿記事ページ



投稿一覧内には、1つの投稿内容だけが配置されます。投稿内容パーツで直接、文字の編集や画像の挿入ができます。

投稿記事ページのページの設定で、記事に表示するタイトル、日付、アイキャッチ画像、記事の分類などを設定できます。

※投稿記事ページ上にアイキャッチ画像は表示されません。



● 投稿記事アーカイブページ



投稿一覧内には、管理する投稿タイプの記事がすべて配置されます。

記事の要約が表示されている場合は*1、記事の投稿内容パーツで直接、文字の編集や画像の挿入ができます。

投稿一覧パーツのプロパティで、一覧タイトル(「ニュース一覧」)や記事の表示形式*1、記事の並べ替えを設定できます。

*1 画面図に表示されている画像は、アイキャッチ画像です。

*1 記事の要約を表示するかしないかは、記事の表示形式で設定します。

● 「お知らせ」ページ



投稿一覧内には、投稿一覧パーツのプロパティで指定する投稿タイプ・分類の記事が配置されます。

記事の要約が表示されている場合は*1、各記事の投稿内容パーツで直接、文字の編集や画像の挿入ができます。

投稿一覧パーツのプロパティで、表示する投稿タイプ・分類・カテゴリの指定のほか、一覧タイトル(「お知らせ」)や記事の表示形式*1、記事の並べ替え、表示する最大投稿数の設定ができます。

*1 記事の要約を表示するかしないかは、記事の表示形式で設定します。

新しい記事を作成する

ニュースの記事を追加します。

※作成済みの記事のタイトルを変更したり、アイキャッチ画像を変更したりしたいときは、[ページ一覧]ビューで変更したいページを右クリックして[ページの変更]を選択し、操作 3. から始めます。

1 投稿記事ページを追加する

1. [ページ一覧]ビューで[+]ページの追加をクリックし、表示されるメニューから[投稿]を選択します。



作成済みの記事と似た内容の記事を追加する

[ページ一覧]ビューで投稿記事ページのタイトルを右クリックし、表示されるメニューから[ページの複製]を選択します。[ページ一覧]ビューに「○○のコピー」という名前のページが追加されます。

2. [投稿タイプ]の選択欄をクリックして、投稿タイプを選択します。

ここでは、[ニュース]を選択します。

目的に合う投稿タイプがない場合

投稿タイプは、記事を特定するために指定します。目的に合う投稿タイプがないときなどは、投稿タイプを新しく作成します。

メニューバーから[サイト-データ管理-投稿タイプ]を選択し、**追加**をクリックして投稿タイプを作成します。このとき、[ラベル]に入力した文字列が「投稿タイプ」の選択肢として表示されます。

3. [タイトル]に、記事のタイトルを入力します。
4. [ステータス]を、[公開する]または[下書き]から選択します。

下書きのページ

下書きにすると、投稿先ページや投稿記事アーカイブページの投稿一覧に記事が表示されなくなります。

5. [公開日時]を設定します。
6. [画像]の **参照** をクリックし、アイキャッチ画像として使用する画像ファイルを選択します。



※タイトル/日付/アイキャッチ画像は、投稿一覧のプロパティで、記事に表示するかしないかを設定できます。

▶ P.48 投稿一覧の表示項目

7. 必要に応じて、[分類]を設定します。

投稿する記事に分類を付けて、分類と一致する記事だけをページに表示したい場合に設定をします。

▶ P.49 **★ポイント** 特定の記事だけを投稿一覧に表示する - 投稿記事の分類 -

8. **OK** をクリックします。

[ページ一覧]ビューの「[news]ニュース」グループのいちばん下に投稿記事ページが追加され、ページ編集画面にページの内容が表示されます。



※投稿記事アーカイブページや「お知らせ」ページに切り替えると、投稿一覧に記事が追加されたことを確認できます。

つづく →

2 記事の内容を作成する

1. 投稿内容パーツをクリックし、パーツ内に記事の内容を作成します。



投稿一覧の設定をする

ページに投稿する記事の種類を別の種類に変更したり、ページに投稿一覧を追加して記事を投稿できるようにしたりできます。

ここでは、トップページに、「ブログ」の記事が投稿されるようにします。

※作成済みの投稿一覧で記事の種類を変更したり、記事の表示形式を変更したりしたいときは、操作 **2** から始めます。

1 投稿を追加するページを開く

1. トップページを開きます。
2. [パーツ一覧]ビューで「投稿一覧」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



2. [投稿タイプ]の選択欄をクリックして、投稿タイプを選択します。

ここでは、「ブログ」を選択します。



3. [一覧タイトル]に、ページに表示する投稿一覧のタイトルを入力します。

ここでは「ブログ」と入力します。

4. [表示形式]の選択欄をクリックし、投稿する1つ1つの記事に表示する情報を選択します。

[表示形式]では、投稿記事に設定したどの情報を表示するかを設定します。


[タイトル][アイキャッチ画像][要約]*1[日付]の組み合わせから、好みのものを選択できます。[すべて]を選択すると、すべての情報が表示されます。

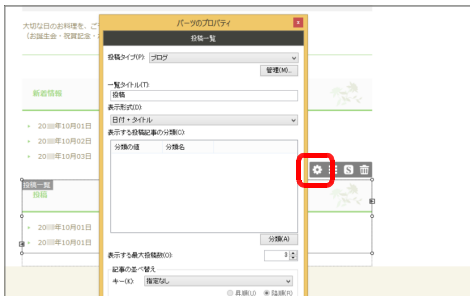
*1 投稿内容です。

▶ P.48 投稿一覧の表示項目



2 投稿する記事を設定する

1. 投稿一覧パーツをクリックし、 をクリックします。



5. [表示する最大投稿数]で、ページに表示する記事の数を設定します。

投稿した記事が「表示する最大投稿数」より多くなったときは、次のページへ移動するための「続きを読む」というリンクが表示されます。

※[ページ送り]は、通常サイトでは淡色表示されて設定できません。

6. [記事の並べ替え]の[キー]で、投稿した記事を並べ替えられるようにするかしないか、並べ替える場合の基準を選択します。

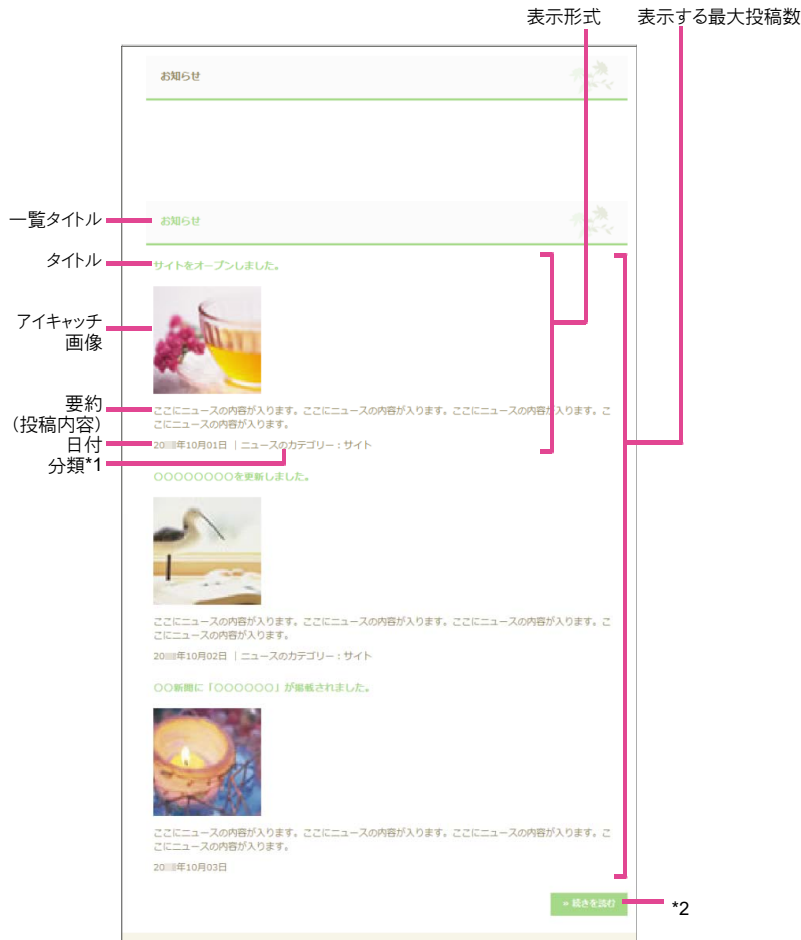
7. 必要に応じて、[表示する投稿記事の分類]を設定します。

投稿する記事に分類を付けて、分類と一致する記事だけをページに表示したい場合に設定をします。

▶ P.49 ★ポイント 特定の記事だけを投稿一覧に表示する－投稿記事の分類－

投稿一覧の表示項目

投稿一覧で設定できる、記事の表示項目は次のとおりです。



*1「分類」は、[表示形式]で[すべて]を選択した場合には表示されます。

*2「続きを読む」は、投稿した記事が「表示する最大投稿数」より多くなった場合に表示されます。

★ポイント 特定の記事だけを投稿一覧に表示する - 投稿記事の分類 -

投稿された記事のうち、特定の記事だけを投稿一覧に表示することができます。

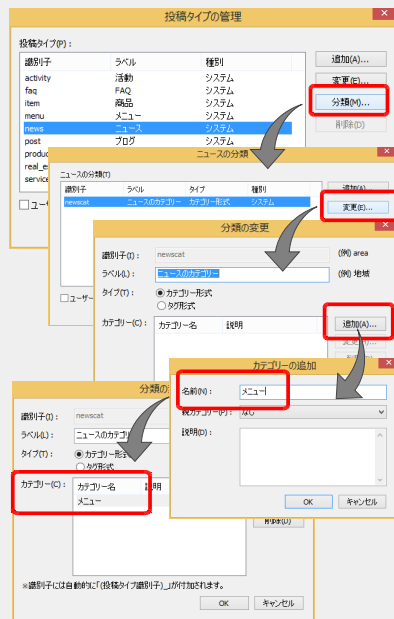
例えば、「ニュース」の記事には、「サイトの更新」「メニューの追加」などいろいろなものがあります。「ニュース」の記事のうちの、「メニュー」に関する記事だけを「メニュー」ページに追加した投稿一覧に表示するといったことができます。このようにしたい場合は、記事の分類を作成し、記事に「分類」を設定し、投稿一覧に「表示する記事の分類」を設定します。

● 「メニュー」に関するニュースだけを投稿一覧に表示する



● 記事の分類を作成する

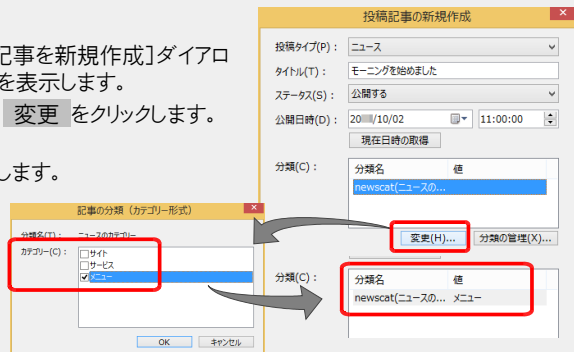
1. メニューバーから[サイト-データ管理-投稿タイプ]を選択します。
[投稿タイプの管理]ダイアログボックスが表示されます。
 2. 分類を設定したい投稿タイプを選択し、**分類**をクリックします。
[○○の分類]ダイアログボックスが表示されます。
ホームページビルダー SP ではあらかじめ、「****cat (○○のカテゴリー)」という一般的な分類を用意しています。この分類を利用する場合は、カテゴリを設定します。操作3.に進みます。
別の分類を利用したり、タグ形式の分類を利用したりしたい場合は、**分類**を追加します。▶ P.50 **★ポイント** 投稿記事の分類を追加する
 3. 分類の一覧で「****cat」を選択し、**変更**をクリックします。
[分類の変更]ダイアログボックスが表示されます。
 4. [カテゴリ]の一覧の右にある**追加**をクリックします。
[カテゴリの追加]ダイアログボックスが表示されます。
 5. [名前]に、カテゴリの名前を入力し、**OK**をクリックします。
[分類の変更]ダイアログボックスの[カテゴリ]に、カテゴリが追加されます。
操作4.~5.を繰り返し必要なカテゴリを追加します。
 6. **OK**をクリックして[分類の変更]ダイアログボックスを閉じ、**閉じる**をクリックして[○○の分類]ダイアログボックスを閉じ、**閉じる**をクリックして[投稿タイプの管理]ダイアログボックスを閉じます。
- * 「****」・「○○」は、選択している投稿タイプの識別子・ラベルが表示されます。



● 投稿記事に、分類を設定する

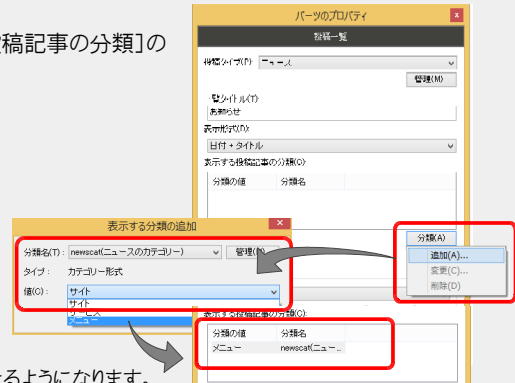
1. 投稿の作成またはページの変更を実行し、[投稿記事を新規作成]ダイアログボックスや[投稿記事の変更]ダイアログボックスを表示します。
2. [分類]の一覧で記事に設定したい分類を選択し、**変更**をクリックします。
[記事の分類]ダイアログボックスが表示されます。
3. 設定したいカテゴリをオンにし*1、**OK**をクリックします。
*1 操作2.で選択した分類がタグ形式の場合は、タグを入力します。
分類に値が設定されます。
4. **OK**をクリックします。
記事に分類が設定されます。

つづく→



● 投稿一覧に、表示する投稿記事の分類を設定する

1. 投稿一覧の[パーツのプロパティ]ビューで、[表示する投稿記事の分類]の分類をクリックして[追加]を選択します。
[表示する分類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
2. [分類名]で、投稿一覧に表示したい分類を選択します。
3. [値]で、表示したいカテゴリーを選択します*2。
*2 操作2.で選択した分類がタグ形式の場合は、タグを入力します。
4. OK をクリックします。
表示する投稿記事の分類が設定されます。



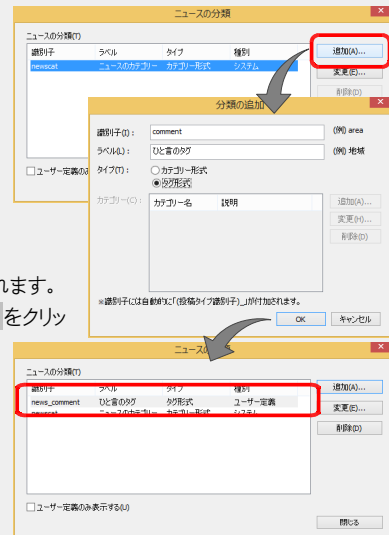
以上で、特定の記事だけを投稿一覧に表示することができるようになります。

★ポイント 投稿記事の分類を追加する

あらかじめ用意されている「****cat (○○のカテゴリー)」を利用する以外に、記事に応じた新しい分類を追加することができます。

例えば、「投稿者」というカテゴリー形式の分類を追加して「スタッフ」などのカテゴリーで記事を絞り込んだり、「ひと言」というタグ形式の分類を追加して「おススメ」などのタグで記事を絞り込んだりできます。
ここでは、

1. メニューバーから[サイト-データ管理-投稿タイプ]を選択します。
2. 分類を設定したい投稿タイプを選択し、分類をクリックします。
3. [○○の分類]ダイアログボックスで追加をクリックします。
[分類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
4. [識別子]と[ラベル]を入力します。
5. [タイプ] (カテゴリー形式/タグ形式)を選択します。
カテゴリー形式を選択した場合は、追加をクリックしてカテゴリーを追加します。
6. OK をクリックします。
[分類の管理]ダイアログボックスの[○○の分類]に新しい分類が追加されます。
7. 閉じる をクリックして[○○の分類]ダイアログボックスを閉じ、閉じる をクリックして[投稿タイプの管理]ダイアログボックスを閉じます。



記事に分類を設定するときや、投稿一覧に表示する投稿記事の分類を設定するとき、追加した分類を選択し、タグの文字列を設定できるようになります。

*「****」・「○○」は、選択している投稿タイプの識別子・ラベルが表示されます。

インターネットから記事を投稿する部分の設定をする－ WordPress サイト－



WordPress サイトは、インターネットから記事を次々に投稿できるため、WordPress サイトのページには、投稿した記事が更新される専用の部分(投稿一覧)があります。

※ページによっては、投稿一覧がないページもあります。

例えば、下記の WordPress サイトでは、メニュー・ニュース・ブログという 3 種類の記事を投稿できるようになっています。そして、「メニュー」から投稿した記事は「メニュー」ページの投稿一覧に、「ニュース」から投稿した記事は「トップページ」と「お知らせ」ページの投稿一覧に、「ブログ」から投稿した記事は「ブログ」ページの投稿一覧に自動的に更新されるように設定されています。



どのページにどの種類の記事を投稿するのかという設定は、ホームページビルダー SP で行います。
※ホームページビルダー SP で記事を追加・編集・削除することはできません。

投稿する記事の種類を特定するために、投稿一覧には「投稿タイプ」を指定します。上記の「トップページ」の投稿一覧には、投稿タイプ「ニュース」が指定されています。

この指定があることで、WordPress サイトで「ニュース」という記事が管理されるようになり、WordPress の管理画面に「ニュース」の記事の投稿口が用意されます。「ニュース」の投稿口から記事を投稿すると、トップページの投稿一覧に自動的に記事が更新されるようになります。

上記の WordPress サイトでは、「お知らせ」ページの投稿一覧にも投稿タイプ「ニュース」が指定されているため、「ニュース」から投稿した記事は、「お知らせ」ページにも更新されます。

投稿一覧の設定をする

ページに投稿する記事の種類を別の種類に変更したり、ページに投稿一覧を追加して記事を投稿できるようにしたりできます。

ここでは、「アクセス」のページに、お客様からの問い合わせへの回答を投稿できるようにします。

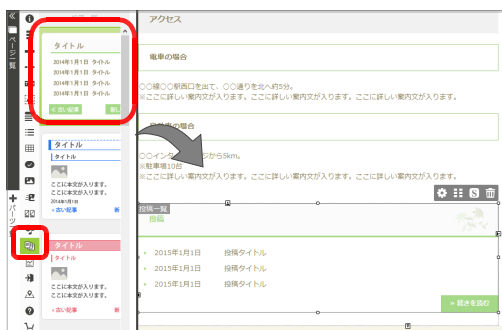
※サイト作成時に選択した業種によっては、「アクセス」のページが含まれない場合があります。

1 投稿を追加するページを開く


1. [ページ一覧]ビューで、「アクセス」のページをクリックします。

2 投稿一覧パーツを配置する

1. [パーツ一覧]ビューで「投稿一覧」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



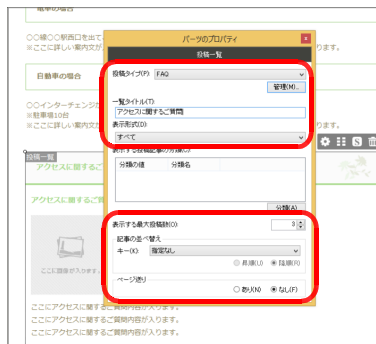
3 投稿する記事を設定する

1. 投稿一覧パーツをクリックし、 をクリックします。



2. [投稿タイプ]の選択欄をクリックして、投稿タイプを選択します。

ここでは、ホームページ・ビルダー SP にあらかじめ用意されている「FAQ」を選択します。



目的に合う投稿タイプがない場合

投稿タイプは、記事を特定するために指定します。目的に合う投稿タイプがないときなどは、投稿タイプを新しく作成します。

[投稿タイプ]の右下にある **管理** をクリックし、**追加** をクリックして投稿タイプを作成します。このとき、[ラベル]に入力した文字列が、[投稿タイプ]の選択肢や WordPress の管理画面の「投稿の種類」として表示されます。

3. [一覧タイトル]に、ページに表示する投稿一覧のタイトルを入力します。

ここでは「アクセスに関するご質問」と入力します。

4. [表示形式]の選択欄をクリックし、投稿する1つ1つの記事に表示する情報を選択します。

[表示形式]では、投稿記事にどのような情報を表示するかを設定します。

[タイトル][アイキャッチ画像][要約][日付]の組み合わせから、好みのものを選択できます。[すべて]を選択すると、すべての情報が表示されます。

▶ P.53 投稿一覧の表示項目

5. [表示する最大投稿数]で、ページに表示する記事の数を設定します。

つづく →

6. [記事の並べ替え]の[キー]で、投稿した記事を並べ替えられるようにするかしないか、並べ替える場合の基準を選択します。
7. [ページ送り]で、投稿した記事が[表示する最大投稿数]より多くなった場合に、次のページへ移動するリンクを表示するかしないかを選択します。
- [あり]を選択すると、デザインに応じて「次へ」「新しい記事」などのリンクが表示されます。
[なし]を選択すると、「続きを読む」のリンクが表示されます。
- ※ページ送りは、1ページにつき1つの投稿一覧にだけ設定できます。
8. 必要に応じて、[表示する投稿記事の分類]を設定します。

投稿する記事に分類を付けて、分類と一致する記事だけをページに表示したい場合に設定をします。

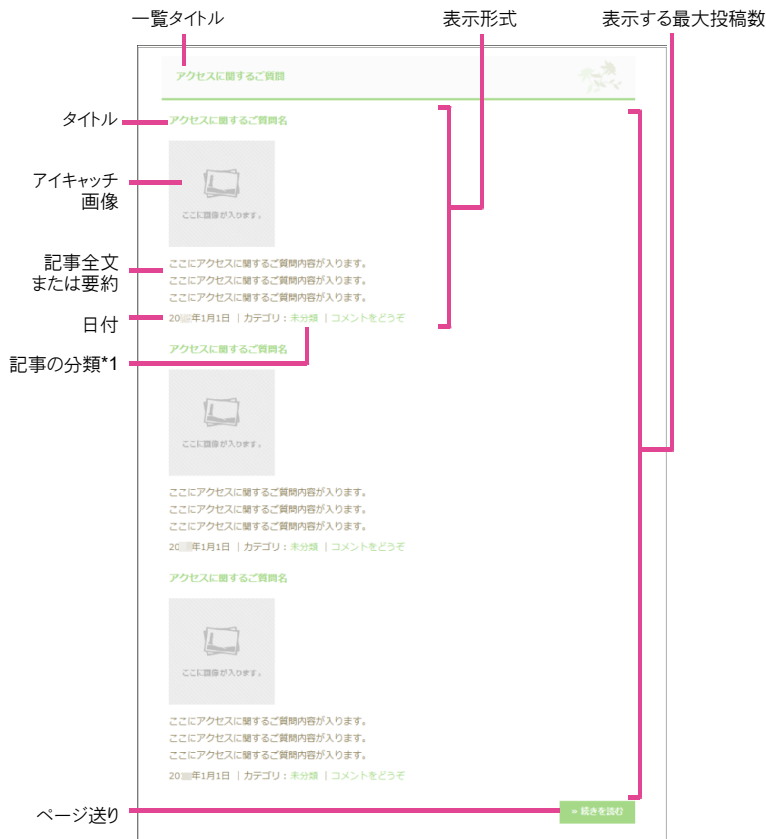
▶ P.54 ★ポイント 特定の記事だけをページに表示する - 表示する投稿記事の分類 -

投稿一覧の表示項目

投稿一覧で設定できる表示項目は次のとおりです。

ホームページビルダー SP では表示する最大投稿数分の仮の投稿が表示されます。

サイトを公開した直後は、1つだけ仮の投稿が表示されています。インターネットから記事を投稿すると、実際に投稿した内容が表示されるようになります。

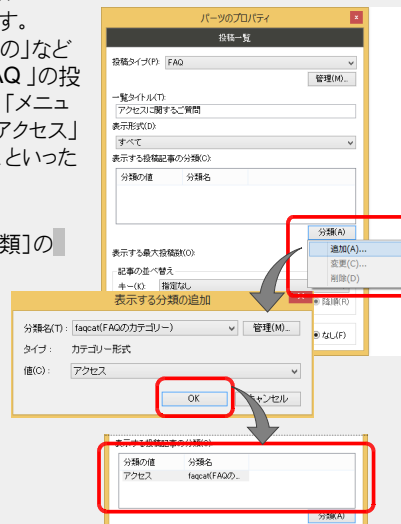


*1「記事の分類」は、[表示形式]で[すべて]を選択した場合には表示されます

★ポイント 特定の記事だけをページに表示する – 表示する投稿記事の分類 –

投稿された記事のうち、特定の記事だけをページに表示することができます。例えば、「FAQ」の記事には、「メニューに関するもの」「アクセスに関するもの」などさまざまなものが含まれます。「メニュー」ページや「アクセス」ページに「FAQ」の投稿一覧を追加すると、投稿されたすべてのFAQが表示されてしまいます。「メニュー」ページの「FAQ」投稿一覧にはメニューに関するFAQだけ表示し、「アクセス」ページの「FAQ」投稿一覧にはアクセスに関するFAQだけを表示したい、といったような場合は、ページに表示する記事の分類と値を設定します。

1. 投稿一覧の[パーツのプロパティ]ビューで、[表示する投稿記事の分類]の分類をクリックして[追加]を選択します。
[表示する分類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
2. [分類名]の選択欄をクリックし、投稿記事の分類を選択します。
3. [値]で、記事を絞り込む値を設定します。
[タイプ]が[カテゴリ形式]の場合は、選択欄をクリックしてカテゴリを選択します。[タグ形式]の場合は、入力欄にタグを入力します。
▶ P.54 ★ポイント カテゴリを設定する
▶ P.55 ★ポイント 投稿記事の分類を追加する
4. OK をクリックします。
[表示する投稿記事の分類]に、分類と値が設定されます。



ページに表示する記事の分類と値を設定したあと、インターネットから記事を投稿するときは、記事にカテゴリやタグを付ける必要があります。

- ▶ P.81 操作 3 記事に分類を付ける

★ポイント カテゴリを設定する

[表示する分類の追加]ダイアログボックスで選択できる分類として、あらかじめ「****cat (○○のカテゴリ)」*1 という一般的なものが用意されています。「****cat (○○のカテゴリ)」は、カテゴリ形式タイプのため、この分類を利用するにはカテゴリを設定する必要があります。

1. [表示する分類の追加]ダイアログボックスで、**管理** をクリックします。
[○○の分類]ダイアログボックスが表示されます。
2. 分類の一覧で「****cat」を選択し、**変更** をクリックします。
[分類の変更]ダイアログボックスが表示されます。
3. [カテゴリ]の一覧の右にある **追加** をクリックします。
[カテゴリの追加]ダイアログボックスが表示されます。
4. [名前]に、追加するカテゴリの名前を入力し、**OK** をクリックします。
[分類の変更]ダイアログボックスの[カテゴリ]に、カテゴリが追加されます。
5. **OK** をクリックしてダイアログボックスを閉じ、**閉じる** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

[表示する分類の追加]ダイアログボックスで、「****cat (○○のカテゴリ)」を選択したときに、操作 4. で追加したカテゴリを選択できるようになります。



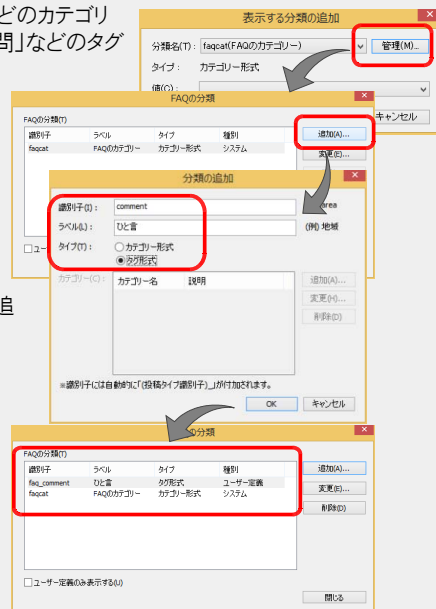
*「****」、「○○」は、選択している投稿タイプの識別子・ラベルが表示されます。

★ポイント 投稿記事の分類を追加する

特定の記事をページに表示させたり、記事を絞り込みやすしたりしたいときは、あらかじめ用意されている「****cat (〇〇のカテゴリ)」以外に、記事に応じた新しい分類を作成すると便利です。

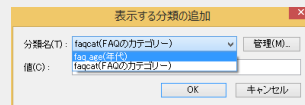
例えば、「FAQ」に、「年代」という分類を追加して「30代」「40代」などのカテゴリでFAQを絞り込んだり、「ひと言」という分類を追加して「よくある質問」などのタグでFAQを絞り込んだりできます。

1. [表示する分類の追加]ダイアログボックスで **管理** をクリックします。
 2. [〇〇の分類]ダイアログボックスで **追加** をクリックします。
[分類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
 3. [識別子]と[ラベル]を入力します。
 4. [タイプ] (カテゴリ形式 / タグ形式) を選択します。
カテゴリ形式を選択した場合は、**追加** をクリックしてカテゴリを追加します。
- ▶ P.55 **★ポイント** カテゴリを設定する
5. **OK** をクリックします。
[分類の管理]ダイアログボックスの[〇〇の分類]に新しい分類が追加されます。
 6. **閉じる** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



[表示する分類の追加]ダイアログボックスの[分類名]を選択したときに、操作3.で追加した分類を選択できるようになります。

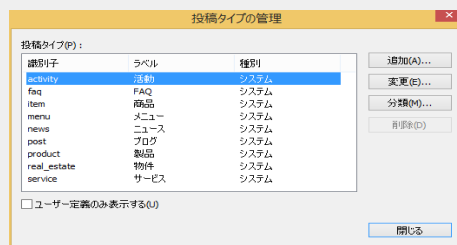
*「****」・「〇〇」は、選択している投稿タイプの識別子・ラベルが表示されます。



★ポイント 投稿タイプや分類を管理する

投稿一覧の[パーツのプロパティ]ビューで[投稿タイプ]の **管理** をクリックしたり、メニューバーから[サイト-データ管理-投稿タイプ]を選択したりすると、[投稿タイプの管理]ダイアログボックスを表示できます。

[投稿タイプの管理]ダイアログボックスからは、新しい投稿タイプの追加、分類の追加・変更などをまとめて行えます。





投稿記事アーカイブページ／投稿記事ページのデザイン・スタイルを設定する

投稿タイプの指定や記事の投稿をすると、WordPress が投稿記事アーカイブページ／投稿記事ページを作成します。これらのページは、ホームページ・ビルダーが管理をしていないページです。ですが、そのページの記事部分のデザイン・スタイルを、ホームページ・ビルダーで設定することができます。

1. ページ一覧ビューで[アーカイブ(スタイル確認/設定用)]または[投稿記事(スタイル確認/設定用)ページ]をクリックします。

※どちらのページで行っても設定は共通です。



2. 編集画面の投稿一覧パーツをクリックします。
3.  をクリックしてデザインを設定したり、 をクリックしてスタイルを設定したりします。



※  をクリックしても、プロパティを設定することはできません。

ページのレイアウトやスタイルを変更する

ページのレイアウトや背景を変更します。

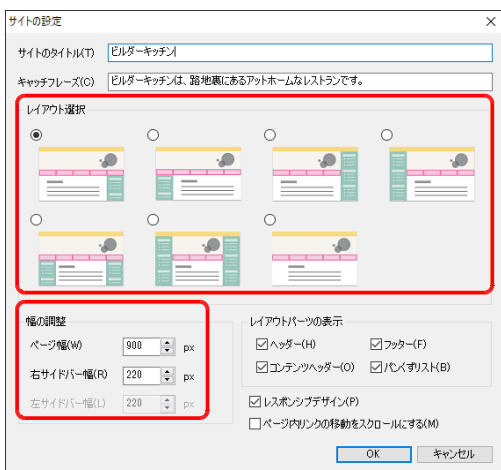
ページを構成する基本的なパーツの文字スタイル・背景スタイル・枠スタイルを、まとめて変更することもできます。

ページのレイアウトを変更する

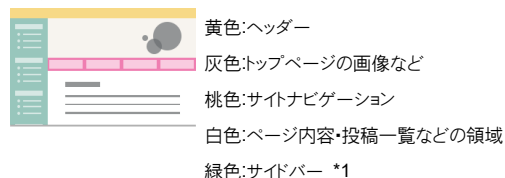
1. ナビバー下段の[サイト設定]をクリックします。



2. [レイアウト選択]で、ページのレイアウトを選択します。



レイアウト選択のアイコンの各部分は次のパーツ・領域を示します。



*1 多くの場合、通常サイトでは「ブログ」記事の投稿一覧パーツが配置され、WordPress サイトではウィジェットエリアが配置されます。

3. [ページ幅]でサイト全体の幅を、[右サイドバー]*2 / [左サイドバー]*2 でサイドバーの幅を設定します。

*2 操作 2. でサイドバーのあるレイアウトを選択した場合に、該当するサイドバーの幅を設定できます。

4. **OK** をクリックします。

すべてのページのレイアウトが変更されます。

ページの背景や、基本パーツのスタイルを設定する

ページ全体の背景を変更したり、ヘッダー・フッター・サイドバーなどの基本的なパーツの背景・枠スタイルなどをまとめて変更したりします。

※スタイルは、ページ全体よりもパーツのほうが優先度が高く、有効です。パーツが入れ子になっている場合は、より内側のパーツの優先度が高く、有効です。

※ページ全体、ヘッダー・フッター・コンテンツヘッダーの背景は、パソコン/スマートフォンに関係なく共通です。メイン・コンテンツ・サイドバーの背景は、パソコン用/スマートフォン用に独立しているため、それぞれで設定が必要です。

※「ロングスクロール」のテンプレートを利用して作成したサイトの場合は、サイドバーはありません。

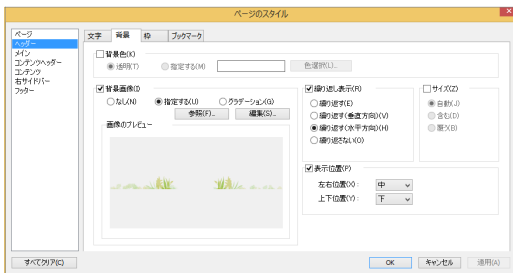
1. ナビバー下段の[ページスタイル]をクリックします。



2. 画面左側で[ページ]や[ヘッダー]など、変更したい対象を選択します。

3. 画面右側の[文字]／[背景]／[枠]*1タブから、変更したいスタイルのタブを選択し、各項目を設定します。

*1 操作 2.で[ページ]を選択した場合は、[枠]タブはありません。



4. **OK** をクリックします。

ページ全体やパーツのスタイルが変更されます。

● スマートフォン用のスタイルを設定する

1. ナビバー下段の中央右にある[スマートフォン]をクリックし、スマートフォンの表示に切り替えます。



2. ナビバー下段の[ページスタイル]をクリックします。

3. 画面左側で[メイン]／[コンテンツ]／[サイドバー]を選択します。

4. 画面右側の[文字]／[背景]／[枠]タブから、変更したいスタイルのタブを選択し、各項目を設定します。

5. **OK** をクリックします。

パーツのスタイルが変更されます。

6. ナビバー下段の中央左にある[PC]をクリックし、パソコンの表示に戻します。

ページの見え方を確認する

ページを編集したときは、プレビュー画面でページの見え方を確認します。
パソコンだけでなく、スマートフォンでの見え方を確認することもできます。

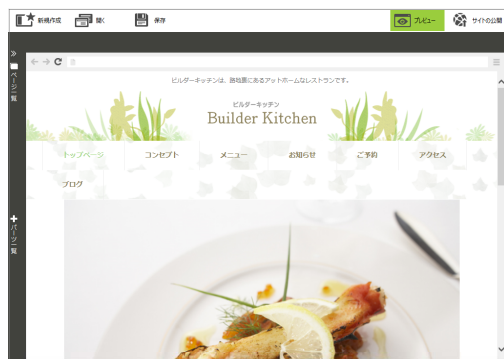
※ホームページビルダー SP のテンプレートから作成したサイトは、1 つのサイトが閲覧機器に応じて自動的に最適な形式で表示されます。

●プレビュー画面で確認する

1. ナビバーの[プレビュー]をクリックします。



プレビュー画面に切り替わり、ページのプレビューが表示されます。



2. ページの内容が正しく表示されるかを確認します。

ほかのページへのリンクを確認する

リンク元の文字列をクリックすると、リンク先のページが表示されます。

プレビュー画面の左上にある ← をクリックすると、元のページに戻ります。

※プレビュー画面ではほかのページへのリンクを確認する場合は、[ツールオプション]の[一般]タブにある[リンクを有効にする]をオンにしておく必要があります。

3. 確認が終わったら、ナビバーの[プレビュー]をクリックし、ページ編集画面に戻します。

プレビュー画面とページ編集画面との連動

プレビュー画面とページ編集画面は連動していません。
プレビュー画面でリンク先のページを開いている状態でページ編集画面に切り替えても、ページ編集画面ではリンク先のページは開かれていません。

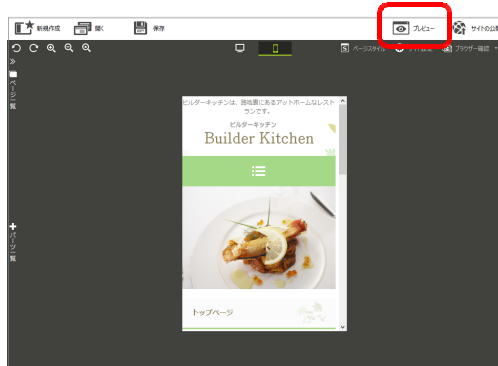
●スマートフォンでの見え方を確認する

1. ナビバー下段の中央右にある[スマートフォン]をクリックします。

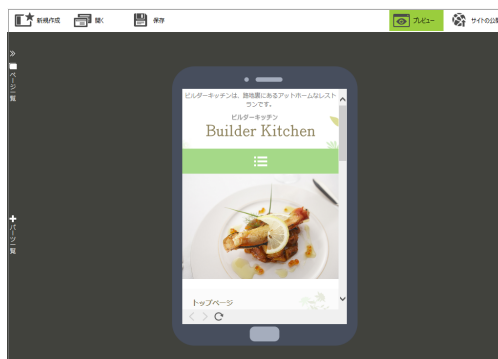


ページ編集画面が、スマートフォンの表示に切り替わります。

2. ナビバーの[プレビュー]をクリックします。



プレビュー画面に切り替わり、スマートフォンで見たときのページのプレビューが表示されます。



3. 確認が終わったら、ナビバーの[プレビュー]をクリックし、ページ編集画面に戻します。

4. ナビバー下段の中央左にある[PC]をクリックし、パソコンの表示に戻します。

★ポイント ブラウザーでの見え方を確認する

ナビバー下段の右端にある[ブラウザー確認]をクリックしてブラウザーを選択すると、ブラウザーを起動して、ブラウザーでの見え方を確認できます。

※インストールされていると選択できるブラウザーは、Microsoft Edge、Internet Explorer、Firefox、Google Chrome、Operaです。

★ポイント レスポンシブデザインを無効にする

テンプレートから作成したページは、スマートフォンで見たときは、自動で最適な形式で表示されます。

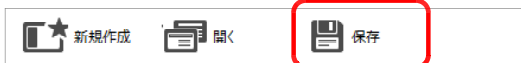
スマートフォンで見たときの表示を、パソコンで見たときと同じ表示にすることもできます。

ナビバー下段の[サイト設定]をクリックし、[レスポンシブデザイン]をオフにします。

編集したサイトを保存する

サイトのページは、サイトを作成したときにファイルとして保存されています。ページを編集したときは、サイトを上書き保存します。

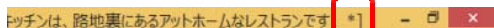
1. ナビバーの[保存]をクリックします。



サイトが上書き保存されます。

上書き保存を確認する

ページを編集すると、タイトルバーに表示されるタイトルの後ろに「*」マークが表示されます。



上書き保存をすると、「*」マークが消えます。上書き保存ができていないか、*マークの有無を確認できます。

★ポイント サイトをバックアップする

サイトの複製機能を使ってサイトのコピーを作成したり、エクスポート機能を使ってサイトをエクスポートしたりすることで、サイトをバックアップできます。

●サイトの複製

メニューバーから[サイト-サイトの一覧]を選択し、複製したいサイトを選択して **複製** をクリックします。

複製機能では、同じパソコン内にサイトのコピーを簡単に作成できます。

●サイトのエクスポート

メニューバーから[サイト-サイトのエクスポート]を選択します。

エクスポート機能では、USB メモリなどを指定して、サイトのエクスポートファイル(.zip)を出力することができます。複数のサイトをまとめてエクスポートしたり、エクスポートファイルに転送の設定を含めたりすることもできます。

※エクスポートファイル(.zip)は、必要なときにインポートします。インポートするには、メニューバーから[サイト-サイトのインポート]を選択し、インポートしたいエクスポートファイル(.zip)を指定します。

ほかのパソコンのホームページビルダー SP で作成したエクスポートファイルをインポートすることもできます。

※ホームページビルダー SP では、サイトをサーバーに転送するときに、サイトのエクスポートファイルもいっしょに転送しておくことができます。こうしておく、サーバーに転送したエクスポートファイルをダウンロードしてインポートすることで、サイトを復元できます。

▶ P.62 **★ポイント** サーバーに転送したファイルを利用して、サイトを復元する

★ポイント アイテムギャラリーに表示するアイテムリストをバックアップする

アイテムギャラリーに表示するアイテムリストは、「サイトのエクスポート」ではエクスポートされません。

アイテムリストは、別途エクスポートしてバックアップします。

1. メニューバーから[サイト-データ管理-アイテムデータ]を選択します。
 2. [アイテムデータの管理]ダイアログボックスで **アイテムリスト** をクリックし、表示されるメニューから[エクスポート]を選択します。
 3. エクスポートしたいアイテムリストをオンにし、エクスポート先とファイル名を設定し、**OK** をクリックします。
- ※エクスポートファイルは、必要なときにインポートします。インポートするには、上記の操作 1.を行い、**アイテムリスト** のメニューから[インポート]を選択します。
- ※サイトのページにアイテムギャラリーを挿入している場合は、サイトをサーバーに転送するときに、表示するアイテムリストのエクスポートファイルもいっしょに転送しておくことができます。こうしておく、サーバーに転送したアイテムリストのエクスポートファイルをダウンロードしてインポートすることで、アイテムギャラリーの表示を再現できます。
- ▶ P.59 **★ポイント** サーバーに転送したファイルを利用して、サイトを復元する

★ポイント サイトやアイテムリストを、ほかのパソコンで使う～データの移行～

サイトやアイテムリストをエクスポートすると、ほかのパソコンでインポートすることができます。パソコン間でデータを移行できます。

▶ P.150 **Q7** ほかのパソコンにあるホームページビルダー SP のデータを使いたい

★ポイント 通常サイトを HTML 形式のホームページとして出力する 通常サイト

通常サイトの場合、サイトを HTML 形式のホームページとして出力することができます。

サイトを開き、メニューバーから[サイト-サイトの HTML 書き出し]を選択し、出力先のフォルダーを指定して **OK** をクリックします。確認のメッセージで **OK** をクリックすると、指定したフォルダーにホームページを構成するファイルが出力されます。フォルダーを開くかを確認するメッセージで **はい** をクリックすると、出力されたファイルを確認できます。

※出力される HTML のファイル名は、各ページの [ページの設定] ダイアログボックスで指定されているファイル名になります。

ファイル名を変更するには、メニューバーから[サイト-ページの設定]を選択します。

※投稿記事アーカイブページは「(投稿タイプの識別子)_archive.html」、投稿記事ページは「(投稿タイプの識別子)(連番).html」というファイル名で、出力先フォルダー内の「post」フォルダーに出力されます。

*1 ブログの投稿記事ページは、「blog (連番).html」です。

★ポイント サイトの自動保存

「サイトを編集中に停電でパソコンの電源が落ち、編集内容を保存できなかった」など、サイトが意図せず閉じられてしまう場合があります。このような場合に備え、初期設定では、3 回の編集操作を行うごとに、編集操作を行ったサイトが自動保存されます。

※サイトを正常に閉じることができたときは、自動保存されたサイトは削除されます。

自動保存を通常の上書き保存機能の代わりとして使用することはできません。

サイトが意図せずに閉じられ自動保存されたサイトが残っている場合は、次にサイトを開くときに「日付の新しい自動保存されたサイトが存在します。復元しますか?」のメッセージが表示されます。**はい** をクリックすると、自動保存されたサイトを復元することができます。

※自動保存する編集操作の回数は、[ツール-オプション]の[一般]シートの[保存オプション]で指定できます。

★ポイント サイト内の不要なファイルを削除するーサイトのクリーンアップー

使わなくなった画像ファイルなど、サイト内の不要なファイルを一括して削除することができます。

サイトを開き、メニューバーから[サイト-サイトのクリーンアップ]を選択します。不要と思われるファイルの一覧が表示されるので、削除したいファイルをオンにして **選択したファイルをごみ箱に移動** をクリックします。

選択したファイルが Windows のごみ箱に移動します。

★ポイント サーバーに転送したファイルを利用して、サイトを復元する

ホームページビルダー SP で作成したサイトは、公開先のサーバーに転送した個々のファイルをダウンロードしても、サイトを復元することはできません。

サイトをサーバーに転送するときに、サイトのエクスポートファイルもいっしょに転送しておくこと、サーバーに転送したエクスポートファイルをダウンロードしてインポートすることで、サイトを復元できます。

※ WordPress サイトの場合、エクスポートファイルをインポートして復元できるのは、ホームページビルダー SP で作成したサイトのページだけです。インターネットから投稿した記事などのデータは復元できません。

1. メニューバーから[ツール-ファイル転送ツールの起動]を選択し、ファイル転送ツールを起動します。
2. ファイル転送ツールの画面の左上で、サーバーへの転送時に使用した転送設定を選択し、**接続** をクリックします。
3. 画面右側にサーバーのフォルダーを、画面左側にファイルをダウンロードする場所を表示します。
4. サーバーのフォルダー内から「backup.zip」を探して選択します。
※ WordPress サイトの場合は、サーバーの「wp-content/themes」フォルダーの「hpb △△ S ○○*1」というフォルダーに転送されています。
*1「○○」には WordPress サイトを作成した日時(yyyymmddhhnss)が入ります。
5. ファイル転送ツールの画面中央にある をクリックし、ファイルをダウンロードします。
6. ホームページビルダー SP のメニューバーから[サイト-サイトのインポート]を選択し、ダウンロードしたファイルをインポートします。

●サイトのページにアイテムギャラリーを挿入している場合

挿入しているアイテムギャラリーで表示しているアイテムリストのエクスポートファイルもいっしょにサーバーに転送されています。サーバーに転送されたアイテムリストのエクスポートファイルをダウンロードしてインポートすることで、アイテムギャラリーの表示を再現できます。

アイテムリストのエクスポートファイルをダウンロードするには、上記の操作 1.~ 3.を行ったあと、操作 4.でサーバーのフォルダー内から「backup_item.zip」を選択して操作 5.を行います。操作 6.では、ホームページビルダー SP のメニューバーから[サイト-データ管理-アイテムデータ]を選択し、アイテムリスト のメニューから[インポート]を選択します。

◆ サイトを公開するー通常サイトー

作成したサイトを公開先のサーバーに転送します。
サイトの公開方法は、サイトタイプ(通常サイト / WordPress サイト)によって異なります。
ここでは、「通常サイト」の公開方法を説明します。

※ WordPress サイトの場合 ▶ P.69

● 公開するまでの手順 ～初回～

1 情報を準備する ▶ P.64

2 転送の設定をする ▶ P.65

3 サイトを転送・公開する ▶ P.68

● 公開するまでの手順 ～2回目以降～

情報の準備・転送の設定は初回だけです。
2回目以降は作成済みの転送の設定を使ってサイトを転送するだけの手順で公開できます。

1 サイトを転送・公開する ▶ P.68

手順 1：情報を準備する

サイトを公開先のサーバーに転送するためには、転送の設定が必要です。
設定に必要な情報を確認し、準備をします。

※下記の情報は、ホームページ開設の手続きを行ったときに、ご契約のプロバイダーなどから通知されているはずですが、わからない場合は、ご契約のプロバイダーやサーバー管理者にお問い合わせください。

必要な情報は、お使いのプロバイダーやサーバーによって異なります。

ホームページ・ビルダー サービスをお使いの場合

※ホームページビルダー サービスは、ジャストシステムが運営するホームページの公開・運営・管理サービスです。お使いいただくには、サービスのお申し込みが必要です。

▶ P.9 ホームページ・ビルダー サービスとは

必要な情報	注意事項	補足
Just アカウントのメールアドレス、パスワード ▶ P.9 Just アカウントとは		<ul style="list-style-type: none"> ● FTP アカウントを複数お持ちの場合には、どの FTP アカウント名を使うかを決めてください。 ● ドメインを複数お持ちの場合は、どのドメイン名を転送先として使うかを決めてください。

そのほかのプロバイダーやサーバーをお使いの場合

必要な情報	注意事項	補足
お使いのプロバイダーやサーバー		
FTP サーバー名	ブラウザの接続や電子メール送受信のためのサーバーではなく、ホームページを管理するサーバーの名前です。	プロバイダーなどによっては「個人ホームページサーバー」「ホスト名」と呼ばれることがあります。
FTP アカウント名	インターネット接続のためのユーザー名、パスワードとは別に定められている場合があります。	プロバイダーなどによっては「ユーザ名」「メールアドレス」「FTP ログイン名」「ログイン名」「ホームページ ID」と呼ばれることがあります。
FTP パスワード		プロバイダーなどによっては「パスワード」「ホームページパスワード」「メールパスワード」と呼ばれることがあります。
転送先フォルダー	プロバイダーなどによっては、特に指定がない場合もあります。その場合は、設定する必要はありません。	プロバイダーなどによっては「パス名」「ユーザーパス名」と呼ばれることがあります。

手順 2：転送の設定をする

サイトを公開先のサーバーに転送するための設定を行います。
設定は、お使いのプロバイダーやサーバーによって異なります。

- ホームページ・ビルダー サービスを使う ▶ P.65
- そのほかのプロバイダーやサーバーを使う ▶ P.66

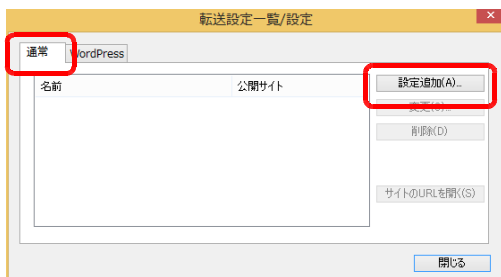
ホームページ・ビルダー サービスを使う

ホームページ・ビルダー サービスを使う場合の転送設定を行います。

※ J-License の場合は、P.66 「そのほかのプロバイダーやサーバーを使う」で説明している方法で転送設定を行います。

1 転送設定を始める

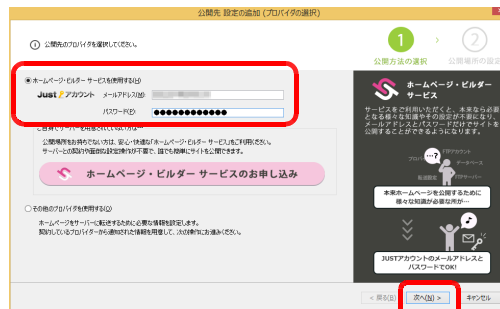
1. メニューバーから[サイト・転送設定の一覧/設定]を選択します。
2. [通常]タブをクリックし、**設定追加** をクリックします。



2 プロバイダーを選択する

1. [ホームページ・ビルダー サービスを使用する]を選択します。
2. [メールアドレス]と[パスワード]に、Just アカウントのメールアドレスとパスワードを入力します。

▶ P.65 手順 1:情報を準備する



3. **次へ** をクリックします。

- FTP アカウント名を複数お持ちの場合、FTP アカウント名を選択する画面が表示されます。転送に使う FTP アカウント名を選択してください。
- ドメインを複数お持ちの場合、ドメインを選択する画面が表示されます。転送先として使うドメインを選択してください。

つづく →

3 転送の設定をする

1. [FTP サーバー名]、[FTP アカウント名]、[FTP パスワード]、[転送先フォルダ]を確認します。

各項目には、自動的に情報が入力されています。

※[転送先フォルダ]に、選択したアカウント名やドメインに応じた転送先が設定されているかを確認してください。



必要に応じて、**詳細** をクリックして、パッシブモード接続の設定などを行います。

2. [転送設定名]を入力します。

転送設定名は、サイト名と同じなど、あとからでもわかりやすい名前を付けることをお勧めします。

3. [サイトの URL]に、URL が設定されていることを確認します。

※[転送先フォルダ]に設定されているフォルダが含まれているかを確認してください。

4. **完了** をクリックします。

5. [転送設定一覧/設定]ダイアログボックスの **閉じる** をクリックします。

以上で転送設定ができました。

この転送設定を使ってサイトを転送・公開します。

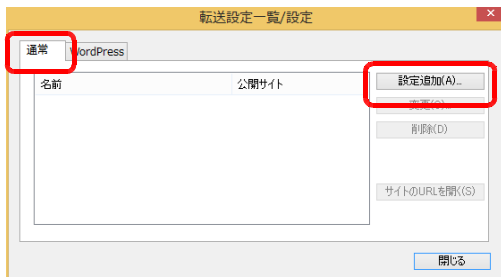
▶ P.68 手順 3 :サイトを転送・公開する

そのほかのプロバイダーやサーバーを使う

ホームページ・ビルダー サービス以外のプロバイダーやサーバーを使う場合の転送設定を行います。この場合は、P.65 「手順 1 :情報を準備する」で確認した情報を参照して設定を行います。

1 転送設定を始める

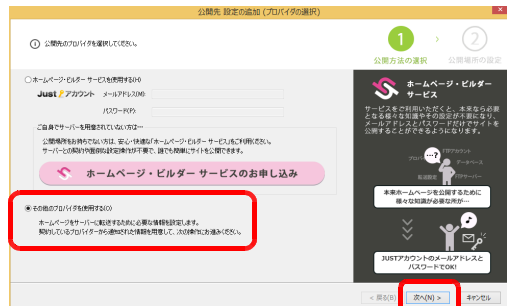
1. メニューバーから[サイト・転送設定の一覧/設定]を選択します。
2. [通常]タブをクリックし、**設定追加** をクリックします。



2 プロバイダーやサーバーを選択する

1. [その他のプロバイダを使用する]を選択し、**次へ** をクリックします。

※ J-License の場合は、この画面は表示されません。



つづく →

2. [プロバイダの選択]の選択欄をクリックして、プロバイダーやサーバーを選択します。

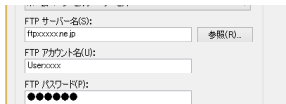
※一覧にしたいプロバイダーやサーバーがない場合は、[その他]を選択します。



FTP サーバーの選択画面が表示された場合は、サーバー名を選択します。
表示されない場合は、操作 3-1. で入力します。

3 転送設定をする

1. [FTP サーバー名]*1、[FTP アカウント名]*1、[FTP パスワード]*1 に、「手順 1 : 情報を準備する」で確認した情報を入力します。



*1 操作 2-2. で選択したプロバイダーやサーバーによっては、表示される項目名が変わります。

！注意 サーバー名やアカウント名などは、通知されたとおりに設定してください

FTP サーバー名、FTP アカウント名、FTP パスワード、転送先フォルダーはすべて、英数字は半角で、大文字・小文字も正しく入力してください。

2. [転送先フォルダ]*2を確認、または設定します。

※操作 2-2. で一覧からプロバイダーやサーバーを選択した場合は、正しい転送先フォルダーが設定されています。転送先フォルダーの指定がないプロバイダーやサーバーの場合は、空欄のままです。「手順 1 : 情報を準備する」で確認した情報と同じか確認します。操作 2-2. で一覧から[その他]を選択した場合は、「手順 1 : 情報を準備する」で確認した情報を設定します。参照 から転送先フォルダーを設定することができます。



*2 操作 2-2. で選択したプロバイダーやサーバーによっては、表示される項目名が変わります。

！注意 [転送先フォルダ]は、通知されたとおりに設定してください

例えば、「public_html にデータを置いてください。」と通知された場合は、「public_html」と設定します。また、「/home/userxxx (あなたのアカウント) にデータを置いてください。」と通知された場合は、先頭に「/」が付いた「/home/userxxx」と設定します。例えば、あなたのアカウントが「yamada」の場合は「/home/yamada」となります。転送先フォルダーの指示がない場合は、空欄のままにしてください。

必要に応じて、「詳細」をクリックして、パッシブモード接続の設定などを行います。

3. [転送設定名]を入力します。

転送設定名は、サイト名と同じなど、あとからでもわかりやすい名前を付けることをお勧めします。

4. [サイトの URL]に、URL が設定されていることを確認します。

※[転送先フォルダ]に設定されているフォルダーが含まれているかを確認してください。

5. 完了 をクリックします。

6. [転送設定一覧/設定]ダイアログボックスの 閉じる をクリックします。

以上で転送設定ができました。
この転送設定を使ってサイトを転送・公開します。

▶ P.68 手順 3 : サイトを転送・公開する

★ポイント 転送設定を修正する

1. メニューバーから[サイト-転送設定の一覧/設定]を選択します。
2. [通常]タブまたは[WordPress]タブをクリックし、一覧から修正したい転送設定を選択します。
3. 変更 をクリックします。
[転送設定の変更]ダイアログボックスが表示されます。
4. 設定項目を変更して OK をクリックし、閉じる をクリックします。

手順 3：サイトを転送・公開する

「手順 2:転送の設定をする」で作成した転送設定を使って、サイトを公開先のサーバーに転送します。サイトの転送が完了すると、ホームページの公開となります。

1 サイトを開く

1. サイトを開いてない場合は、サイトを開きます。

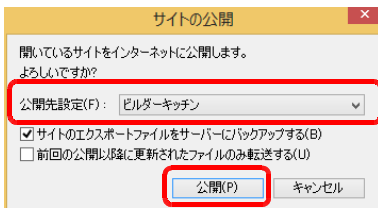
▶ P.19 ★ポイント サイトを開く

2 サイトを転送・公開する

1. ナビバーの[サイトの公開]をクリックします。



2. [公開先設定]の選択欄をクリックして、「手順 2 :転送の設定をする」で設定した転送設定を選択します。



- [サイトのエクスポートファイルをサーバーにバックアップする]をオンにしていると、転送しようとしているサイトのエクスポートファイルもサーバーに転送できます。

※[サイト-サイトのエクスポート]とは異なり、エクスポートファイルに転送設定は含まれません。

※サイトのページにアイテムギャラリーを挿入している場合は、挿入しているアイテムギャラリーで表示しているアイテムリストもサーバーに転送されます。

- [前回の公開以降に更新されたファイルのみ転送する]をオンにすると、前回の転送以降に更新したデータだけを転送でき、転送時間を短縮できます。

※「更新したデータ」の対象は、サイトのページから参照されているファイル(画像ファイルなど)です。ページは常に転送されます。

3. **公開** をクリックします。

4. 転送が完了し、メッセージが表示された場合は **公開サイトを開く** をクリックします。

お使いのブラウザが起動し、転送したサイトのトップページが表示されます。

3 インターネットで確認する

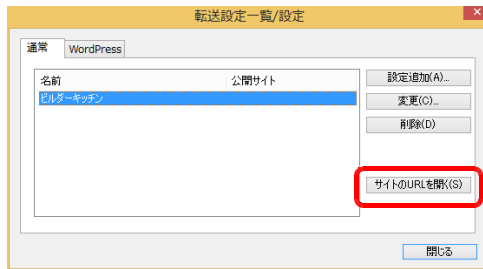
1. ブラウザーの[更新]ボタンをクリックするか F5 キーを押して、ページの内容を最新の情報に更新します。

※更新方法はお使いのブラウザによって異なります。詳しくは、ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

2. ページの内容が正しく表示されるか確認します。

ホームページビルダー SP からサイトのページを表示する

メニューバーから[サイト-転送設定の一覧/設定]を選択し、[通常]タブでサイトを転送したときに使った転送設定を選択して **サイトの URL を開く** をクリックします。ブラウザが起動して、サイトのトップページが表示されます。



◆ サイトを公開する – WordPress サイト –

作成したサイトをサーバーに転送して公開します。

サイトの公開方法は、サイトタイプ(通常サイト / WordPress サイト)によって異なります。

ここでは、「WordPress サイト」の公開方法を説明します。

※通常サイトの場合 ▶ P.64

WordPress サイトの公開には、ホームページビルダー SP で行う操作(SP)と、WordPress の管理画面で行う操作(WP)があります。

● 公開するまでの手順 ～初回～

1 情報を準備する SP ▶ P.70

2 転送の設定をする SP WP ▶ P.71

3 サイトを転送する SP ▶ P.77

4 転送したデータを反映(公開)する WP
▶ P.78

● 公開するまでの手順 ～2回目以降～

情報の準備・転送の設定は初回だけです。

2回目以降は作成済みの転送の設定を使ってサイトを転送し、データを反映するだけの手順で公開できます。

1 サイトを転送する SP ▶ P.77

2 転送したデータを反映(公開)する WP
▶ P.78

手順 1：情報を準備する

WordPress サイトを公開先のサーバーに転送するためには、転送の設定やサーバーの MySQL（データベース）への接続に関する設定が必要です。

設定に必要な情報を確認し、準備をします。

※転送の設定に必要な情報は、ホームページ開設の手続きを行ったときに、ご契約のプロバイダーなどから通知されているはずですが、わからない場合は、ご契約のプロバイダーやサーバー管理者にお問い合わせください。

必要な情報は、お使いのプロバイダーやサーバーによって異なります。

ホームページ・ビルダー サービスをお使いの場合

※ホームページ・ビルダー サービスは、ジャストシステムが運営するホームページの公開・運営・管理サービスです。お使いいただくには、サービスのお申し込みが必要です。

▶ P.9 ホームページ・ビルダー サービスとは

設定	必要な情報
転送の設定	Just アカウントのメールアドレス、パスワード ▶ P.9 Just アカウントとは
MySQL（データベース）接続の設定	情報は必要はありません。 ※必要な情報は自動に取得されます。

そのほかのプロバイダーやサーバーをお使いの場合

設定	必要な情報	補足
転送の設定	FTP サーバー名	プロバイダーなどによっては「個人ホームページサーバー」「ホスト名」と呼ばれることがあります。
	FTP アカウント名	プロバイダーなどによっては、「ユーザ名」「メール アドレス」「FTP ログイン名」「ログイン名」「ホームページ ID」と呼ばれることがあります。
	FTP パスワード	プロバイダーなどによっては、「パスワード」「ホームページパスワード」「メールパスワード」と呼ばれることがあります。
	転送先フォルダー	プロバイダーなどによっては「パス名」「ユーザーパス名」と呼ばれることがあります。
	サイトの URL	
MySQL（データベース）接続の設定	<ul style="list-style-type: none"> ●データベース名 ●データベースのホスト名 ●ユーザー名 ●パスワード ●テーブル接頭辞 	

手順 2：転送の設定をする

WordPress サイトを公開先のサーバーに転送するための設定を行います。
設定は、お使いのプロバイダーやサーバーによって異なります。

- ホームページ・ビルダー サービスを使う ▶ P.71
- そのほかのプロバイダーやサーバーを使う ▶ P.74

ホームページ・ビルダー サービスを使う

ホームページ・ビルダー サービスを使う場合の転送設定を行います。

※ J-License の場合は、P.74 「そのほかのプロバイダーやサーバーを使う」で説明している方法で転送設定を行います。

1 転送設定を始める

1. メニューバーから[サイト・転送設定の一覧/設定]を選択します。
2. [WordPress] タブをクリックし、[設定追加] をクリックします。



2 プロバイダーを選択する

1. [ホームページ・ビルダー サービスを使用する]を選択します。
2. [メールアドレス]と[パスワード]に、Just アカウントのメールアドレスとパスワードを入力します。

▶ P.71 手順 1:情報を準備する



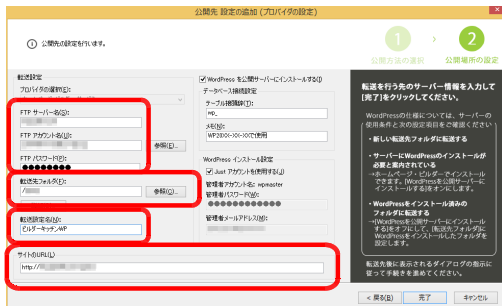
3. [次へ] をクリックします。

- FTP アカウント名を複数お持ちの場合、FTP アカウント名を選択する画面が表示されます。転送に使う FTP アカウント名を選択してください。
- ドメインを複数お持ちの場合、ドメインを選択する画面が表示されます。転送先として使うドメインを選択してください。

つづく →

3 転送設定をする

1. [FTP サーバー名]、[FTP アカウント名]、[FTP パスワード]を確認します。
各項目には、自動的に情報が入力されています。
2. [転送先フォルダ]の右側にある **参照** をクリックして、サイトを転送するフォルダーを指定します。



必要に応じて、**詳細** をクリックして、パッシブモード接続の設定などを行います。

3. [転送設定名]を入力します。

転送設定名は、サイト名と同じなど、あとからでもわかりやすい名前を付けることをお勧めします。

4. [サイトの URL]に、URL が設定されていることを確認します。

※[転送先フォルダ]で設定したフォルダーが含まれているかを確認してください。

4 WordPress をインストールする

1. [WordPress を公開サーバーにインストールする]をオンにします。

※操作 3-2 で[転送先フォルダ]に WordPress をインストール済みのフォルダーを指定した場合は、[WordPress を公開サーバーにインストールする]をオフにします。



！注意 WordPress のインストール

WordPress サイトを公開するには、転送先のフォルダーに WordPress (プログラム)が必要です。
新しい転送先フォルダーに転送する場合は、必ず WordPress をインストールしてください。
すでに WordPress がインストールされている転送先フォルダーに転送する場合は、WordPress をインストールする必要はありません。

テーブル接頭辞

自動的に設定されます。変更する必要はありません。

メモ

ホームページビルダー サービスで、データベース (MySQL) の一覧に表示されるメモです。転送設定の作成日など、何に使っているかがわかるような内容を記載しておく便利です。

2. [WordPress インストール設定]の[管理者アカウント名]、[管理者パスワード]を確認します。

！注意 [WordPress インストール設定]の[管理者アカウント名]と[管理者パスワード]は、WordPress の管理画面にログインする際に必要です

ホームページビルダー では[管理者アカウント名]を「wpmaster」に設定しています。ホームページビルダーで変更することはできません。

[管理者パスワード]は、初期設定で、Just アカウントのパスワードが入力されています。[Just アカウントを使用する]をオフにすると、変更することができます。変更した場合は、忘れないようにメモしておいてください。

※パスワードをお問い合わせいただいても弊社で確認できる方法はありません。

！注意 「管理者アカウント名」「管理者パスワード」について

WordPress の管理画面に不正にログインされるのを防ぐため、「管理者アカウント名」「管理者パスワード」は、下記ページを参照して変更・設定してください。

▶ P.78 **！注意** ログイン名とパスワードの設定について

▶ P.74 **★ポイント** ホームページビルダー サービスで複数の WordPress サイトを管理する場合

3. **完了** をクリックします。
WordPress がインストールされます。
4. WordPress のインストールが完了すると、完了のメッセージが表示されるので、**OK** をクリックします。
5. [転送設定一覧/設定]ダイアログボックスの **閉じる** をクリックします。

以上で転送設定ができました。
この転送設定を使って、サイトを転送します。

▶ P.77 手順 3:サイトを転送する

★ポイント ホームページ・ビルダー サービスで複数の WordPress サイトを管理する場合

複数の部署でそれぞれのサイトを運営するときなど、WordPress にログインするパスワードを別々に設定したい場合は、初期設定のパスワードとメールアドレスを変更します。

[WordPress インストール設定]の[Just アカウントを使用する]をオフにして、[管理者パスワード]と[管理者メールアドレス]にそれぞれの管理者のパスワードとメールアドレスを設定してください。パスワードは自由に設定することができます。

※ 設定したパスワードは忘れないようにメモしておいてください。パスワードをお問い合わせいただいても弊社で確認できる方法はありません。

そのほかのプロバイダーやサーバーを使う

ホームページ・ビルダー サービス以外のプロバイダーやサーバーを使う場合の転送設定を行います。この場合は、P.71 「手順 1:情報を準備する」で確認した情報を参照して設定を行います。また、転送設定を行ったあと、WordPress の利用手続きが必要です。

！注意 お使いのサーバーで、WordPress サイトの公開に必要な環境が整っているか確認してください

転送設定をする前に、サーバー動作環境やデータベース設定を確認してください。

- サーバー動作環境が、必要条件を満たしているか
- WordPress の環境構築に必要な、MySQL (データベース)の設定が完了しているか

▶ P.10 WordPress サイトのサーバー動作環境

1 転送設定を始める

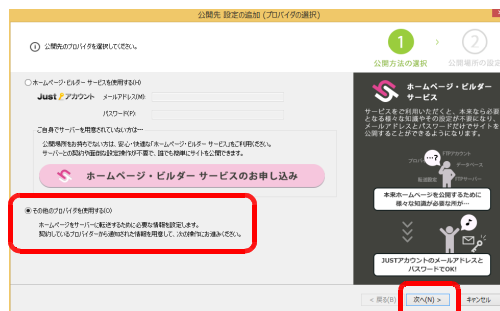
1. メニューバーから[サイト転送設定の一覧/設定]を選択します。
2. [WordPress]タブをクリックし、**設定追加** をクリックします。



2 プロバイダーやサーバーを選択する

1. [その他のプロバイダを使用する]を選択し、**次へ** をクリックします。

※ J-License の場合は、この画面は表示されません。



つづ ➔

2. [プロバイダの選択]の選択欄をクリックして、プロバイダーやサーバーを選択します。

※一覧に使いたいプロバイダーやサーバーがない場合は、[その他]を選択します。

FTP サーバーの選択画面が表示された場合は、サーバー名を選択します。
表示されない場合は、操作 **3**-1. で入力します。

3 転送設定をする

1. [FTP サーバー名]*1、[FTP アカウント名]*1、[FTP パスワード]*1 に、「手順 1:情報を準備する」で確認した転送の情報を入力します。

*1 操作 **2**-2. で選択したプロバイダーやサーバーによっては、表示される項目名が変わります。

2. [転送先フォルダ]*2 を確認、または設定します。

※操作 **2**-2. で一覧からプロバイダーやサーバーを選択した場合は、正しい転送先フォルダが設定されています。転送先フォルダの指定がないプロバイダーやサーバーの場合は、空欄のままです。「手順 1:情報を準備する」で確認した転送の情報と同じか確認します。

操作 **2**-2. で一覧から[その他]を選択した場合は、「手順 1:情報を準備する」で確認した転送の情報を入力します。参照 から転送先フォルダを設定することができます。

*2 操作 **2**-2. で選択したプロバイダーやサーバーによっては、表示される項目名が変わります。

注意 [転送先フォルダ]は、プロバイダーなどから通知されたおりに設定してください

例えば、「public_html にデータを置いてください。」と通知された場合は、「public_html」と設定します。転送先フォルダの指示がない場合は、空欄のままにしてください。

必要に応じて、**詳細** をクリックして、バッチモード接続の設定などを行います。

3. [転送設定名]を入力します。

転送設定名は、サイト名と同じなど、あとからでもわかりやすい名前を付けることをお勧めします。

4. 4.[サイトの URL]に、「手順 1:情報を準備する」で確認した転送の情報を入力します。

4 WordPress のインストールを設定する

1. [WordPress を公開サーバーにインストールする]をオンにします。

※ 操作 **3**-2. で[転送先フォルダ]に WordPress をインストール済みのフォルダを指定した場合は、[WordPress を公開サーバーにインストールする]をオフにします。

▶ P.73 **注意** WordPress のインストール

2. [データベース接続設定]の[データベース名]、[データベースのホスト名]、[ユーザー名]、[パスワード]に、「手順 1:情報を準備する」で確認したデータベース接続の情報を入力します。

※[ユーザー名]と[パスワード]は、MySQL のユーザー名とパスワードです。

※[テーブル接頭辞]を変更する必要はありません。

3. **完了** をクリックします。

WordPress が転送されます。

※お使いの環境によっては、転送にしばらく時間がかかります。

つづく →

5 WordPress の利用手続きをする

WordPress の転送が完了すると、お使いのブラウザが起動して、WordPress をインストールする画面が表示されます。

▶ P.76 **? 困った** WordPress をインストールする画面が表示されない

また、ブラウザの後ろに、WordPress の利用手続きを説明する画面が表示されます。

1. WordPress の利用手続きを説明する画面の内容をよく読んで、閉じる をクリックします。



2. WordPress をインストールするブラウザの画面で、[サイトのタイトル]、[ユーザー名]、[パスワード]、[メールアドレス]を入力します。

注意 [ユーザー名]と[パスワード]は、WordPress の管理画面にログインする際に必要です。忘れずにメモして、大切に保管してください。



3. 画面下部の **WordPress をインストール** をクリックします。

WordPress のインストールが完了すると、ブラウザに「成功しました」という画面が表示されます。

4. ブラウザーを終了します。

5. [転送設定一覧/設定]ダイアログボックスの **閉じる** をクリックします。

以上で転送設定が完了しました。この転送設定を使って、サイトを転送します。

▶ P.77 手順 3 : サイトを転送する

? 困った WordPress をインストールする画面が表示されない

転送設定を確認して、設定項目にまちがいがいがないか、[サイトの URL]が[転送先フォルダ]に設定した場所を指定しているかを確認してください。

[サイトの URL]がまちがっていた場合は、[ダッシュボードの URL]も修正してください。[ダッシュボードの URL]は、サイトの URL の後ろに「/wp/wp-admin」「/wp-login.php」などを付けたものになります。

▶ P.68 **★ポイント** 転送設定を修正する

手順 3：サイトを転送する

「手順 2:転送の設定をする」で作成した転送設定を使って、WordPress サイトを公開先のサーバーに転送します。

1 サイトを開く

1. サイトを開いていない場合は、サイトを開きます。

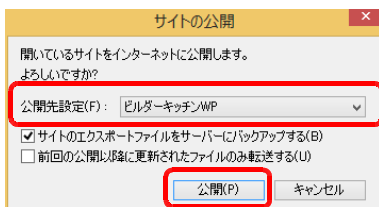
▶ P.19 **★ポイント** サイトを開く

2 サイトを転送する

1. ナビバーの[サイトの公開]をクリックします。



2. [公開先設定]の選択欄をクリックして、「手順 2:転送の設定をする」で設定した転送設定を選択します。



- [サイトのエクスポートファイルをサーバーにバックアップする]をオンにしていると、転送しようとしているサイトのエクスポートファイルもサーバーに転送できます。

※[サイト-サイトのエクスポート]とは異なり、エクスポートファイルに転送設定は含まれません。

※サイトのページにアイテムギャラリーを挿入している場合は、挿入しているアイテムギャラリーで表示しているアイテムリストもサーバーに転送されます。

- [前回の公開以降に更新されたファイルのみ転送する]をオンにすると、前回の転送以降に更新したデータだけを転送でき、転送時間を短縮できます。

※「更新したデータ」の対象は、サイトのページから参照されているファイル(画像ファイルなど)です。ページは常に転送されます。

3. **公開** をクリックします。

ファイルの転送が始まります。

▶ P.77 **? 困った** メッセージが表示されて、ファイルが転送されない

3 WordPress の利用手続きを確認する

ファイルの転送が完了すると、お使いのブラウザが起動し、WordPress の管理画面が表示されます。また、ブラウザの後ろに、WordPress の利用手続きを説明する画面が表示されます。

1. WordPress の利用手続きを説明する画面の内容をよく読んで、**閉じる** をクリックします。

WordPress の管理画面にログインしてデータの反映を行って、サイトを公開します。

▶ P.78 手順 4 :転送したデータを反映(公開)する

? 困った メッセージが表示されて、ファイルが転送されない

インターネットに接続していない場合や、転送先フォルダーに WordPress の環境が構築されていない場合は、ファイルが転送されません。

メッセージに表示されている内容を確認のうえ、インターネットの接続や転送設定の修正を行ってください。

▶ P.10 WordPress のサーバー動作環境

▶ P.68 **★ポイント** 転送設定を修正する

手順 4：転送したデータを反映（公開）する

WordPress サイトはサーバーに転送されましたが、まだサイトは公開されていません。
WordPress の管理画面でデータの反映を行うと、WordPress サイトを公開することができます。

▶ P.78 ★ポイント WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) とは

！注意 ホームページビルダー SP からサイトを転送したときは、データの反映が必要です
2 回目以降の転送時にも、必ずデータの反映を行ってください。

1 WordPress にログインする

1. WordPress の管理画面にログインする画面で、「ユーザー名またはメールアドレス」と「パスワード」を入力します。

※「ログイン状態を保存する」をオンにすると、次回からログイン画面が表示されず、すぐに WordPress の管理画面が表示されるようになります。



ホームページビルダー サービスをお使いの場合

ユーザー名:wpmaster

パスワード : [WordPress インストール設定] の [管理者パスワード] に入力したパスワード

※初期設定では、Just アカウントのパスワードです。

そのほかのプロバイダーやサーバーをお使いの場合

WordPress の利用手続き (P.76 操作 5-2) で設定したユーザー名またはメールアドレスとパスワードを入力します。

2. **ログイン** をクリックします。

つづく➔

！注意 ログイン名とパスワードの設定について

WordPress の管理画面に不正にログインされるのを防ぐために、管理者アカウントのログイン名とパスワードは、十分に配慮して設定してください。ログイン名とパスワードは以下のように設定されることをお勧めします。

- ログイン名 (ホームページビルダー サービスをお使いの場合)
 - 初期状態で作成されている管理者アカウント「wpmaster」を削除し、ログイン名「wpmaster」以外で管理者アカウントを作成する
- ※具体的な変更方法については、次の Web ページをご覧ください。 <https://hpbs.jp/support/>
- パスワード
 - 英数字を組み合わせた 8 桁以上の複雑なものにする
 - ログイン名の文字列を含まないものにする
 - 辞書に載っている単語を含まないものにする
 - ほかに公開しているサイトと異なるものにする

★ポイント WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) とは

ホームページビルダー SP で作成した WordPress サイトの枠組みと、インターネットから投稿した記事の文章や写真を管理する画面です。

転送した WordPress サイトのデータの反映や、記事の投稿のほか、サイトを使いやすくなるための設定などを行います。

ホームページビルダー SP では、サイトの転送時に、WordPress の管理画面に「hpb ダッシュボード」という専用のプラグインを設定しています。このプラグインを使うことで、ホームページビルダー SP と WordPress が連携し、WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) 上で行えるような設定を行えるようになります。

▶ P.80 ? 困った hpb ダッシュボードの画面が表示されない



WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) が表示されます。

※画面左上に「hpb ダッシュボード」というメニューが表示されていない場合は、F5 キーを押して画面を更新してください。



2 データを反映 (公開) する

1. 画面上部に表示されている **データの反映** をクリックします。



2. 公開するページを確認します。

公開するページは **追加する** または

更新する

を選択します。公開しないページは

変更しない

を選択します。

公開するページ

公開したことがないページを公開する場合は

追加する

が表示されます。公開済みのページを

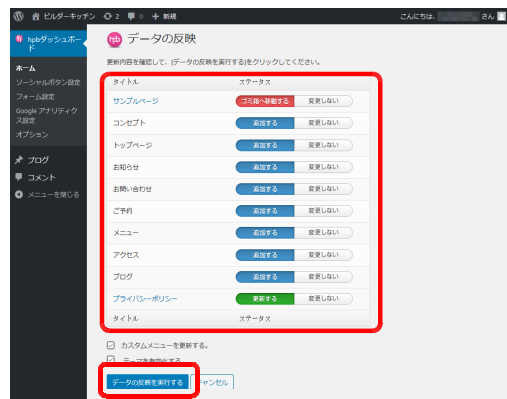
更新する場合は **更新する** が表示されます。どちらを選択しても、ページが公開されます。

削除するページ

ホームページ・ビルダー SP で作成していないページや、削除したページは **ゴミ箱へ移動する** が表示されます。

ゴミ箱へ移動する を選択すると、サーバーで公開していたページが削除されます。

3. **データの反映を実行する** をクリックします。



4. **サイトを見る** をクリックします。



5. 公開した WordPress サイトが正しく表示されることを確認します。

※ WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) に戻るには、画面左上のサイト名をクリックします。

▶ P.80 **？困った** WordPress サイトのサイドバー・フッターの表示が、ホームページ・ビルダー上の表示と異なる

? 困った WordPress サイトのサイドバー・フッターの表示が、ホームページビルダー上の表示と異なる

WordPress サイトのサイドバー・フッターには、WordPress の「ウィジェットエリア」が配置され、「検索」「アーカイブ」などの「ウィジェット」が表示されます。

WordPress サイトのサイドバー・フッターに表示されるウィジェットを、ホームページビルダー上と同じにしたい場合は、hpb ダッシュボードの[基本設定]で[サイドバー設定]をクリックし、「ウィジェット」の設定を変更します。

? 困った hpb ダッシュボードの画面が表示されない

「hpb ダッシュボード」プラグインが無効になっている可能性が考えられます。WordPress の管理画面で、プラグインを有効化します。

1. WordPress にログインします。
2. WordPress の管理画面の左のメニューから[プラグイン]を選択します。
3. 「プラグイン」ページで「hpb Dashboard」を探し、[hpb Dashboard]をオンにして[有効化]をクリックします。

インターネットから記事を投稿する

WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) から記事を投稿して、WordPress のページを更新します。

※記事の投稿は、パソコン・スマートフォン・タブレット端末などから行えます。

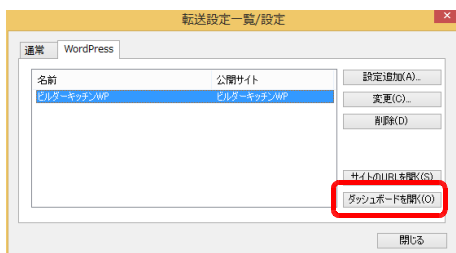
本書では、パソコンを使った操作を説明しています。

※お使いの WordPress のバージョンによって、画面のデザインや操作が異なる場合があります。

WordPress の管理画面での記事の投稿方法について詳しくは、WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) のページ下部にある [hpb ダッシュボードで投稿・集客 PDF マニュアル] をクリックし、表示される PDF マニュアルの「記事を投稿する」をご覧ください。

1 WordPress にログインする

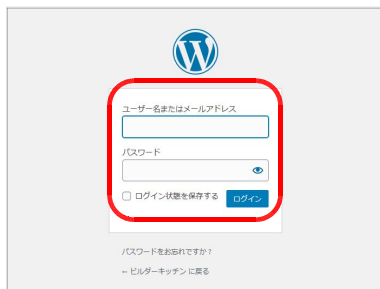
1. ホームページビルダー SP のメニューバーから [サイト転送設定の一覧/設定] を選択します。
2. [WordPress] タブをクリックし、サイトを転送するときに使った転送設定を選択して **ダッシュボードを開く** をクリックします。



お使いのブラウザが起動して、WordPress の管理画面にログインする画面が表示されます。

3. [ユーザー名またはメールアドレス] と [パスワード] を入力して、**ログイン** をクリックします。

※ログイン状態を保存している場合、この画面は表示されません。操作 **2** に進みます。



2 記事を書く

1. hpb ダッシュボードの [新しく投稿する] で、投稿したい投稿タイプの **記事を書く** をクリックします。

※表示される投稿の種類は、ホームページビルダー SP で指定した投稿タイプに応じて異なります。



2. 記事のタイトルと本文を入力し、必要に応じて画像などを挿入します。

つづく →

3 記事に分類を付ける

- 画面右端の【○○*1 のカテゴリー】などの分類*2 で、【+新規カテゴリーを追加】をクリックします。

*1 ○○には、操作 2-1. で指定した投稿タイプが入ります。

*2 ホームページビルダー SP で投稿記事の分類を追加していた場合、その分類も表示されます。

※ ホームページビルダー SP でカテゴリーを設定していた場合など、付けたいカテゴリーが表示されているときは、操作 3-3. に進みます。



- 表示される入力欄に、追加したいカテゴリーを入力して、【新規カテゴリーを追加】をクリックします。



一覧に、追加したカテゴリーが表示されます。

- 記事に付けるカテゴリーをオンにします。



4 記事を投稿する

- 画面右側の【プレビュー】をクリックします。
お使いのブラウザが起動して、投稿した記事が表示されます。
- 記事の内容を確認したら、WordPress の記事を投稿する画面に戻り、【公開】をクリックします。



公開中の WordPress サイトに記事が反映されます。

- 【投稿を表示】をクリックして WordPress サイトを表示します。

※ 画面上のサイト名をクリックするのも同じです。



- WordPress サイトに、記事が投稿されたことを確認します。

記事を投稿すると、該当する投稿タイプが設定された投稿一覧に、記事へのリンクが追加されます。

◆ ページを工夫する

ページに動画やコラム記事を入れたり、写真をスライドショーやアルバムで見せたりしたりして、見る人に楽しんでもらえるようなホームページを作成しましょう。

- 文字や画像にリンクを設定する ▶ P.83
- YouTube 動画や、ビデオ・サウンドを入れる ▶ P.87
- 写真と文章でコラムを作る ▶ P.89
- 写真を動きのある演出で見せるーフォトモーショナー ▶ P.91
- 写真と説明文を並べて商品紹介をするーアイテムギャラリー ▶ P.94

ソーシャルネットワークのボタンを設置したり、SEO 対策をしたりして、多くの人にホームページを見てもらえるよう工夫しましょう。

アクセス解析を行うと、解析の結果をホームページの改善に役立てることができます。

- ソーシャルネットワークを利用する ▶ P.100
- ページに SEO 設定をする ▶ P.102
- Google アナリティクスを設定をする ▶ P.104
- アクセスカウンターを設置する ▶ P.105

ネットショップで販売している商品の「カートに追加する」ボタンを設置することもできます。

- ネットショップのカートを設置する ▶ P.106



文字や画像にリンクを設定する

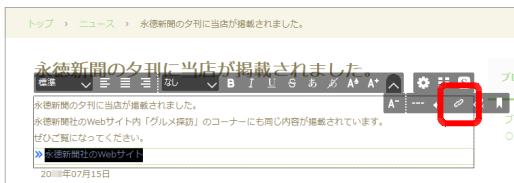
文字や画像に、サイト内の別のページやインターネット上のほかのサイトなどへのリンクを設定することができます。

※サイトナビゲーションの文字にリンクを設定したい場合は、サイトナビゲーションに項目を追加します。

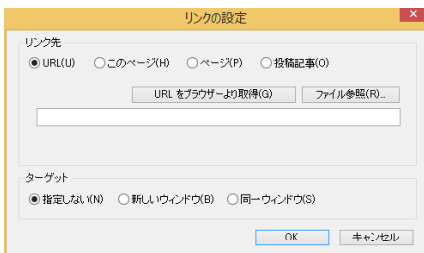
▶ P.38 項目を新しく追加する

●文字にリンクを設定する


1. リンクを設定したい文字列を範囲指定します。
2. 操作ボタン右端の  をクリックし、 [リンク設定] をクリックします。



3. リンク先の種類を選択し、リンク先の URL やページ、投稿記事ページを指定します。




4. ターゲットを指定し、**OK** をクリックします。
文字列にリンクが設定されます。
リンクが正しく設定できたかを、プレビュー画面に切り替えて確認します。
5. ナビバーの[プレビュー]をクリックします。
6. リンクを設定した文字列をクリックします。
リンク先のページがプレビュー画面に表示されます。

元のページに戻るには、プレビュー画面の左上にある  をクリックします。


※プレビュー画面でほかのページへのリンクを確認する場合は、[ツールオプション]の[一般]タブにある[リンクを有効にする]をオンにしておく必要があります。

7. ナビバーの[プレビュー]をクリックし、ページ編集画面に戻します。

●画像にリンクを設定する




1. リンクを設定したい画像をクリックします。
2. 操作ボタン右端の  をクリックし、 [リンクの設定] をクリックします。






※  をクリックし、**リンクの設定** をクリックするのも同じです。

3. 左記の操作 3.～7.を行って、**リンクの設定と確認**を行います。


★ポイント リンクを変更・解除する

リンクを設定した文字列内にカーソルを移動し、操作ボタン右端のをクリックして [リンク設定]をクリックすると、リンク先を変更できます。 [リンク解除]をクリックすると、リンクを解除できます。

リンクを設定した画像をクリックし、操作ボタン右端のをクリックして [リンクの設定]をクリックすると、リンク先を変更できます。 [リンクの解除]をクリックするとリンクを解除できます。

★ポイント リンクを設定した文字の文字色や飾りを変更する

一般的に、リンクを設定した文字は、設定していない文字とは別の文字色で表示されます。文字色を別の色に変更したり、下線などの飾りを付けたりすることができます。

1. リンクを設定した文字列が入力されているパーツで、操作ボタンのをクリックします。
パーツのスタイルを設定するダイアログボックスが表示されます。
2. 画面左側の一覧で、[リンク]や[マウスホバー時のリンク]、[訪問済みリンク]を選択します。
3. 画面右側で[文字]タブを選択し、[文字色]をオンにして文字色を指定したり、[文字飾り]をオンにして[下線]をオンにしたりします。
4. **OK** をクリックします。



※ [マウスホバー時のリンク]、[訪問済みリンク]の設定は、プレビュー画面で確認してください。

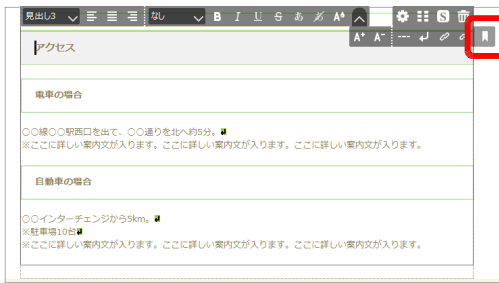
ブックマークを利用する

ページ内の特定の位置をリンク先として指定したい場合は、その位置に「ブックマーク」を設定します。ブックマークは、文字を入力できるパーツ内、または、パーツ自体に設定できます。例えば、ページ内の見出し3の位置にブックマークを設定したり、投稿一覧の位置にブックマークを設定したりできます。

ブックマークを設定する

●文字を入力できるパーツ内に設定する

1. 文字を入力できるパーツ内で、ブックマークを設定したい位置にカーソルを移動します。
2. 操作ボタン右端の  をクリックし、 [ブックマーク設定] をクリックします。




3. [ブックマーク名]に名前を半角英数字で入力し、**OK** をクリックします。



カーソル位置にブックマークが設定されます。

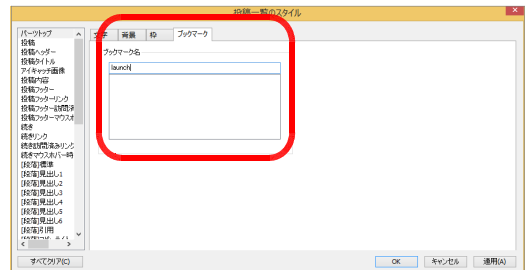
●パーツに設定する

1. ブックマークを設定したいパーツをクリックし、操作ボタンの  をクリックします。



パーツのスタイルを設定するダイアログボックスが表示されます。

2. 画面左側の一覧で、パーツのトップを選択します。
3. 画面右側で[ブックマーク]タブを選択し、[ブックマーク名]に名前を半角英数字で入力します。

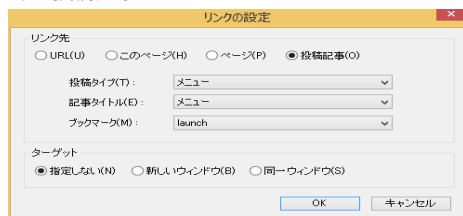


4. **OK** をクリックします。
パーツにブックマークが設定されます。

ブックマークにリンクを設定する

[リンクの設定]ダイアログボックスで、リンクを設定したいブックマークのあるページや投稿記事を指定し、リンクを設定したいブックマークを選択します。

[例] 投稿記事ページのブックマーク「launch」に、リンクを設定する



サイトナビゲーションに、ブックマークにリンクする項目を追加することもできます。

▶ P.38 項目を新しく追加する

★ポイント ブックマークにカーソルを移動する

ブックマークした位置には、カーソルをすばやく移動させることができます。

1. メニューバーから[サイト-ブックマークの一覧]を選択します。
2. [サイト内]または[ページ内]を選択し、サイト内のすべてのブックマークを一覧表示するか、ページ内のブックマークだけを一覧表示するかを切り替えます。
3. カーソルを移動させたいブックマークを選択し、**移動** をクリックします。
選択したブックマークにカーソルが移動します。

★ポイント ブックマークを削除する

メニューバーから[サイト-ブックマークの一覧]を選択し、ブックマークの一覧で削除したいブックマークを選択し、**削除** をクリックします。

YouTube 動画や、ビデオ・サウンドを入れる

ページに、YouTube 動画やビデオ・サウンドを入れることができます。

YouTube 動画を入れる

1 動画の埋め込みコードをコピーする

1. YouTube のサイトにアクセスし、ページに入れたい YouTube 動画を表示します。
2. [共有]をクリックします。



3. [埋め込みコード]をクリックし、表示されている埋め込みコードをクリップボードにコピーします。



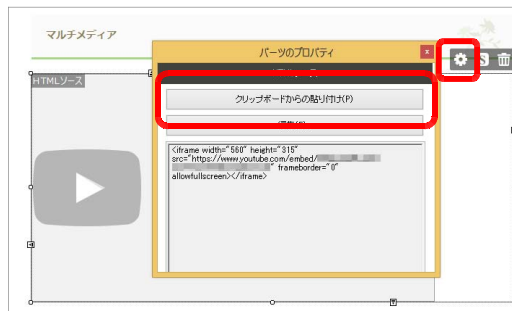
2 HTML ソースパーツを配置する

1. [パーツ一覧]ビューで「HTML ソース (YouTube、アフィリエイト)」パーツを選択し、「YouTube」のパーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



2. [設定]をクリックし、クリップボードからの貼り付けをクリックします。

[パーツのプロパティ]ビューに、操作 1-2. でコピーした YouTube 動画の埋め込みコードが表示されます。



3 プレビュー画面で動画を確認する

YouTube 動画はページ編集画面では再生されません。プレビュー画面で確認します。

1. ナビバーの[プレビュー]をクリックします。
2. YouTube 動画が再生されることを確認します。
3. ナビバーの[プレビュー]をクリックし、ページ編集画面に戻します。


ビデオ・サウンドを入れる

- 挿入できるビデオファイル
.swf、.avi、.asf、.wmv、.mpeg、.mpg、.mp4、.m4v、.mp2、.flv
- 挿入できるサウンドファイル
mp3、.wma、.mid、.wav、.au、.aif、.snd

●ビデオを入れる

1. [パーツ一覧]ビューで「マルチメディア(動画・音楽)」パーツを選択し、「MOVIE」のパーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



2.  をクリックし、「ファイルの選択」をクリックします。



3. ビデオファイルを選択し、「開く」をクリックします。
[パーツのプロパティ]ビューで動画が再生されます。




※ビデオはページ編集画面では再生されません。マルチメディアパーツの[パーツのプロパティ]ビューか、プレビュー画面で確認します。

●サウンドを入れる

1. [パーツ一覧]ビューで「マルチメディア(動画・音楽)」パーツを選択し、「MUSIC」のパーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



2.  をクリックし、「ファイルの選択」をクリックします。



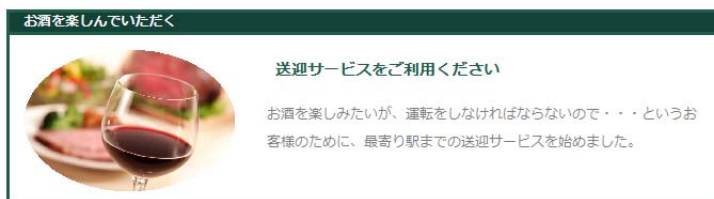
3. サウンドファイルを選択し、「開く」をクリックします。
[パーツのプロパティ]ビューで音楽が再生されます。



※サウンドはページ編集画面では再生されません。マルチメディアパーツの[パーツのプロパティ]ビューか、プレビュー画面で確認します。

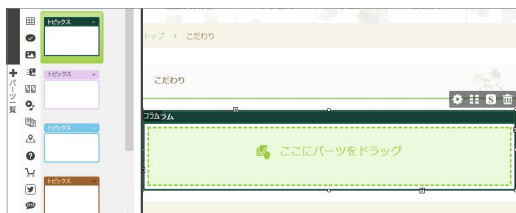
写真と文章でコラムを作る

雑誌のコラム記事のように、見出し・写真・文章をひとまとまりでレイアウトすることができます。



1 コラムパーツを配置する

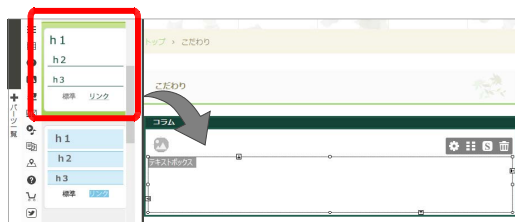
1. [パーツ一覧]ビューで「コラム」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



2. [パーツ一覧]ビューで「画像」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



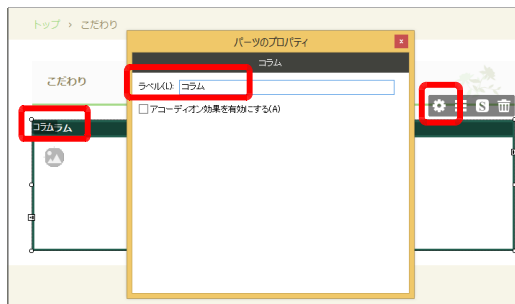
3. [パーツ一覧]ビューで「テキストボックス」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



「リスト/定義リスト」パーツのリストや定義リストを配置しても、文章を入力できます。

2 コラムの内容を作成する

1. コラムパーツをクリックし、をクリックしてコラムのタイトルを設定します。



[アコーディオン効果を有効にする]をオンにすると、タイトルをクリックして、コラムの内容を表示したり非表示にしたりできます。

2. 画像パーツをクリックし、 [画像の選択]をクリックして写真を設定します。

つづく →



3. テキストボックスパーツをクリックし、文章を入力します。

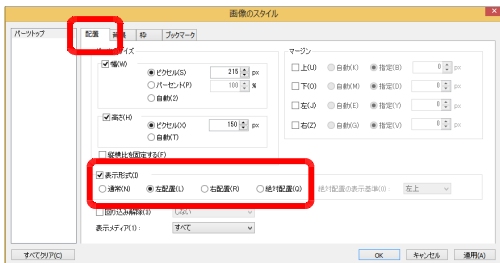


見出しにしたい行は、操作ボタンの「標準」[段落属性]をクリックして、「見出し 1」などの段落属性を設定します。

定義リストの場合は、「定義項目」を見出し行として利用できます。必要のない「定義項目」と「説明項目」は削除します。

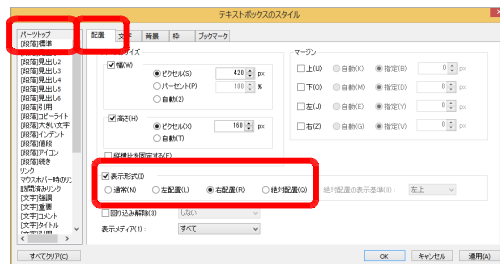
3 写真と文章のレイアウトを調整する

1. 写真をクリックし、フォーカス枠の周りの○をドラッグしてサイズを調整します。
2. 画像の操作ボタンの「S」をクリックし、[配置]タブに切り替えて、[表示形式]をオンにして「左配置」を選択し、OK をクリックします。



3. テキストボックスをクリックし、フォーカス枠の周りの○をドラッグしてサイズを調整します。

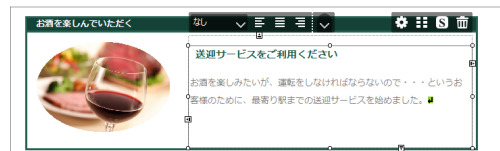
4. テキストボタンの操作ボタンの「S」をクリックし、画面左側の一覧で[パートトップ]を選択します。
5. [配置]タブに切り替えて、[表示形式]をオンにして「右配置」を選択し、OK をクリックします。



写真と文章が並んで配置されます。



6. 必要に応じて、写真やテキストボックスのフォーカス枠の周りの四角をドラッグし、コラムタイトルやコラム枠線との間隔(マージン)、写真と文章との間隔(マージン)を調整します。



7. テキストボックスの高さなどを調整します。

レイアウトを微調整する

操作ボタンの「S」をクリックして表示される[○○のスタイル]ダイアログボックスでは、パーツのサイズやマージンを数値で指定できます。

スマートフォンで表示したときのレイアウトを確認する

ナビバー下段の中央にある[スマートフォン]をクリックし、スマートフォンの表示に切り替えてレイアウトを確認します。必要に応じてレイアウトを調整します。

※レイアウトを調整後、ナビバー下段の中央にある[PC]をクリックしてパソコンの表示に戻します。

写真を動きのある演出で見せる－フォトモーショーン－

複数の写真を、スライドショーやズームといった動きのある演出で見せることができます。
次の動き（モーショーン）を設定できます。

- スライドショー 写真をいろいろな効果で切り替えながら表示できます。
- ギャラリー 写真のサムネイルを並べ、クリックした写真を画面いっぱいに表示できます。
- カルーセル 写真をスクロールさせて、流し見することができます。
- ズーム ポインターを合わせた部分を拡大表示できます。




1 フォトモーショーンパーツを配置する

1. [パーツ一覧]ビューで「フォトモーショーン」パーツを選択し、目的のモーショーンをページ上にドラッグ&ドロップします。



モーショーンはあとからパーツのプロパティで変更できます。

2 写真を選択する

1.  をクリックし、**画像ファイルの選択** をクリックします。

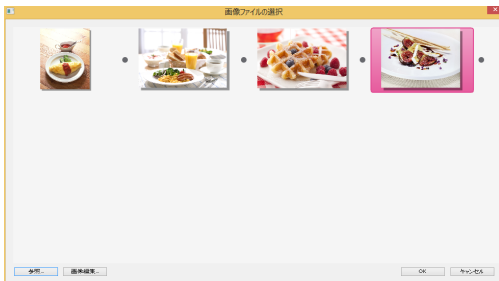



つづく →

2. [画像ファイルの選択]画面に、写真を設定します。




- **参照** を使う
参照 をクリックし、使いたい写真を選択します。同じフォルダー内の写真を、Ctrl キーを押しながら次々にクリックすると、複数の写真をまとめて選択できます。
- **エクスプローラー**や**写真管理ソフト**を使う
エクスプローラーや写真管理ソフトの一覧で写真を選択し、[画像ファイルの選択]画面にドラッグ&ドロップします。




- [画像ファイルの選択]画面での並びが、動きを再生する際の並びになります。写真の並びを変えたいときは、一覧内で画像をドラッグします。
- 一覧から画像を削除するには、画像にポインターを合わせて  をクリックします。

フォトモーションの写真に説明文を表示する

一覧内の画像にポインターを合わせて  をクリックし、[キャプション]を設定します。

フォトモーションの写真にリンクを設定する

一覧内の画像にポインターを合わせて  をクリックし、[リンク先]を設定します。

3. **OK** をクリックします。

選択した写真が反映されます。



4. [プレビュー]で動きを確認します。



5. 動きや見せ方の詳細を設定するときは、**カスタマイズ** をクリックして設定します。

▶ P.93 **★ポイント** 動きや見せ方を変える

? 困った フォトモーションがすべてのページに表示される

サイトナビゲーションのすぐ下にフォトモーションを挿入したときなど、フォトモーションがすべてのページに表示されることがあります。これは、フォトモーションが、すべてのページに表示される共通の領域に配置されていることが原因である場合があります。

※サイトナビゲーションは、共通の領域(コンテンツヘッダー)に配置されています。

共通の領域に配置したフォトモーションを、トップページにだけに表示したい場合は、次の操作を行います。

1. フォトモーションのパーツをクリックし、操作ボタンの **S** をクリックします。
[フォトモーションのスタイル]ダイアログボックスが表示されます。
2. [表示ページ]タブを選択し、[個別に指定する]を選択して[トップページ]だけをオンにし、**OK** をクリックします。

★ポイント 動きや見せ方を変える

フォトモーションの[パーツのプロパティ]ビューで「カスタマイズ」をクリックすると、動きや見せ方を変えることができます。あらかじめ用意されているスタイルから選択するほか、詳細を設定することもできます。

●スライドショー

- ノーマル…スライドショーだけを表示します。
- ページャー…スライドショーの画面に、現在表示している画像を示すページャーを付けます。
- サムネイルページャー…スライドショーの画面に、現在表示している画像を示すサムネイルページャーを付けます。

[詳細]では、画像を切り替えるときの効果や速さなどを設定できます。

●ギャラリー

- ブラック…スライダーの背景を黒色にします。
- ホワイト…スライダーの背景を白色にします。
- パターン…スライダーの背景をパターン画像にします。

[詳細]では、画像の表示方法やサイズなどを設定できます。

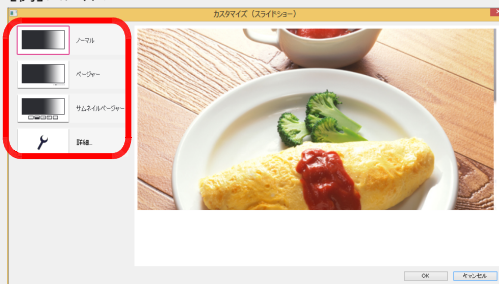
●カルーセル

- スライド…スライド形式で画像を切り替えます。
 - ティッカー…アニメーションのように、画像を流れるように切り替えます。
- [詳細]では、表示する画像の数や切り替える速さなどを設定できます。

●ズーム

- ウィンドウ…ポインターを合わせた部分の拡大表示を、固定の別ウィンドウで表示します。
 - インナーズーム…ポインターを合わせた部分の拡大表示を、対象ウィンドウ内に表示します。
 - レンズ…ポインターを合わせた部分の拡大表示を、ポインターに合わせて移動する別ウィンドウで表示します。
- [詳細]では、ズームウィンドウの拡大率や画像のサイズなどを設定できます。

[例]スライドショー



写真と説明文を並べて商品紹介をする－アイテムギャラリー－

「アイテムギャラリー」は、複数の写真と説明を並べて表示できるパーツです。アルバムとして利用できるのはもちろん、写真をクリックすると拡大表示できるため、商品説明などにもお勧めです。



●手順

アイテムギャラリーに並べるアイテムのデータ(写真や説明)を「アイテムリスト」に登録し、「アイテムギャラリー」パーツをページに配置します。

1 アイテムをアイテムリストに登録する ▶ P.96


2 アイテムギャラリーパーツを配置する ▶ P.98

サンプルのアイテムリストを確認する

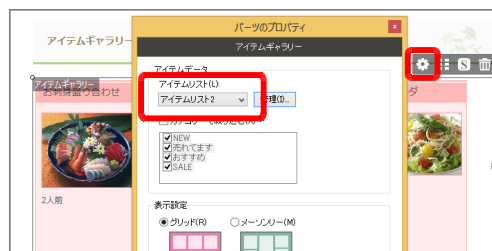
ホームページビルダー SP には、サンプルのアイテムリストが 2 つ用意されています。最初に、サンプルのアイテムリストの写真や説明をアイテムギャラリーパーツに表示させて、アイテムリストの内容がアイテムギャラリーパーツにどのように表示されるのかを確認しておきましょう。

1. [パーツ一覧]ビューで「アイテムギャラリー」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ&ドロップします。



2.  をクリックし、[アイテムリスト]で[アイテムリスト 2]を選択します。

アイテムギャラリーに、アイテムリスト 2 に登録されているアイテムの写真や説明が表示されます。



つづく →

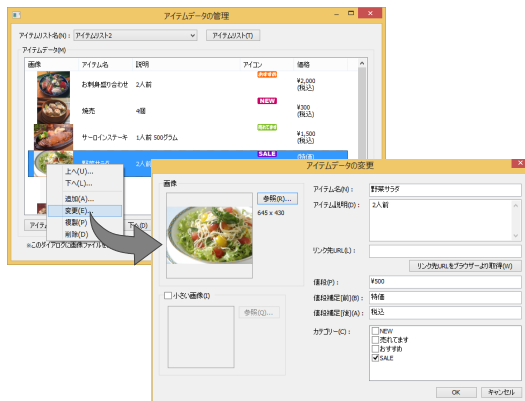
3. 管理 をクリックします。

[アイテムデータの管理]ダイアログボックスが表示されます。



[アイテムリスト名]で[アイテムリスト 2]が選択され、[アイテムデータ]の一覧に、「アイテムリスト 2」に登録されているアイテムデータが表示されます。

4. アイテムデータ上で右クリックして[変更]を選択すると、アイテムデータの内容を確認できます。



● アイテムギャラリー

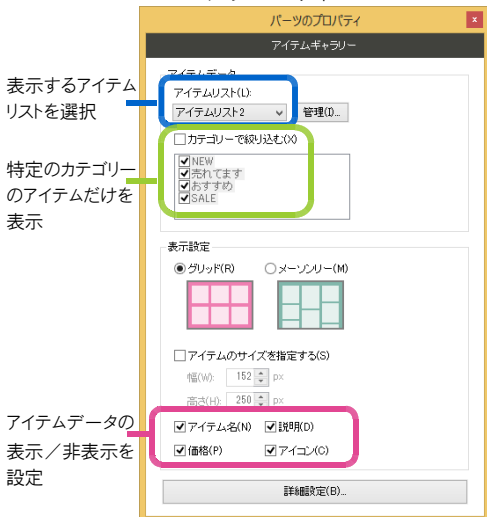


*1 アイコンは、あらかじめ用意されているカテゴリ（NEW / 売れてます / おすすめ / SALE）を設定したアイテムに自動的に表示されます。

● アイテムデータの管理



● パーツのプロパティ



● アイテムデータの追加 / 変更



手順 1：アイテムをアイテムリストに登録する

アイテムギャラリーに表示するアイテムのデータ(写真や説明)を、アイテムリストに登録します。

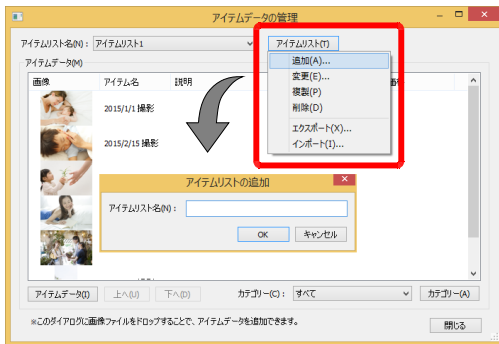
1 アイテムリストを作成する

1. メニューバーから[サイト-データ管理-アイテムデータ]を選択します。

※アイテムギャラリーパーツのプロパティで、**管理** をクリックするのも同じです。

2. **アイテムリスト** をクリックし、メニューから[追加]を選択します。

3. アイテムリスト名を入力し、**OK** をクリックします。

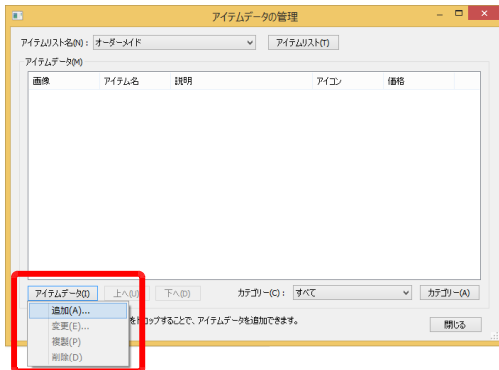


新しいアイテムリストが作成され、[アイテムリスト名]で選択されます。

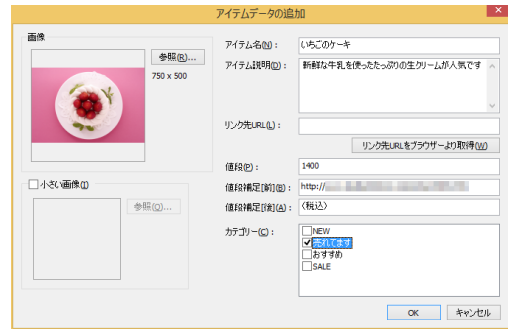
2 アイテムを登録する

1. **アイテムデータ** をクリックし、メニューから[追加]を選択します。

※アイテムデータの一覧上で右クリックし、メニューから[追加]を選択するのも同じです。



2. アイテムの写真や名前、各項目を設定します。



小さい画像

アイテムギャラリーのサムネイル写真の設定をします。オフの場合は、[画像]で指定した写真が自動的に縮小されて使用されます。

解像度の小さな写真などを使用したい場合はオンにして、写真を指定します。この場合、[画像]で指定した写真は、写真をクリックしたときの拡大表示でだけ使用されます。

リンク先 URL

初期設定では、写真をクリックしたときに、専用ウィンドウで写真が拡大表示されます。写真をクリックしたときにインターネットのページにジャンプのようにしたいときは、ここで URL を指定します。

※写真をクリックしたときの動作は、アイテムギャラリーのパーツのプロパティで **詳細設定** をクリックして設定します。

カテゴリ

設定したいカテゴリをオンにします。あらかじめ用意されているカテゴリ (NEW / 売れまです / おすすめ / SALE) は、オンにすると、対応するアイコンが表示されます。カテゴリは追加することができます。

▶ P.97 ★ポイント アイテムをカテゴリで分類する

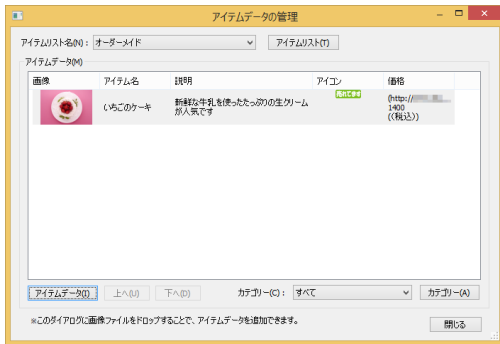
3. **OK** をクリックします。

アイテムが登録されます。

アイテムの写真をドラッグ&ドロップして追加する

エクスプローラーや写真管理ソフトの一覧で登録したいアイテムの写真を選択し、[アイテムデータの管理]ダイアログボックスにドラッグ&ドロップしても、アイテムを登録できます。アイテムが登録できたら、アイテムデータ上で右クリックして[変更]を選択し、名前などを設定してください。

つづく➔



4. 操作 **2**-1.~ 3.を繰り返し、アイテムを登録します。

アイテムを複製する

よく似たアイテムは、アイテムデータを複製すると設定の手間を省けます。アイテム上で右クリックし、メニューから[複製]を選択します。

アイテムの並び順を変更する

[アイテムデータ]の一覧でアイテムを選択し、**上へ**または**下へ**をクリックします。一覧の上から順に、アイテムギャラリーにアイテムが並びます。

5. 登録が終わったら、**閉じる**をクリックします。

作成済みのアイテムリストにアイテムを追加する

操作 **1**-1.のあと、[アイテムリスト名]の選択欄をクリックし、アイテムを追加したいアイテムリストを選択してから、操作 **2**を行います。

★ポイント アイテムをカテゴリで分類する

アイテムデータにカテゴリを設定して分類しておく(▶ P.97 操作 **2**-3.)、特定のカテゴリのアイテムだけをアイテムギャラリーに表示することができます。

● アイテムギャラリーに、特定のカテゴリのアイテムだけを絞り込んで表示する

アイテムギャラリーのパーツのプロパティで、[カテゴリを絞り込む]をオンにし、表示したいカテゴリをオンにします。



● [カテゴリを絞り込む]をオン



● 特定のカテゴリをオン



● カテゴリを追加する

[アイテムデータの管理]ダイアログボックスで **カテゴリ** をクリックして[追加]を選択し、新しいカテゴリを追加します。

※新しいカテゴリには、アイコンを設定することはできません。

● [アイテムデータ]の一覧に、特定のカテゴリのアイテムだけを絞り込んで表示する

[アイテムデータの管理]ダイアログボックスの[カテゴリ]の選択欄をクリックし、表示したいカテゴリを選択します。

カテゴリは、親子関係を持たせることができます。

アイテムデータの一覧やアイテムギャラリーでのカテゴリの絞り込みでは、親カテゴリで絞り込むと、子カテゴリもいっしょに絞り込まれます。

あらかじめ用意されている、アイコンが表示されるカテゴリを親カテゴリに指定した場合は、子カテゴリにも同じアイコンが表示されます。

★ポイント アイテムリストのバックアップをとる

▶ P.62 **★ポイント** アイテムギャラリーで使うアイテムリストをバックアップする

手順 2 : アイテムギャラリーパーツを配置する

アイテムギャラリーパーツをページに配置し、表示するアイテムリストを指定します。


※アイテムギャラリー内に「ネットショップ・カート連携」パーツを設置することはできません。

1 アイテムギャラリーパーツを配置する

1. [パーツ一覧]ビューで「アイテムギャラリー」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ & ドロップします。



2 アイテムリストを指定する

1.  をクリックし、[アイテムリスト]の選択欄をクリックし、表示するアイテムリストを選択します。



アイテムギャラリーに、選択したアイテムリストのアイテムが表示されます。



カテゴリーで絞り込む

特定のカテゴリーを設定したアイテムだけを表示したい場合は、[カテゴリーで絞り込む]をオンにし、目的のカテゴリーをオンにします。

3 表示に関する設定をする

1. アイテムを同じ高さで表示するか(グリッド)、アイテムをそれぞれの高さで表示するか(メゾンリー)を選択します。
2. 必要に応じて、アイテムのサイズを指定します。
3. 「アイテム名」「説明」などを表示するかしないかを設定します。

ソーシャルネットワークを利用する

ページにソーシャルネットワークのボタンを追加して、口コミでページを宣伝してもらいましょう。

次のソーシャルネットワークのボタンを挿入できます。

- Twitter のツイートボタン
- mixi チェック/mixi イイネ！ボタン
- Facebook のいいね！ボタン
- はてなブックマークボタン
- LINE で送るボタン

※ mixi チェックボタン/mixi イイネ！ボタンを追加するには、mixi チェックキーの取得が必要です。

※ LINE で送るボタンは、スマートフォン (iOS / Android) で閲覧したときに有効です。パソコンで閲覧したときは動作しません。

ソーシャルネットワークのボタンを追加する操作は、サイトタイプによって異なります。

通常サイトの場合は、ホームページビルダー SP で操作します。▶ P.100

WordPress サイトの場合は、WordPress の管理画面で操作します。▶ P.101

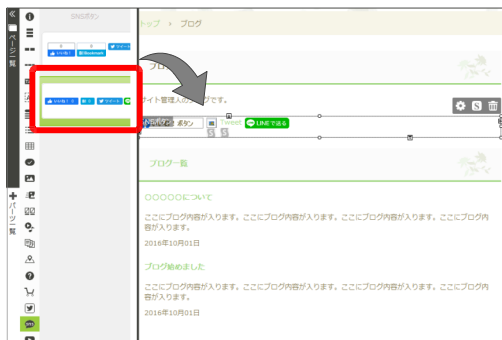
通常サイトにソーシャルネットワークのボタンを追加する

通常サイト


通常サイトの場合は、ホームページビルダー SP でボタンを追加します。

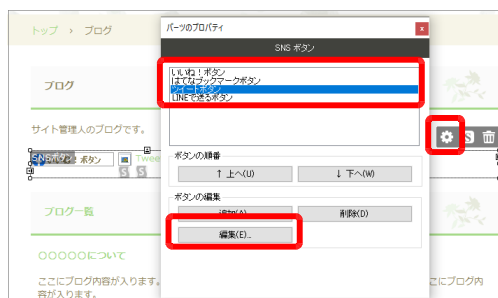
1 SNS ボタンパーツを配置する

1. [パーツ一覧]ビューで「SNS ボタン」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ & ドロップします。



2 ページの URL やボタンのデザインを設定する

1.  をクリックし、ボタンの一覧でページの URL やボタンのデザインを設定したいボタンを選択し、**編集** をクリックします。
ここでは例として、「Twitter のツイートボタン」の設定をします。



ボタンを削除する

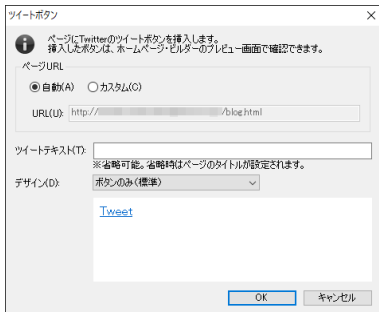
ボタンの一覧でボタン名を選択し、**削除** をクリックします。

ボタンの並び順を変更する

ボタンの一覧でボタン名を選択し、**上へ** または **下へ** をクリックします。

つづく →

- [ページ URL]でページの URL を確認します。
自動的に設定された URL から変更したい場合は、[カスタム]を選択して URL を指定します。
- [ツイートテキスト]に、ツイートしてもらいたい内容を入力します。
- [デザイン]でボタンのデザインを選択します。



- OK をクリックします。

※ Facebook のいいね！ ボタンを追加したときは、ページの OGP 設定で Facebook のユーザー ID とアプリ ID を設定してください。

▶ P.101 ページに OGP を設定する

3 プレビュー画面でボタンを確認する

※ Twitter のツイートボタンはプレビュー画面に表示されません。サイトを公開したあと、Web のページで確認してください。

- ナビバーの[プレビュー]をクリックします。
- ボタンが表示されることを確認します。
- ナビバーの[プレビュー]をクリックし、ページ編集画面に戻します。

★ポイント Twitter タイムラインを追加する

「Twitter タイムライン」パーツを追加すると、多くのつぶやきをコンパクトにまとめて一覧表示することができます。


※ Twitter タイムラインを追加するには、あらかじめ Twitter サイトでのタイムラインウィジェットの作成が必要です。ウィジェットを作成して作成されたウィジェットコードを、Twitter タイムラインパーツで指定し、ページに追加します。

通常サイトのページに OGP 設定をする

OGP とは「The Open Graph Protocol」の略です。

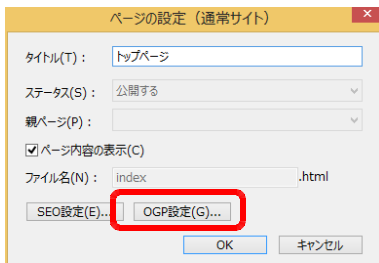
ページに独自形式のタグを埋め込むことで、ソーシャルネットワークのボタンをクリックしたときに、Facebook や mixi に投稿される記事の形式や内容を指定します。

※ページに OGP 設定ができるのは、通常サイトだけです。WordPress サイトでは設定できません。

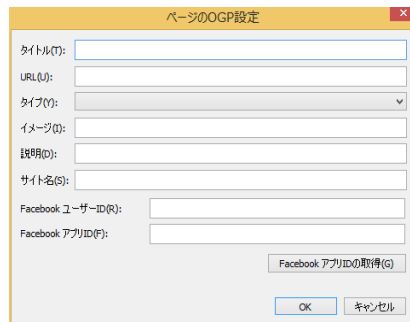
- [ページ一覧]ビューで、OGP 設定をしたいページをクリックし、 をクリックします。



- OGP 設定 をクリックします。



- ページのタイトル、URL、説明などを設定します。



タイプ

ページの内容に近いタイプを選択します。

つづく →

イメージ

ページに挿入している画像の URL や、ページ全体を表す画像の URL を設定します。複数の画像を指定する場合は、画像の URL を半角の「|」で区切って入力します。

Facebook ユーザー ID / Facebook アプリ ID

Facebook のいいね！ボタンを追加する場合は、設定を行います。

Facebook アプリ ID の取得 をクリックすると、ブラウザを起動し、Facebook サイトのアプリケーション ID の取得ページから、アプリケーション ID を取得できます。

4. **OK** をクリックします。
ページに OGP のタグが埋め込まれます。
5. サイトを上書き保存し、サイトを公開します。

WordPress サイトにソーシャルネットワークのボタンを追加する

WordPressサイト

WordPress サイトの場合は、サイトの転送・データの反映後に、WordPress の管理画面でボタンを追加します。

WordPress サイトでのボタンの配置方法は、WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) のページ下部にある [hpb ダッシュボードで投稿・集客 PDF マニュアル] をクリックし、表示される PDF マニュアルの「ソーシャルボタンを追加する」をご覧ください。

ページに SEO 設定をする

SEOとは「Search Engine Optimization」の略で、検索サイトの検索結果で、サイトのページがより上位に表示されるように工夫することです。

検索サイトは、検索エンジンを使ってページの情報を蓄積しています。検索用のキーワードや説明文をページに設定して情報を詳しくすると、情報が蓄積されやすくなり、検索結果で上位に表示される確率が高くなります。

SEO 設定をする操作は、サイトタイプによって異なります。


通常サイトの場合は、ホームページ・ビルダー SP で操作します。▶ P.103

WordPress サイトの場合は、WordPress の管理画面で操作します。▶ P.104

通常サイトで SEO 設定をする

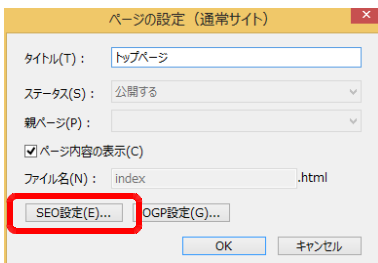
通常サイト

通常サイトの場合は、ホームページ・ビルダー SP で SEO 設定を行います。

1. [ページ一覧]ビューで、SEO 設定をしたいページをクリックし、 をクリックします。



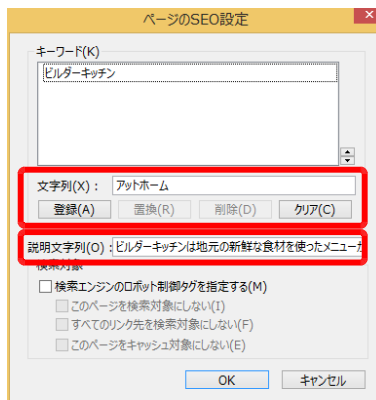
2. **SEO 設定** をクリックします。



3. [キーワード]の[文字列]に、キーワードとして登録したい文字列を入力し、**登録** をクリックします。

[キーワード]の欄に文字列が登録されます。

操作 3. を繰り返し、キーワードにしたい文字列をすべて登録します。



4. [説明文字列]に、ページの説明文を入力します

ページの説明文は、検索サイトでページ名の下などに表示されます。説明文でページの内容を魅力的に紹介することができれば、閲覧数も増加します。

5. **OK** をクリックします。

ページに検索用キーワードと説明文が設定されます。

6. **サイトを上書き保存し、サイトを公開**します。

※検索サイトの検索結果に反映されるまでには、数日～数か月かかることがあります。

★ポイント ページが検索サイトで検索されないようにする

[ページの SEO 設定] ダイアログボックスの[検索対象]で、[検索エンジンのロボット制御タグを指定する]をオンにします。[このページを検索対象にしない]をオンにすると、ページが検索サイトで検索されないようにすることができます。

WordPress サイトで SEO 対策を行う場合は、別途提供される WordPress のプラグイン「hpb SEO プラグイン for WordPress」をご利用ください。

※「hpb SEO プラグイン for WordPress」は、hpb ダッシュボードから WordPress の管理画面にインストールできます。

Google アナリティクスの設定をする

サイトに Google アナリティクスの設定をします。

※「Google アナリティクス」は Google 社が提供するアクセス解析サービスです。
Google アナリティクスの設定をするには、Google アカウントから「トラッキング ID」を取得する必要があります。

設定をする操作は、サイトタイプによって異なります。

通常サイトの場合は、ホームページビルダー SP で操作します。▶ P.105

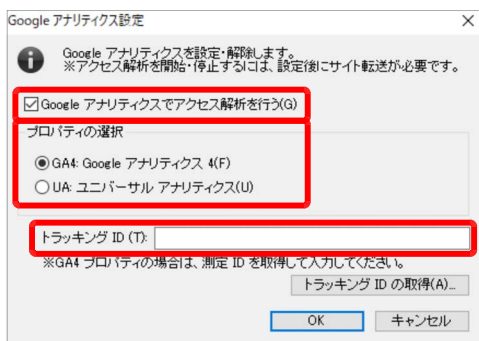
WordPress サイトの場合は、WordPress の管理画面で操作します。▶ P.105

通常サイトに Google アナリティクスの設定をする

通常サイト

通常サイトの場合は、ホームページビルダー SP で設定を行います。

1. メニューバーから[サイト-Google アナリティクス設定]を選択します。
2. [Google アナリティクスでアクセス解析を行う]をオンにします。



3. [プロパティの選択]で、計測に使用するプロパティの種類を選択します。
[GA4: Google アナリティクス 4]と[UA: ユニバーサル アナリティクス]のいずれかを選択します。
4. [トラッキング ID]に、Google アカウントから取得したトラッキング ID を入力します。

トラッキング ID の取得 をクリックすると、ブラウザを起動し、Google アナリティクスのページからトラッキング ID を取得できます。

5. **OK** をクリックします。
各ページに Google アナリティクスのトラッキングコードが埋め込まれます。
6. サイトを上書き保存し、サイトを公開します。

★ポイント Google アナリティクスの設定を解除する

1. メニューバーから[サイト-Google アナリティクス設定]を選択します。
2. [Google アナリティクスでアクセス解析を行う]をオフにし、**OK** をクリックします。
各ページから Google アナリティクスのトラッキングコードが削除されます。
3. サイトを上書き保存し、サイトを公開します。

WordPress サイトに Google アナリティクスの設定をする

WordPressサイト

WordPress サイトの場合は、サイトの転送・データの反映後に、WordPress の管理画面で Google アナリティクスの設定を行います。

WordPress サイトでの設定方法は、WordPress の管理画面 (hpb ダッシュボード) のページ下部にある [hpb ダッシュボードで投稿・集客 PDF マニュアル] をクリックし、表示される PDF マニュアルの「Google アナリティクスの設定をする」をご覧ください。

アクセスカウンターを設置する

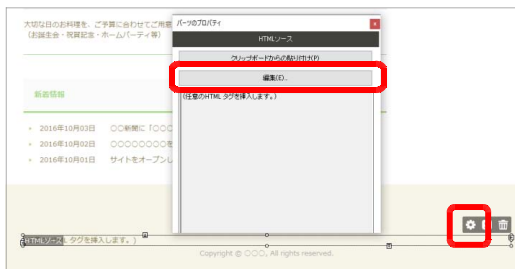
ご契約のプロバイダーが「アクセスカウンター」と呼ばれるホームページのアクセス回数を数える CGI プログラムを提供している場合は、ページに「アクセスカウンター」を設置することができます。

1 HTML ソースパーツを配置する

1. [パーツ一覧]ビューで「HTML ソース (YouTube、アフィリエイト)」パーツを選択し、「html ソース」のパーツをページ上にドラッグ & ドロップします。



2.  をクリックし、**編集** をクリックします。



3. 、[HTML ソースの入力]の入力欄に、プロバイダーから提供される設置方法の案内を参照して、HTML タグを入力します。

例えば、プロバイダーから「HTML ソースにと記述してください。」と案内された場合は、

「」と入力します。

※ " " で囲まれた部分はプロバイダーやユーザーによって異なります。

※このような案内がない場合や不明な点がある場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

4. **OK** をクリックします。

[パーツのプロパティ]ビューに、記述した HTML ソースが表示されます。

また、アクセスカウンターがページに設置されます。

※アクセス カウンターはホームページビルダーで表示することができ

ないため、 が表示されます。

アクセスカウンターの動作はプレビュー画面では確認できません。

サイトを転送し、アクセスカウンターを設置したページをブラウザで表示して、動作を確認します。

ネットショップの cart を設置する

ネットショップで販売している商品を「カートに追加する」ボタン*1 を、ページに設置します。

※アイテムギャラリー内に「カートに追加する」ボタン*1 を設置することはできません。

ボタンのページへの設置方法は、ご利用のネットショップ運営サービスによって異なります。

[例 1] ネットショップ運営サービスから提供されるボタンの HTML ソース*2 を、ページに追加する

[例 2] ネットショップ運営サービスから提供される設置方法の案内を参照して、ボタンの HTML ソース*2 を記述し、ページに追加する

*1 「カートに追加する」ボタンの名称は、ご利用のネットショップ運営サービスによって異なります。

*2 「HTML ソース」と表記している文字列の名称は、ご利用のネットショップ運営サービスによって異なります。

！注意 ネットショップ・カート連携機能を利用するには、ネットショップ運営サービスとの契約が必要です
サービス内容や契約などについて詳しくは、各ネットショップ運営サービスの Web ページをご覧ください。

1 商品の「カートに追加する」ボタン*1 の HTML ソース*2 をコピーする

※ご利用のネットショップ運営サービスが[例 1]のタイプの場合に、操作 1 を行います。[例 2]のタイプの場合は、行う必要はありません。

1. ご利用のネットショップ運営サービスの商品管理ページにアクセスします。
2. 「カートに追加する」ボタン*1 を設置したい商品の HTML ソース*2 を表示します。
3. 表示されている HTML ソース*2 をクリップボードにコピーします。

ネットショップ運営サービスでの操作については、各ネットショップ運営サービスの Web ページをご覧ください。

2 ネットショップ・カート連携パーツを設置する

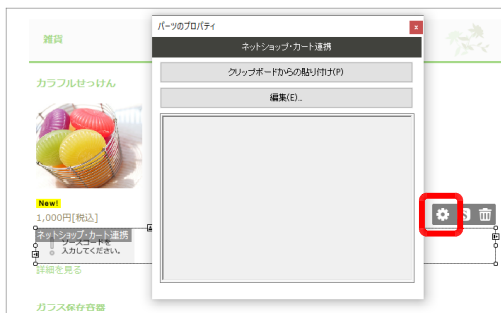
1. [パーツ一覧]ビューで「ネットショップ・カート連携」パーツを選択し、パーツをページ上にドラッグ & ドロップします。



つづく →

2. をクリックします。

ネットショップ・カート連携パーツの[パーツのプロパティ]ビューが表示されます。



3. クリップボードからの貼り付け または 編集 をクリックします。

- **クリップボードからの貼り付け**
ご利用のネットショップ運営サービスが[例 1]のタイプの場合に、クリックします。
[パーツのプロパティ]ビューに、操作 **1**-3. でコピーした HTML ソースが表示されます。
- **編集**
ご利用のネットショップ運営サービスが[例 2]のタイプの場合に、クリックします。
[HTML ソースの編集]ダイアログボックスが表示されるので、[HTML ソースの入力]の入力欄に HTML ソースを記述し、**OK** をクリックします。
[パーツのプロパティ]ビューに、記述した HTML ソースが表示されます。
[カートに追加する]ボタンがページに設置されます。

3 プレビュー画面でパーツの表示と動作を確認する


設置したパーツが正しく表示されるか、正しく動作するかを、プレビュー画面で確認します。

1. ナビバーの[プレビュー]をクリックします。
2. パーツの表示を確認し、パーツをクリックして動作を確認します。
3. ナビバーの[プレビュー]をクリックし、ページ編集画面に戻します。

◆付録 1 : パーツの設定

パーツのプロパティ・デザイン選択・スタイルの設定内容を説明します。

パーツのプロパティ

操作ボタンの  をクリックして表示される[パーツのプロパティ]ビューの設定項目を説明します。

●[パーツ一覧]ビューから挿入できるパーツ

- サイト情報 ▶ P.109
- サイトナビゲーション ▶ P.109
- ページタイトル ▶ P.109
- テキストボックス ▶ P.110
- コラム ▶ P.110
- リスト/定義リスト ▶ P.110
- 表 ▶ P.110
- ボタン ▶ P.110
- 画像 ▶ P.111
- フォトモーション ▶ P.112
- アイテムギャラリー ▶ P.113

- マルチメディア(動画・音楽) ▶ P.116
- 投稿一覧 ▶ P.116
- 地図 ▶ P.118
- お問い合わせフォーム ▶ P.120
- ネットショップ・カート連携 ▶ P.122
- Twitter タイムライン ▶ P.124
- SNS ボタン(通常サイト) ▶ P.124
- HTML ソース(YouTube、アフィリエイト) ▶ P.126
- ウィジェットエリア(WordPress サイト) ▶ P.126
- ログインボタン(WordPress サイト) ▶ P.126

●その他のパーツ


- パンくずリスト ▶ P.126
- ヘッダー・ヘッダー内容 / フッター・フッター内容 ▶ P.126
- メイン / サイドバー / コンテンツヘッダー / コンテンツ ▶ P.126
- ページ内容 ▶ P.126

サイト情報

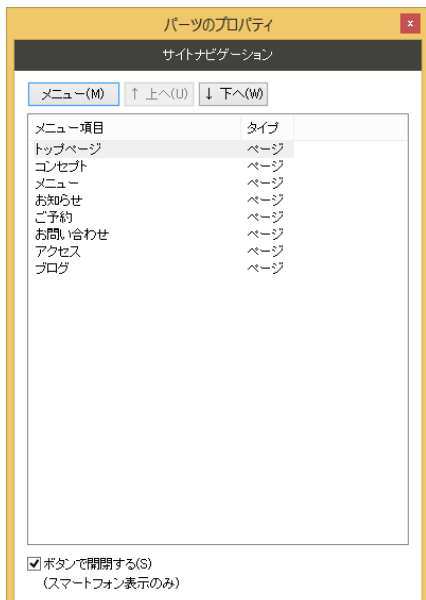


サイトタイトルを表示

サイトタイトルの文字列を表示するかしないかを設定します。

文字列を表示し、ロゴ画像が不要な場合は、操作ボタンの  をクリックしてロゴ画像を削除します。

サイトナビゲーション



メニュー

クリックすると、次のメニューが表示されます。

※メニュー項目の一覧上で右クリックしても同じメニューを選択できます。

項目の追加

一覧にメニュー項目を追加します。
サイト内のページ/ブックマークにリンクする項目、投稿記事ページにリンクする項目、インターネットの URL にリンクする項目を追加できます。

項目の変更

一覧で選択している項目のメニュー名を変更します。

項目の複製

一覧で選択している項目のコピーを、一覧に追加します。

項目の削除

一覧で選択しているメニュー項目を削除します。

階層を上げる/階層を下げる

メニュー項目を階層化します。

一覧でメニュー項目を選択し、[階層を下げる]を選択すると、下の階層に配置されます。下の階層に配置されたメニュー項目を選択し、[階層を上げる]を選択すると、上の階層に戻ります。

上へ/下へ

一覧で選択しているメニュー項目を1つ上/1つ下に移動します。一覧の順番にメニュー項目が並びます。

メニュー項目の一覧

メニュー項目の一覧が表示されます。項目の順番の変更や、項目の変更/複製/削除/階層化をしたい項目を選択します。
[タイプ]には、項目のタイプ(ページ/リンク)が表示されます。

ボタンで閉閉する(スマートフォン表示のみ)

スマートフォンで表示したときに、メニュー項目をボタンで閉閉できるようにする場合はオンにします。



ページタイトル



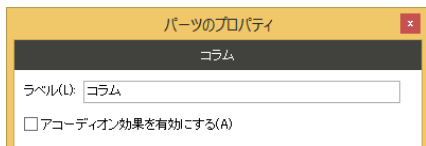
タイトル文字列

ページタイトルの文字列を、[ページ一覧]ビューに表示されるページタイトルと同じにするか、別の文字列にするかを設定します。

テキストボックス

設定項目はありません。

コラム



ラベル

見出しの文字列を設定します。

アコーディオン効果を有効にする

見出しをクリックしたときに、コラム内容の表示／非表示を切り替えできるようにする場合は、オンにします。



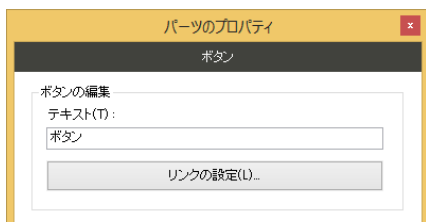
リスト/定義リスト

設定項目はありません。

表

設定項目はありません。

ボタン



テキスト

ボタンの文字列を設定します。

リンクの設定 ▶ P.111

ボタンをクリックしたときのリンク先を設定します。[リンクの設定]ダイアログボックスが表示されます。

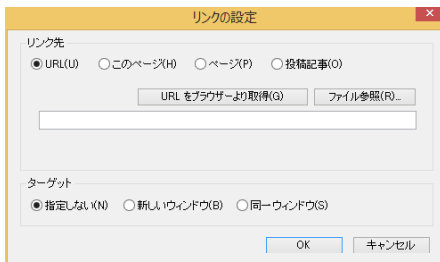
画像



ファイル名:

画像のファイル名が表示されます。

[リンクの設定] ダイアログボックス



ファイルの選択

画像ファイルを選択し、画像を差し替えます。

画像の編集

画像編集ソフトを起動し、画像を編集します。編集する画像ソフトは、ホームページビルダーに付属のウェブアート デザイナー、通常お使いの画像エディター、またはイメージ デザイナー*1 から選択できます。

*1 「イメージ デザイナー」は、ホームページビルダー 21 に付属していた画像編集ソフトです。ホームページビルダー 21 SP で作成したページの画像を編集する際に、イメージ デザイナーがインストールされている場合にだけ、選択できます。

※画像ファイルはまだ選択していない画像パーツの場合は、画像編集

代替テキスト

画像が表示されないときに表示させる説明文を入力します。

リンクの設定 ▶ P.111

画像をクリックしたときのリンク先を設定します。[リンクの設定]ダイアログボックスが表示されます。

画像の元のサイズにする

画像ファイルのもともとの幅／高さを取得し、画像のサイズに反映します。

リンク先

リンク先を指定します。

URL

URL を指定します。

URL をブラウザより取得 を利用すると、現在ブラウザで表示しているページの URL を指定できます。

このページ

ページ内のブックマークを指定します。

ページ

サイト内のページを指定します。ページ内のブックマークを指定することもできます。

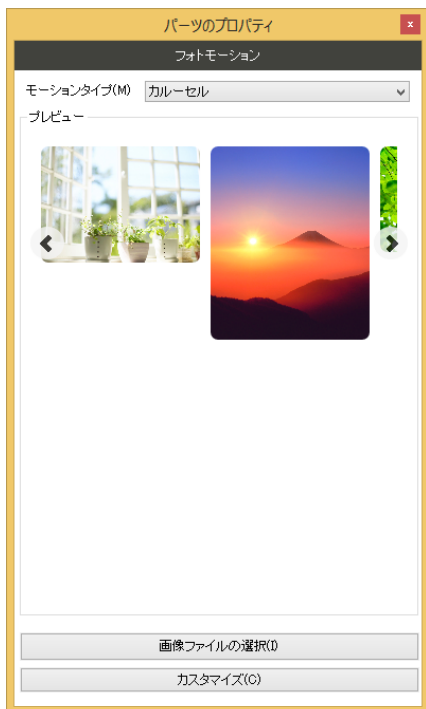
投稿記事

投稿記事ページや投稿記事アーカイブページを指定します。ページ内のブックマークを指定することもできます。

ターゲット

リンク先のページを新しいウィンドウに表示したり、同じウィンドウに表示したりできます。

フォトモーション



モーションタイプ

フォトモーションのタイプを切り替えます。

プレビュー

フォトモーションが表示されます。画像やページャーなどを実際に操作して、動きを確認できます。

【画像ファイルの選択】ダイアログボックス



画像の一覧

フォトモーションにする画像の一覧が表示されます。画像をドラッグして順番を変更できます。

画像ファイルの選択 ▶ P.112

フォトモーションにする画像を選択します。[画像ファイルの選択]ダイアログボックスが表示されます。

カスタマイズ

フォトモーションのスタイルを変更します。[カスタマイズ(〇〇)]ダイアログボックスが表示され、次の設定を行います。

スライドショーの場合

スタイルをノーマル／ページャー／サムネイルページャーから選択します。[詳細]をクリックすると、画像を切り替えるときの効果や速さなどの詳細を設定できます。

ギャラリーの場合

スタイルをブラック／ホワイト／パターンから選択します。[詳細]をクリックすると、画像の表示方法やサイズなどの詳細を設定できます。

カラーセルの場合


スタイルをスライド／ティッカーから選択します。[詳細]をクリックすると、表示する画像の数や切り替える速さなどの詳細を設定できます。

※ [詳細]のスライド設定は、スライドを選択したときだけ設定できます。
サムネイルページャーのサイズは、スライドでサムネイルのページャーを選択したときだけ設定できます。


ズームの場合

スタイルをウィンドウ／インナーズーム／レンズから選択します。[詳細]をクリックすると、ズームウィンドウの拡大率や画像のサイズなどの詳細を設定できます。

※ [詳細]のイーザンアニメーション効果／ズームウィンドウのサイズは、ウィンドウを選択したときだけ設定できます。

画像にポインターを合わせると表示される  をクリックして画像にキャプションやリンクを設定できます。

▶ P.113 [キャプションとリンクの設定]ダイアログボックス

 をクリックすると画像を削除できます。

参照

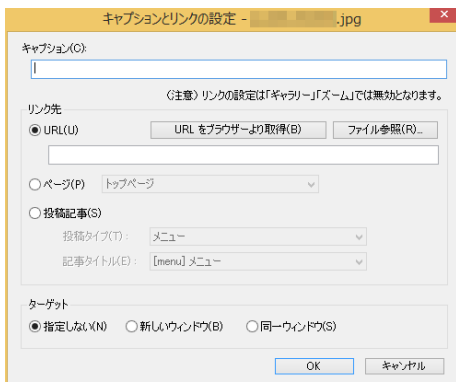
フォトモーションにする画像ファイルを選択し、画像の一覧に追加します。

※ エクスプローラーなどから、このダイアログボックスに画像ファイルをドラッグ&ドロップしても、画像の一覧に追加することができます。

画像編集

画像の一覧で選択している画像を、画像編集ソフトを起動して編集します。▶ P.112 [画像の編集](#)

●【キャプションとリンクの設定】ダイアログボックス



キャプション

画像と一しょに表示する説明文を設定します。

リンク先

リンク先の URL またはサイト内のページを指定します。

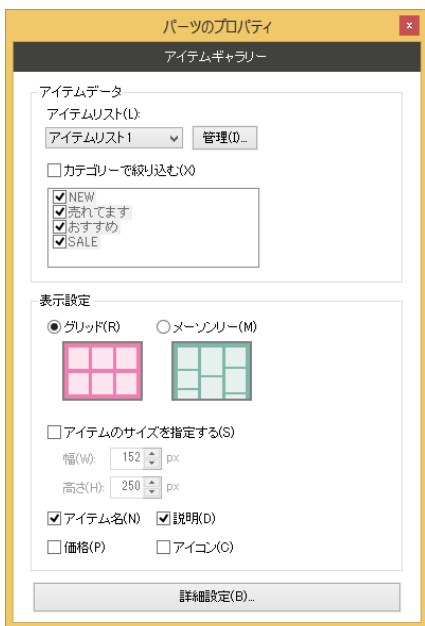
URL をブラウザより取得 を利用すると、現在ブラウザで表示しているページの URL を指定できます。

※ギャラリー／ズームでは設定は無効です。

ターゲット

リンク先のページを新しいウィンドウに表示したり、同じウィンドウに表示したりできます。

アイテムギャラリー



アイテムデータ

アイテムリスト

アイテムギャラリーに表示するアイテムリストを選択します。

管理 ▶ P.114

クリックすると、[アイテムデータの管理]ダイアログボックスで、アイテムの編集・追加、アイテムリストの編集・追加などを行います。

カテゴリで絞り込む／カテゴリの一覧

選択したアイテムリストに含まれるアイテムのうち、特定のカテゴリが設定されたアイテムだけをアイテムギャラリーに表示することができます。

[カテゴリで絞り込む]をオンにし、カテゴリの一覧で表示したいカテゴリをオンにします。

グリッド／メゾンリー

アイテムを同じ高さで表示するときは[グリッド]を、アイテムのももとの高さで表示するときは[メゾンリー]を選択します。

アイテムのサイズを指定する

表示するアイテムのサイズを指定するときはオンにします。グリッドの場合は、幅と高さを、メゾンリーの場合は、幅を設定します。

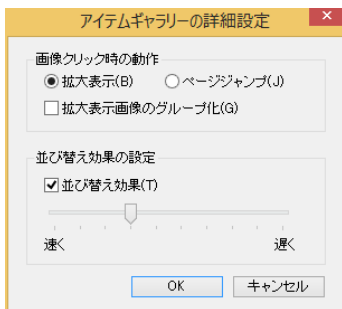
アイテム名／説明／価格／アイコン

アイテムの画像と一しょに表示させたいものをオンにします。

詳細 ▶ P.114

アイテムの画像をクリックしたときの動き、並び替え効果の速さなどを設定します。[アイテムギャラリーの詳細]ダイアログボックスが表示されます。

[アイテムギャラリーの詳細] ダイアログボックス



画像クリック時の動作

拡大表示／ページジャンプ

アイテムの画像をクリックしたとき、専用のウィンドウで拡大表示するか、指定したページにジャンプするかを選択します。

※ジャンプ先のページは、アイテムリストで指定します。

拡大表示画像のグルーピング

オンにすると、拡大表示のウィンドウに、前／次のアイテムを表示するためのボタンが表示され、アイテムを次々に確認できます。

並び替え効果／スライダー

アイテムギャラリーがブラウザの幅に応じて並び替わるとき、効果を付けるか付けないか、付ける場合の速さを設定します。

[アイテムデータの管理] ダイアログボックス

※メニューバーから[サイト-データ管理-アイテムデータ]を選択しても表示できます。



削除

[アイテムリスト名]で選択しているアイテムリストを削除します。登録しているアイテムデータもすべて削除されます。

エクスポート

アイテムリストをエクスポートします。

インポート

アイテムリストのエクスポートファイルをインポートします。

アイテムデータ

[アイテムリスト名]で選択しているアイテムリストに登録しているアイテムが表示されます。

※[アイコン]は、あらかじめ用意されているカテゴリと、それらのカテゴリを親に持つ子のカテゴリにだけ表示されます。

アイテムデータ

クリックすると、次のメニューが表示されます。

※アイテムデータの一覧上で右クリックしてもメニューを選択できます。

追加

アイテムを追加します。[アイテムデータの追加]ダイアログボックスが表示されます。▶ P.115

変更

[アイテムデータ]で選択しているアイテムの設定を変更します。[アイテムデータの変更]ダイアログボックスが表示されます。▶ P.115

つづく➔

アイテムリスト名

アイテムを追加・変更・複製・削除するアイテムリストを選択します。

アイテムリスト

クリックすると、次のメニューが表示されます。

追加

アイテムリストを追加します。

変更

[アイテムリスト名]で選択しているアイテムリストの名前を変更します。

複製

[アイテムリスト名]で選択しているアイテムリストを複製します。

複製

[アイテムデータ]で選択しているアイテムを複製します。

削除

[アイテムデータ]で選択しているアイテムを削除します。

上へ / 下へ

[アイテムデータ]で選択しているアイテムを1つ上 / 1つ下に移動します。一覧の順番にアイテムデータが並べられます。

カテゴリ

特定のカテゴリが設定されているアイテムだけを[アイテムデータ]に表示したい場合、カテゴリを変更・追加したい場合に、そのカテゴリを選択します。

カテゴリ

クリックすると、次のメニューが表示されます。

※あらかじめ用意されているカテゴリは変更・削除できません。

追加

カテゴリを追加します。

変更

[カテゴリ]で選択しているカテゴリの設定を変更します。

削除

[カテゴリ]で選択しているカテゴリを削除します。

● [アイテムデータの追加]ダイアログボックス / [アイテムデータの変更]ダイアログボックス



* 画面は、[アイテムデータの変更]ダイアログボックスです。

画像 / 参照

アイテムの画像を、**参照** をクリックして選択します。

小さい画像 / 参照

アイテムギャラリーのサムネイルに、サイズの小さな画像を使用する場合は、オンにし、**参照** をクリックして画像を選択します。

※ [小さい画像]を指定しなかった場合は、[画像]で指定した画像を縮小したものが使用されます。

アイテム名 / アイテム説明

アイテムの名前、説明を設定します。

リンク先

アイテムの画像をクリックしたときに表示するリンク先のURLを指定します。

リンク先 URL をブラウザより取得 をクリックすると、現在ブラウザで表示しているページのURLを指定できます。

※初期設定では、アイテムの画像をクリックしたとき、画像が拡大表示されます。ここで指定したリンク先にジャンプするようにしたい場合は、[パーツのプロパティ]ビューで **詳細設定** をクリックし、[画像クリック時の動作]で[ページジャンプ]を選択します。

値段 / 値段補足[前] / 値段補足[後]

アイテムの値段と、値段の前後に表示する文字列を設定します。

カテゴリ

アイテムにカテゴリを設定する場合は、設定したいカテゴリをオンにします。

設定できるカテゴリは、[アイテムデータの管理]ダイアログボックスの[カテゴリ]と連動しています。

マルチメディア（動画・音楽）



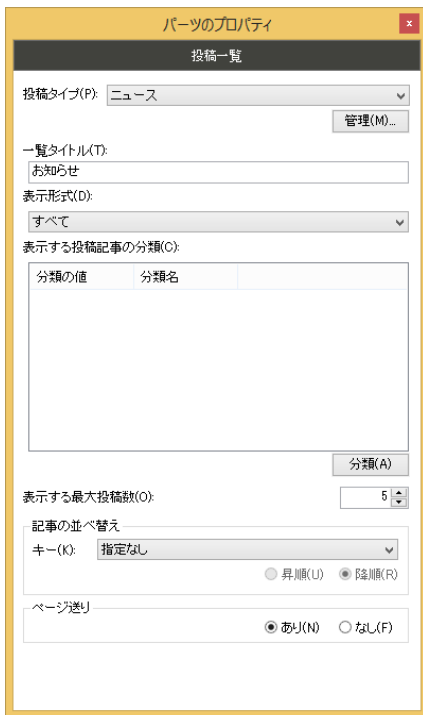
プレビュー

動画や音楽を再生します。

ファイル名: / ファイルの選択

ファイルの選択 をクリックして、動画ファイルや音楽ファイルを選択します。

投稿一覧



投稿一覧に関する操作の説明(通常サイトの場合) ▶ P.50

投稿一覧に関する操作の説明(WordPress サイトの場合) ▶ P.55

投稿タイプ

投稿一覧に表示する投稿タイプを選択します。

管理 ▶ P.117

投稿タイプの追加・変更、分類の設定を行います。[投稿タイプの管理]ダイアログボックスが表示されます。

一覧タイトル

投稿一覧に表示するタイトルを設定します。

表示形式

投稿記事に表示する情報の組み合わせを選択します。

表示する投稿記事の分類 / 分類

特定の分類を設定した記事だけを表示したい場合に、分類 をクリックして、その分類を設定します。

表示する最大投稿数

投稿一覧に表示する記事の数を設定します。

記事の並び替え

記事を並び替えられるようにするかしないか、並び替える場合の基準を設定します。

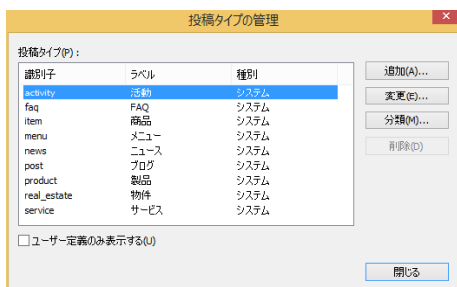
ページ送り

記事が[表示する最大投稿数]より多くなった場合に、次のページに移動するリンクを表示するかしないかを設定します。

※通常サイトの場合は、淡色表示されて設定できません。

【投稿タイプの管理】ダイアログボックス

※メニューバーから[サイト-データ管理-投稿タイプ]を選択しても表示できます。



投稿タイプ

投稿タイプが一覧表示されます。変更や削除、分類の設定をしたい投稿タイプを選択します。

追加

投稿タイプを追加します。クリックして表示されるダイアログボックスで、投稿タイプの識別子とラベルを設定します。

変更

一覧で選択している投稿タイプのラベルを変更します。

※識別子は変更できません。

分類

一覧で選択している投稿タイプの分類を設定します。
【○○の分類】ダイアログボックスが表示されます。

削除

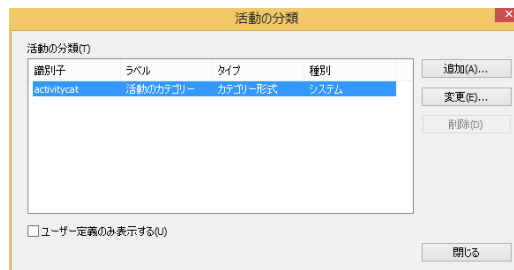
一覧で選択している投稿タイプを削除します。

※あらかじめ用意されている投稿タイプは削除できません。

ユーザー定義のみ表示する

あとから加えた投稿タイプだけを一覧に表示します。

●【○○の分類】ダイアログボックス



*○○には、投稿タイプのラベルが表示されます。

追加

分類を追加します。クリックして表示されるダイアログボックスで、分類の識別子・ラベル・タイプを設定します。タイプで[カテゴリ形式]を選択した場合は、カテゴリを追加します。

変更

一覧で選択している分類のラベルやタイプを変更します。タイプを[カテゴリ形式]に変更した場合は、カテゴリを追加します。

※識別子は変更できません。

削除

一覧で選択している分類を削除します。

※あらかじめ用意されている分類は削除できません。

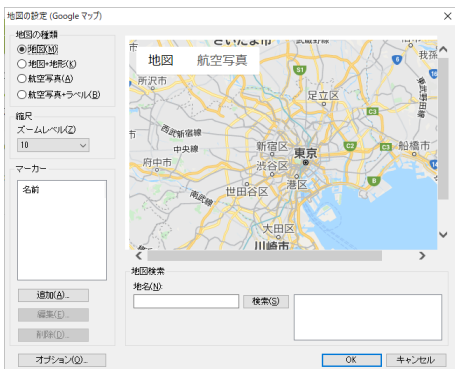
ユーザー定義のみ表示する

追加した分類だけを一覧に表示します。

地図



【地図の設定】ダイアログボックス



*画面は Google マップのものです。

地図の種類

地図の種類を選択します。

縮尺

地図を拡大・縮小します。

プレビュー

地図が表示されます。

地図の設定 ▶ P.118

地図を設定します。[地図の設定]ダイアログボックスが表示されます。

※ Yahoo!地図の場合に、[Yahoo!地図 アプリケーション ID 設定]ダイアログボックスが表示された場合は、入力欄にアプリケーション ID を設定して **OK** をクリックしてください。[地図の設定]ダイアログボックスが表示されます。アプリケーション ID をお持ちでない方は、**登録ページをブラウザで開く** をクリックして、アプリケーション ID を取得してください。

マーカー

マーカーの一覧

地図に設定しているマーカーが表示されます。

追加 ▶ P.119

マーカーを追加します。[マーカーの設定]ダイアログボックスが表示されます。

編集 ▶ P.119

一覧で選択しているマーカーを編集します。[マーカーの設定]ダイアログボックスが表示されます。

削除

一覧で選択しているマーカーを削除します。

プレビュー

地図が表示されます。位置の移動、地図の種類の変更、縮尺の変更をすることもできます。

地図検索

地名 / 検索

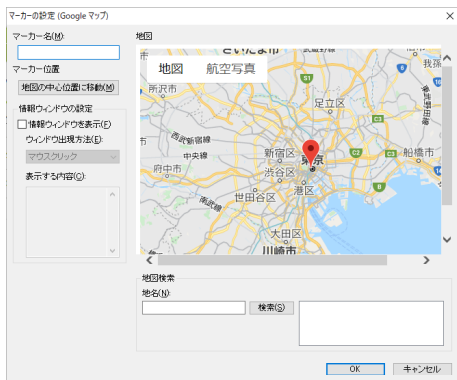
[地名]に地名を入力して **検索** をクリックすると、その場所が地図の中心に表示されます。

検索 の右には、検索された地名が表示されます。地名が複数表示されている場合、選択した地名の場所が地図の中心に表示されます。

オプション ▶ P.119

地図に表示するコントロールなどを設定します。[オプション]ダイアログボックスが表示されます。

● [マーカーの設定]ダイアログボックス



*画面は Google マップのものです。

マーカー名

マーカー名を設定します。

マーカー名を表示 (Yahoo!地図の場合)

マーカー名を表示するかしないを設定します。

マーカー位置 / 地図の中心位置に移動

地図の中心位置に移動をクリックすると、地図の中心にマーカーを移動します。

情報ウィンドウの設定 (Google マップの場合) / 吹き出しの設定 (Yahoo!地図の場合)

情報ウィンドウ / 吹き出しを表示するかしないか、表示するタイミング、表示する内容を設定します。

マーカー画像の設定 (Yahoo!地図の場合)

マーカーアイコンの画像を変更します。

プレビュー

地図が表示されます。位置の移動、地図の種類の変更、縮尺の変更をすることもできます。

地図検索 ▶ P.119

● [オプション]ダイアログボックス



*画面は Google マップのものです。

表示するコントロールの指定

地図に表示するコントロールを指定します。

マウスでのドラッグを禁止 (Google マップの場合)

地図をドラッグして位置を移動できるようにするかしないかを指定します。

Google Maps API キー (Google マップの場合)

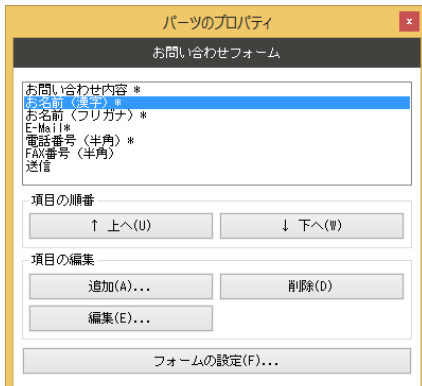
Google マップが利用できない場合に、Google Maps API キーを入力します。

※ Google Maps API キーについては、[キーの取得について](#)をクリックして表示される Web ページの説明をご覧ください。

アプリケーション ID (Yahoo!地図の場合)

アプリケーション ID が表示されます。

お問い合わせフォーム



項目の一覧

フォームの項目の一覧が表示されます。項目の順番の変更や、項目の設定変更／削除をしたい項目を選択します。

項目の順番

↑上へ / ↓下へ

一覧で選択している項目を1つ上／1つ下に移動します。一覧の順番にフォームの項目が並びます。

項目の編集

追加 ▶ P.120

一覧に項目を追加します。[項目の追加]ダイアログボックスが表示されます。

削除

一覧で選択している項目を削除します。

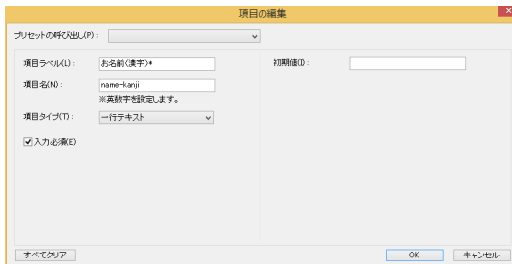
編集 ▶ P.120

一覧で選択している項目を編集します。[項目の編集]ダイアログボックスが表示されます。

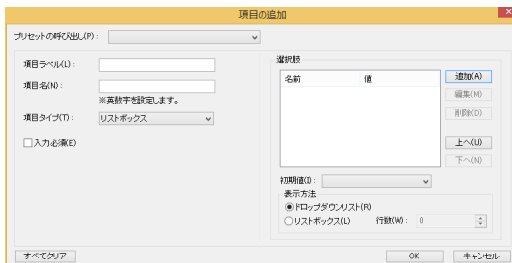
フォームの設定 ▶ P.121

フォームを処理するサーバー上の CGI プログラムなどを指定します。[フォームの設定]ダイアログボックスが表示されます。

[項目の追加] ダイアログボックス / [項目の編集] ダイアログボックス



* 上記画面は、「お名前(漢字)」の[項目の編集]ダイアログボックスです。



* 上記画面は、[項目タイプ]で[リストボックス]を選択している[項目の追加]ダイアログボックスです。

プリセットの呼び出し

あらかじめ登録されている項目から、追加／変更したい項目を選択します。

項目ラベル

フォームに表示する項目名を設定します。
[例]ご希望日

項目名

項目名の値を英数字で設定します。
[例] hope-date

項目タイプ

項目タイプを選択します。

入力必須

必ず設定してほしい項目にするときに、オンにします。
※ブラウザによっては、[入力必須]の設定が無視され、設定してなくても送信できてしまうものがあります。

初期値

フォームの入力欄に最初から表示しておきたい文字列があるときに、その文字列を設定します。

※ [項目タイプ]で[ラジオボタン] / [リストボックス]を選択した場合は、[選択肢]グループ内に表示されます。

すべてクリア

ダイアログボックスの入力欄の文字列や選択肢をすべて削除します。

つづく →

選択肢

※ [項目タイプ] で [ラジオボタン] / [リストボックス] を選択した場合に表示される項目です。
ラジオボタンやリストボックスの選択肢を設定します。

選択肢の一覧

設定している選択肢の一覧が表示されます。

追加

選択肢を追加します。クリックして表示されるダイアログボックスで、選択肢と、その値とする英数字を設定します。

[例] 選択肢: 男、値: male

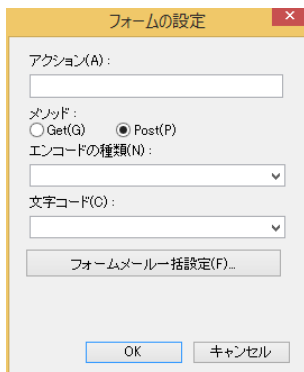
編集

一覧で選択している選択肢を編集します。

削除

一覧で選択している選択肢を削除します。

【フォームの設定】ダイアログボックス



※ お使いになる CGI プログラムに応じて設定を行ってください。

* 画面は通常サイトのものです。WordPress サイトの場合は、**フォームメール一括設定** の下に、設定されているフォームメールが表示されます。

アクション

CGI プログラムの URL やファイル名を設定します。

上へ / 下へ

一覧で選択している選択肢を 1 つ上 / 1 つ下に移動します。一覧の順番に選択肢が並びます。

初期値

最初に選択されている状態にしておきたい選択肢を一覧から選択します。一覧のいちばん上の [] を選択すると、何も選択していない状態になります。

表示方法

※ [項目タイプ] で [リストボックス] を選択した場合に表示される項目です。

選択肢をドロップダウンリスト形式で表示するか、リストボックス形式で表示するかを選択します。リストボックス形式の場合は、[行数] も設定します。

メソッド

ブラウザからサーバーにデータを渡す方法を指定します。

エンコードの種類

データをサーバーに送るときエンコード方法を指定します。

文字コード

フォームを実行したときに送信される文字セットを指定します。

フォームメール一括設定

ホームページ・ビルダー サービスのレンタルサーバープランで提供しているフォームメール(簡易 CGI)を利用する場合の設定をします。

操作の説明 ▶ P.42

※ WordPress サイトで、ホームページ・ビルダー サービス フォームメールを利用する場合や、自分で作成したフォームで WordPress フォームメールを利用する場合の設定もここでを行います。操作方法は、WordPress の管理画面から「hpb ダッシュボードで投稿・集客 PDF マニュアル」をご覧ください。

ネットショップ・カート連携



クリップボードからの貼り付け

クリップボードの内容を、HTML ソース表示の欄に貼り付けます。

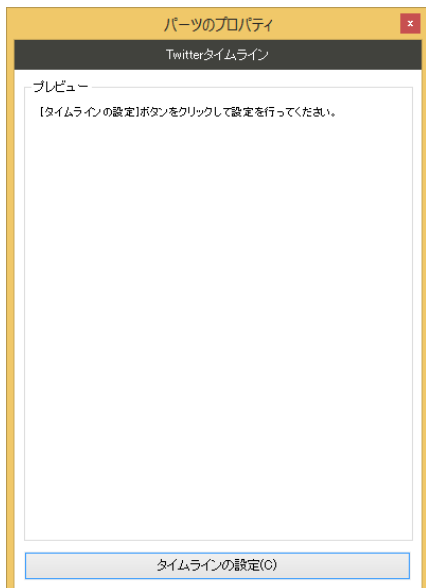
編集

ネットショップ・カートの HTML タグを新しく記述したり、HTML ソース表示の欄に表示されている HTML タグを編集したりします。[HTML ソースの編集]ダイアログボックスが表示されます。

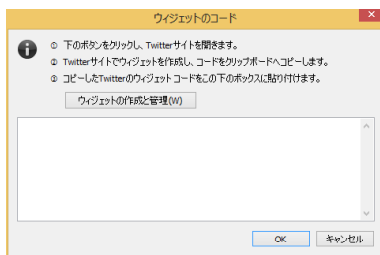
HTML ソース表示

ネットショップ・カートの HTML タグが表示されます。

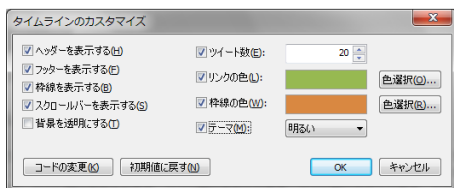
Twitter タイムライン



【ウィジェットのコード】ダイアログボックス



【タイムラインのカスタマイズ】ダイアログボックス



プレビュー

Twitter タイムラインが表示されます。

タイムラインの設定

ウィジェット コードが入力されていない場合は、クリックするとウィジェット コードを入力する画面が表示されます。

▶ P.124 [ウィジェットのコード]ダイアログボックス

ウィジェット コードが入力されている場合は、クリックすると、タイムラインをカスタマイズする画面が表示されます。

▶ P.124 [タイムラインのカスタマイズ]ダイアログボックス

ウィジェットの作成と管理

Twitter サイトの、ウィジェット作成と管理ページを表示します。ウィジェットを作成し、作成されたウィジェット コードをクリップボードにコピーしてください。

※ Twitter へのログインが必要です。

テキスト入力欄

クリップボードにコピーしたウィジェット コードを、テキスト入力欄に貼り付けてください。

ヘッダーを表示する～背景を透明にする、リンクの色、枠線の色、テーマ

タイムラインの外観を設定します。

ツイート数

表示するツイートの数を設定します。

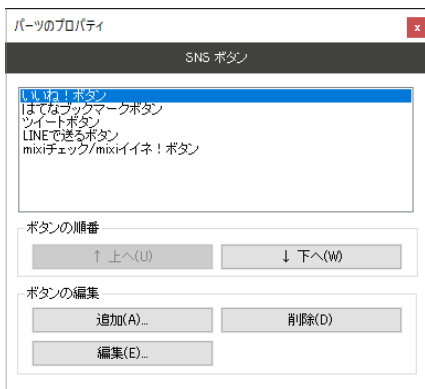
コードの変更

ウィジェット コードを変更します。[ウィジェットのコード]ダイアログボックスが表示されます。

初期値に戻す

タイムラインの設定を初期値に戻します。

※ WordPress サイトのページには配置できないパーツです。WordPress サイトの場合は、WordPress の管理画面で設定します。



ボタンの一覧

パーツに設定されている SNS ボタンの一覧が表示されます。ボタンの順番の変更や、ボタンの設定変更／削除をしたいボタンを選択します。

↑上へ / ↓下へ

クリックすると、一覧で選択しているボタンが1つ上／1つ下に移動します。

追加

一覧にボタンを追加します。クリックして表示されるメニューから選択します。

削除

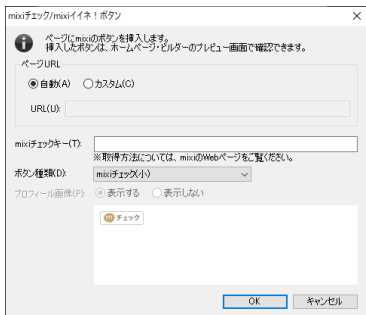
一覧で選択しているボタンを削除します。

編集 ▶ 下記

一覧で選択しているボタンの設定をします。[○○ボタン]ダイアログボックスが表示されます。

● mixi チェック/mixi イネ! ボタンの場合

※ mixi チェック/mixi イネ! ボタンを挿入するには、mixi へのユーザー登録、デベロッパー登録、および mixi チェックキーの取得が必要です。



ページ URL

初期設定では、現在編集しているページの URL が自動的に設定されます。変更したい場合は[カスタム]を選択し、ページの URL を設定します。

mixi チェックキー

サービス登録時に発行されるチェックキーを設定します。

ボタン種類

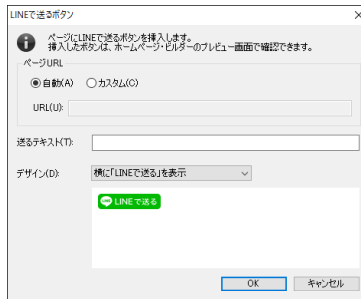
ボタンの種類を選択します。

プロフィール画像

イネ!ボタンにプロフィール画像を表示するかどうかを設定します。

※ [ボタン種類] で [mixi イネ!] を選択した場合に設定できます。

● それ以外のボタンの場合



* 画面は、LINE で送るボタンのものです。

ページ URL

初期設定では、現在編集しているページの URL が自動的に設定されます。変更したい場合は[カスタム]を選択し、URL を設定します。

ツイートテキスト(ツイートボタンの場合)

ツイートしてもらいたい内容を設定します。

送るテキスト(LINE で送るボタンの場合)

LINE に送る内容を設定します。

デザイン

ボタンのデザインを選択します。

HTML ソース (YouTube、アフィリエイト)

• YouTube



パンくずリスト

- ※ ページを構成する基本パーツです。トップページ以外のページに表示されます。パーツの一覧から新しく配置することはできません。
- ※ ナビバー下段の[サイト設定]をクリックして、表示するかしないかを設定できます。



ルート名

パンくずリストのルート文字列を設定します。

ヘッダー・ヘッダー内容／フッター・フッター内容

- ※ ページを構成する基本パーツです。パーツの一覧から新しく配置することはできません。
- ※ ヘッダー(ヘッダー内容)／フッター(フッター内容)は、ナビバー下段の[サイト設定]をクリックして、表示するかしないかを設定できます。

設定項目はありません。

メイン／コンテンツヘッダー／コンテンツ／サイドバー

- ※ ページを構成する基本パーツです。パーツの一覧から新しく配置することはできません。
- ※ コンテンツヘッダーは、ナビバー下段の[サイト設定]をクリックして、表示するかしないかを設定できます。
コンテンツヘッダーを表示しないようにすると、パンくずリストも表示されなくなります。


設定項目はありません。

ページ内容

- ※ ページを構成する基本パーツです。パーツの一覧から新しく配置することはできません。
- ※ メニューバーから[サイトページの設定]を選択して、表示するかしないかを設定できます。

設定項目はありません。

パーツのデザイン選択

操作ボタンの  をクリックして表示されるデザイン選択画面の設定項目を説明します。



* 画面は、サイトナビゲーションパーツを選択したときのデザイン選択画面です。パーツによって、選択できるデザインが変わります。

デザイン一覧

パーツのデザインを選択します。サムネイルをクリックすると、デザイン選択画面を閉じてデザインを反映します。

※現在選択しているデザインにはチェックマークが付きます。

< . . . >

< のクリックで前のデザイン一覧を、> のクリックで次のデザイン一覧を表示します。• のクリックで、任意のデザイン一覧を表示します。

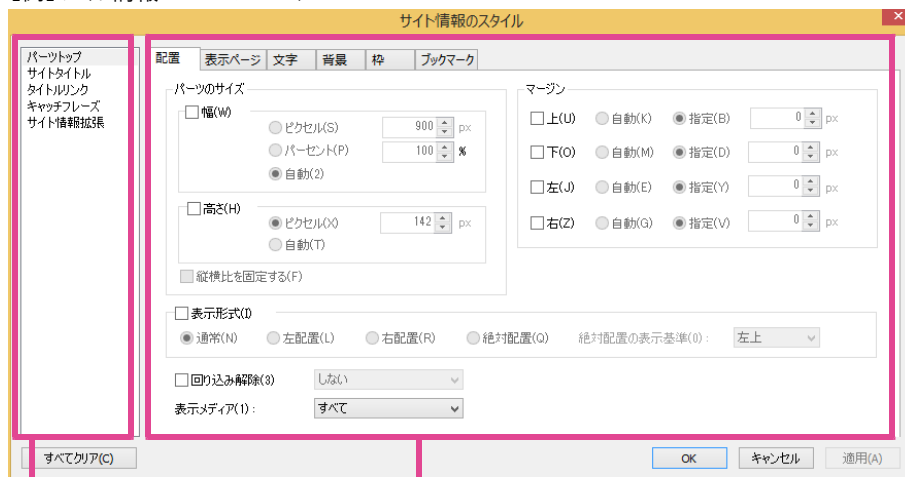
とじる×

デザイン選択画面を閉じます。

パーツのスタイル

操作ボタンの **S** をクリックして表示される[○○のスタイル]ダイアログボックスの設定項目を説明します。

[例] サイト情報パーツのスタイル



ダイアログボックスの左側には、ページ上で選択しているパーツの構成要素の一覧が表示されます。*選択しているパーツによって、表示される構成要素は異なります。

ダイアログボックスの右側には、左側で選択している構成要素に設定できるスタイルのタブが表示されます。*選択している構成要素によって、表示されるタブは異なります。

[配置]タブ ▶ P.129

※機能タイプや汎用タイプのパーツで、構成要素「パーツトップ」を選択しているときに表示されます。

[表示ページ]タブ ▶ P.129

※機能タイプや汎用タイプ¹のパーツで、構成要素「パーツトップ」を選択しているときに表示されます。

*1 汎用タイプの場合は、パーツをページ内容パーツの外に配置しているときにだけ表示されます。

[文字]タブ ▶ P.130

[背景]タブ ▶ P.130

[枠]タブ ▶ P.132

[ブックマーク]タブ ▶ P.133

[段落]タブ ▶ P.133

※文字を入力できるパーツで構成要素「[段落]○○」を選択しているとき、ページタイトルパーツの「見出し」/リストパーツの「リスト項目」/定義リストの「定義項目」「説明項目」/コラムパーツの「コラムヘッダー」/アイテムギャラリーパーツの「アイテム説明」の構成要素を選択しているときに表示されます。

[メニュー項目]タブ ▶ P.133

※サイトナビゲーションパーツで構成要素「メニュー項目(第〇階層)」を選択しているときに表示されます。

[リスト]タブ ▶ P.134

※リストパーツで構成要素「パーツトップ」を選択しているとき、投稿一覧パーツで構成要素「投稿リスト」*2を選択しているときに表示されます。

*2 投稿一覧の表示形式を「タイトル」にしている場合に表示される構成要素です。

[セル]タブ ▶ P.134

※表パーツやお問い合わせフォームパーツで、構成要素「○○セル」を選択しているときに表示されます。

すべてクリア をクリックすると、すべてのチェックボックスをオフの状態に変更します。

[配置] タブ



パーツのサイズ

サイズを変更する場合は、[幅]や[高さ]をオンにし、設定を行います。

[幅]の[パーセント]は、ウィンドウまたは親パーツのサイズを基準にした割合で指定します。

縦横比を固定する

幅と高さをピクセルで指定する場合に指定できます。オンにすると、一方の値を変更すると自動的にもう一方の値が変更されて、縦横比が保たれます。

マージン

マージン(パーツと周りとの間隔)を変更する場合は、変更したい場所をオンにし、設定を行います。

表示形式

表示形式を変更する場合は、[表示形式]をオンにし、形式を選択します。

左配置／右配置

パーツを左や右に配置します。パーツの横には、次のパーツが回り込んで配置されます。

※次のパーツに[回り込み解除]を指定すると、次のパーツの回り込みを防ぐことができます。

絶対配置／絶対配置の表示基準

パーツを、ウィンドウまたは親パーツの座標を基準とした位置に配置します。

回り込み解除

回り込み解除の指定を変更したい場合は、[回り込み解除]をオンにし、設定を行います。

しない

前のパーツの設定に従います。

左

左に配置された前のパーツの、右横に回り込まないようにします。

右

右に配置された前のパーツの、左横に回り込まないようにします。

両側

前のパーツの横に回り込まないようにします。

表示メディア

パソコンで表示したときだけパーツを表示したり、スマートフォンで表示したときだけパーツを表示したりできます。

[表示ページ] タブ

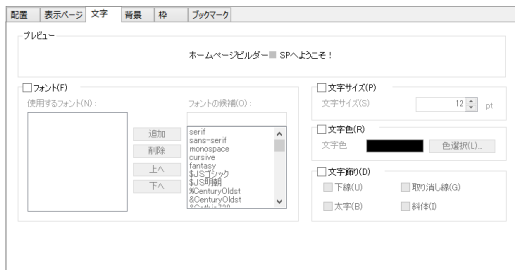


表示ページ指定

パーツを表示するページを指定します。

ページごとに指定したい場合は、[個別に指定する]を選択して、表示するページをオンにします。

【文字】 タブ



フォント

フォントを変更する場合は、[フォント]をオンにします。[フォントの候補]で目的のフォントを選択し、**追加**をクリックして[使用するフォント]に追加します。[使用するフォント]の一覧の、上から順に優先して使用されます。

文字サイズ

文字サイズを変更する場合は、[文字サイズ]をオンにし、文字サイズを設定します。

文字色

文字色を変更する場合は、[文字色]をオンにし、**色選択**をクリックして文字の色を指定します。

文字飾り

下線や取り消し線を付けたり、太字や斜体にしたりする場合は、[文字飾り]をオンにし、目的の項目をオンにします。

【背景】 タブ



背景色

背景色を変更する場合は、[背景色]をオンにし、設定を行います。色を指定するには、[指定する]を選択して**色選択**をクリックします。

背景画像

背景画像を変更する場合は、[背景画像]をオンにし、設定を行います。

なし

背景画像やグラデーションを指定しません。

指定する

背景に画像を使用します。**参照**をクリックして画像ファイルを指定します。

編集をクリックすると、画像を編集できます。

グラデーション

背景にグラデーションを使用します。**編集**をクリックして、グラデーションの方向と色の配置を指定します。

▶ P.131 [グラデーションの設定]ダイアログボックス

繰り返し表示

背景画像の繰り返し方法を変更する場合は、[繰り返し表示]をオンにし、方法を選択します。

サイズ

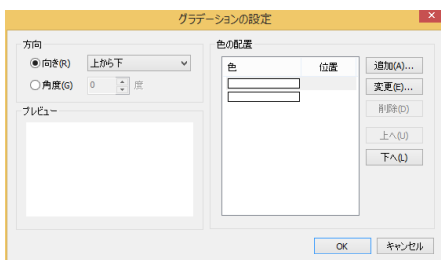
背景画像のサイズを変更する場合は、[サイズ]をオンにし、サイズを選択します。

[含む]を選択すると背景領域に収まるサイズに、[覆う]を選択すると背景領域を覆うサイズにできます。

表示位置

背景画像の表示位置を変更する場合は、[表示位置]をオンにし、位置を選択します。

【グラデーションの設定】ダイアログボックス



方向

グラデーションの方向を、向き(「上から下」など)または角度で指定します。

[上から下]が 180 度、[下から上]が 0 度、[左から右]が 90 度、[右から左]が 270 度に当たります。

色の配置

色の一覧

グラデーションの色が一覧表示されます。[位置]の列には、

追加 ▶ 右記

一覧に色を追加します。[色位置の追加]ダイアログボックスが表示されます。

※ 2 つ以上の色が必要です。

変更 ▶ 右記

一覧で選択している色を変更します。[色位置の追加]ダイアログボックスが表示されます。

削除

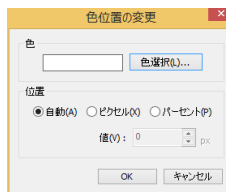
一覧で選択している色を削除します。

※ 色が 2 つの場合は、削除できません。色の削除の代わりに、色の変更を行ってください。

↑上へ / ↓下へ

クリックすると、一覧で選択している色が 1 つ上 / 1 つ下に移動します。

● [色位置の追加]ダイアログボックス / [色位置の変更]ダイアログボックス



色

色選択 をクリックして色を指定します。

位置

色の位置を指定します。

例えば、3 色を使ったグラデーションにする場合に、2 色目を 30%の位置から始め、3 色目を 70%の位置から始める、のように指定します。

[枠] タブ



ボーダー

ボーダー(パーツの枠線)の設定を変更する場合は、[ボーダー]をオンにし、ボーダーの指定方法を選択します。

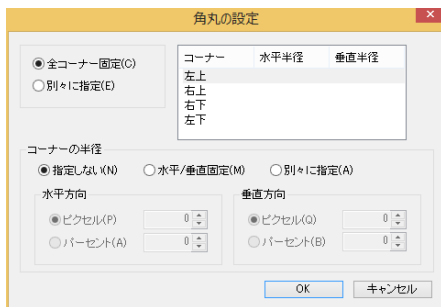
すべて固定

上下左右を同じ設定にします。
続けて、ボーダータイプ/線の太さ/線の色の設定を行います。

上下/左右を固定

上と下を同じ設定、左と右を同じ設定にします。
辺の一覧で、上/下のどちらか、左/右のどちらかを選択してから、ボーダータイプ/線の太さ/線の色の設定を行います。

[角丸の設定] ダイアログボックス



全コーナー固定/別々に指定

全コーナーを同じ設定にするか、各コーナーを別々の設定にするかを選択します。
[別々に指定]を選択した場合は、コーナーの一覧で設定を変更したいコーナーを選択してから、[コーナーの半径]の設定を行います。

別々に指定

上/下/左/右を別々の設定にします。
辺の一覧で設定を変更したい辺を選択してから、ボーダータイプ/線の太さ/線の色の設定を行います。

[線の太さ]で[数値を指定]を選択すると、太さを数値で設定できます。[線の色]は、色選択をクリックして指定します。

パディング

パディング(パーツとボーダーとの間隔)の設定を変更する場合は、[パディング]をオンにして、値を指定します。

角丸

角丸の設定を変更する場合は、[角丸]をオンにして、形状を選択します。
[カスタム]を選択して設定をクリックすると、形状をカスタマイズできます。

▶ P.132 [角丸の設定]ダイアログボックス

はみ出した内容をクリッピングする

内容が枠からはみ出す場合に、内容を切り取って表示するか、切り取らずにそのまま表示するかを設定します。

コーナーの半径

コーナーの水平方向/垂直方向の半径(ボーダーの外側まで)を設定します。

指定しない

半径を指定しません。

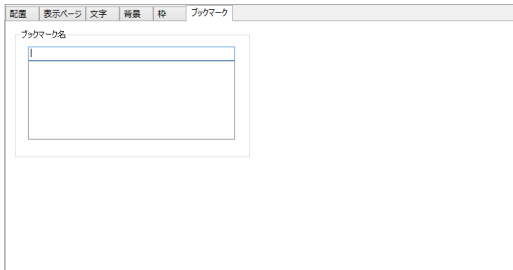
水平/垂直固定

水平方向と垂直方向を同じ半径にします。
[水平方向]で半径を設定します。[垂直方向]は淡色表示されます。

別々に指定

水平方向と垂直方向を別々の半径にします。[水平方向]と[垂直方向]で半径を設定します。

[ブックマーク] タブ



ブックマーク名

入力欄に、ブックマークの名前を入力します。
入力欄の下には、サイト内に設定済みのすべてのブックマークが一覧表示されます。

※設定したブックマークにカーソルをすばやく移動したり、ブックマークを削除したりするには、[サイト-ブックマークの一覧]を実行します。

[段落] タブ



マージン

マージン(段落と周りとの間隔)を変更する場合は、変更したい場所をオンにし、設定を行います。

行の高さ

行の高さを変更する場合は、[行の高さ]をオンにし、設定を行います。

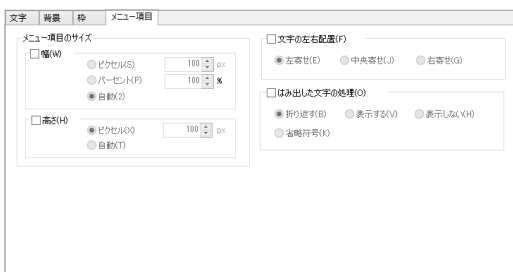
テキストインデント

段落の1行目の字下げ幅を変更する場合は、[テキストインデント]をオンにし、設定を行います。

文字の左右配置

段落の文字揃えを変更する場合は、[文字の左右配置]をオンにし、配置を選択します。

[メニュー項目] タブ



メニュー項目のサイズ

サイズを変更する場合は、[幅]や[高さ]をオンにし、設定を行います。

文字の左右配置

文字の位置を変更する場合は、[文字の左右配置]をオンにし、配置を選択します。

はみ出した文字の処理

はみ出した文字の処理を変更する場合は、[はみ出した文字の処理]をオンにし、処理方法を選択します。
はみ出した文字を折り返して表示する/そのまま表示する/表示しないという処理以外に、末尾に省略符号「...」を付けて表示しないという処理もできます。

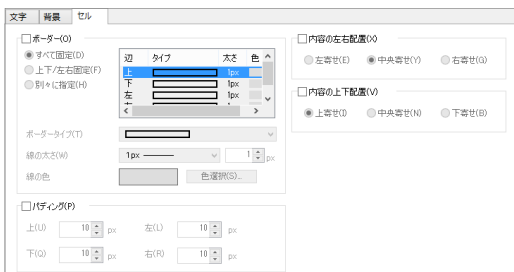
[リスト] タブ



リストマーク

リスト先頭のマークを変更する場合は、[リストマーク]をオンにし、マークを選択します。画像ファイルを使用するには、[画像]を選択して **参照** をクリックします。

[セル] タブ



ボーダー

ボーダー(セルの枠線)の設定を変更する場合は、[ボーダー]をオンにし、ボーダーの指定方法を選択します。

すべて固定

上下左右を同じ設定にします。

続けてボーダータイプ/線の太さ/線の色を設定します。

上下/左右を固定

上と下を同じ設定、左と右を同じ設定にします。

辺の一覧で、上/下のどちらか、左/右のどちらかを選択してから、ボーダータイプ/線の太さ/線の色を設定します。

別々に指定

上/下/左/右を別々の設定にします。

辺の一覧で設定を変更したい辺を選択してから、ボーダータイプ/線の太さ/線の色を設定します。

[線の太さ]で[数値を指定]を選択すると、太さを数値で設定できます。[線の色]は、**色選択** をクリックして指定します。

パディング

パディング(セル内容とボーダーとの間隔)の設定を変更する場合は、[パディング]をオンにして、値を指定します。

内容の左右配置

セル内容の左右方向の文字揃えを変更する場合は、[内容の左右配置]をオンにし、配置を選択します。

内容の上下配置

セル内容の上下方向の文字揃えを変更する場合は、[内容の上下配置]をオンにし、配置を選択します。

操作ボタン

文字列の操作ボタン

ページ内容／投稿内容／サイト情報拡張／テキストボックス／リスト／定義リスト／表などのパーツを選択したときは、文字・段落の書式設定などを行うための操作ボタンも表示されます。



※表示されるボタンの数が少ないとき(標準 ▼ ≡ ≡ ≡ なし ▼ B I U S あ ら A^h A⁺ A⁻ ...)などは、▼をクリックします。ボタンが表示されて、設定できるようになります。

リスト／定義リスト／表のパーツを選択したときは、先頭に次のような操作ボタンも表示されます。



1. 段落属性

段落の属性を変更します。見出し 1～3 の属性に変更したり、標準の属性に戻したりできます。
[その他]を選択すると、[段落属性]ダイアログボックスで見出し 4～6 や引用文の属性を選択できます。段落属性の追加やスタイルの変更も行えます。

▶ P.136 [段落属性]ダイアログボックス

2. 左寄せ／中寄せ／右寄せ

段落を左揃え／中央揃え／右揃えに変更します。

3. 文字属性

文字の属性を変更します。強調や重要、コメント、タイトルの属性に変更したり、属性を取り消したりできます。
[その他]を選択すると、[文字属性]ダイアログボックスで上付きや下付きなどの属性を選択できます。文字属性の追加やスタイルの変更も行えます。

▶ P.136 [文字属性]ダイアログボックス

4. 太字／斜体／下線／取り消し線

太字や斜体、下線や取り消し線などの文字飾りを変更します。

※日本語に斜体(イタリック)は設定されません。

5. 文字スタイル設定／解除

文字のフォント・サイズ・色、文字飾りなどをまとめて変更／解除します。

▶ P.137 [文字スタイル]ダイアログボックス

6. 文字色変更

文字の色を変更します。

▶ P.138 色を選択する画面

7. 文字サイズ拡大／縮小

文字サイズを拡大／縮小します。

8. 水平線挿入

水平線を挿入します。

9. 改行挿入

改行を挿入します。

10. リンク設定／解除

範囲指定している文字列にリンクを設定したり、カーソル位置のリンクの設定を解除したりします。

▶ P.112 [リンクの設定]ダイアログボックス

11. ブックマーク

カーソル位置にブックマークを設定します。

▶ P.138 [ブックマークの設定]ダイアログボックス

12. リスト項目を前へ移動／後へ移動

カーソル位置の項目を前へ／後ろへ移動します。

13. リスト項目を前へ移動／後へ移動

カーソル位置の定義項目・説明項目の組み合わせを、前へ／後ろへ移動します。

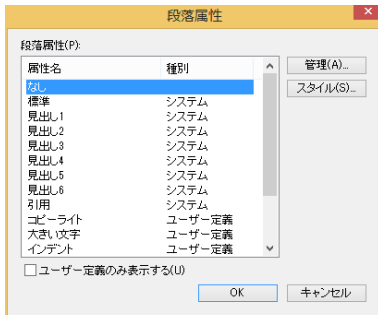
14. 行を上へ／下へ

カーソル位置の行を上へ／下へ移動します。

15. 列を左へ／右へ

カーソル位置の列を左へ／右へ移動します。

[段落属性] ダイアログボックス



段落属性

段落に設定したい、またはスタイルを変更したい段落属性を選択します。

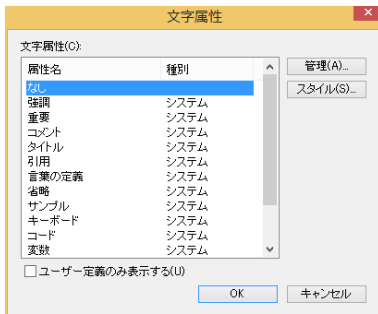
管理 ▶ P.137

新しい段落属性を追加できる[文字/段落属性の管理]ダイアログボックスが表示されます。段落属性の追加してこのダイアログボックスに戻ったら、スタイルの設定を行ってください。

スタイル ▶ 右記

段落属性のスタイルを変更します。[段落属性のスタイル]ダイアログボックスが表示されます。

[文字属性] ダイアログボックス



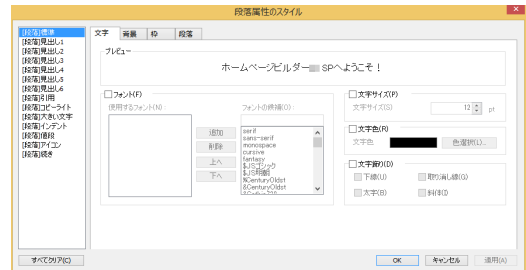
文字属性

文字に設定したい、またはスタイルを変更したい文字属性を選択します。

管理 ▶ P.137

新しい文字属性を追加できる[文字/段落属性の管理]ダイアログボックスが表示されます。文字属性の追加後、このダイアログボックスに戻ったらスタイルの設定を行ってください。

● [段落属性のスタイル] ダイアログボックス



段落属性の一覧

スタイルを変更したい段落属性を選択します。

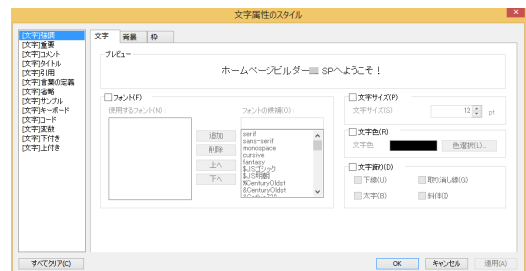
文字/背景/枠/段落タブ ▶ P.129 パーツのスタイル

一覧で選択している段落属性のスタイルの設定をします。

スタイル ▶ 下記

文字属性のスタイルを変更します。[文字属性のスタイル]ダイアログボックスが表示されます。

● [文字属性のスタイル] ダイアログボックス



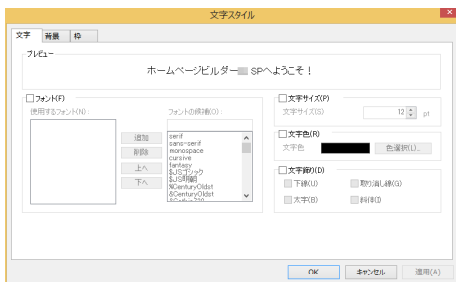
文字属性の一覧

スタイルを変更したい文字属性を選択します。

文字/背景/枠タブ ▶ P.129 パーツのスタイル

一覧で選択している文字属性のスタイルの設定をします。

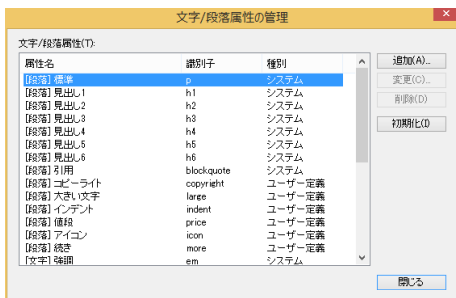
【文字スタイル】ダイアログボックス



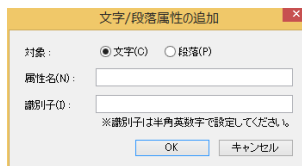
文字／背景／枠タブ ▶ P.129 パーツのスタイル
文字のスタイルを設定します。

【文字/段落属性の管理】ダイアログボックス

※メニューバーから[サイトデータ管理-文字/段落属性]を選択しても表示できます。
この場合は、文字属性／段落属性を追加後、追加した属性のスタイル設定を行ってください。▶下記



●【文字/段落属性の追加】ダイアログボックス／ 【文字/段落属性の変更】ダイアログボックス



対象

文字属性を追加するか、段落属性を追加するかを選択します。

※[文字/段落属性の変更]ダイアログボックスでの変更はできません。

属性名

属性名を設定します。
[例] 要約

識別子

識別子を設定します。
[例] summary

※[文字/段落属性の変更]ダイアログボックスでの変更はできません。

追加 ▶右記

新しい文字属性／段落属性を追加します。[文字/段落属性の追加]ダイアログボックスが表示されます。

変更 ▶右記

一覧で選択している文字属性／段落属性の属性名を変更します。[文字/段落属性の変更]ダイアログボックスが表示されます。

削除

一覧で選択している文字属性／段落属性を削除します。

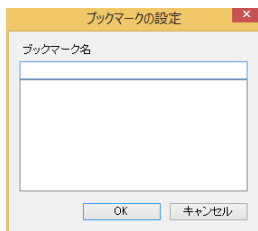
初期化

文字属性／段落属性の一覧をインストール直後の状態に戻します。あとから加えた文字属性／段落属性は削除されます。

文字属性／段落属性のスタイルを設定する

文字が入力できるパーツをクリックし、枠操作ボタンの「標準」▼ [段落属性] や 「なし」▼ [文字属性] をクリックして [その他] を選択します。[段落属性] や [文字属性] の一覧でスタイルを設定したい属性を選択し、スタイル をクリックします。

[ブックマークの設定] ダイアログボックス



色を選択する画面



※画面外をクリックするか ESC キーを押すと、色の選択をキャンセルできます。

現在の色

現在設定されている色が表示されます。

現在のパレット

現在使用しているパレットの名前が表示されます。

ブックマーク名

入力欄に、ブックマークの名前を入力します。

入力欄の下には、サイト内に設定済みのブックマークが一覧表示されます。

※パーツにブックマークを設定したい場合は、パーツのスタイルを利用します。

※設定したブックマークにカーソルをすばやく移動したり、ブックマークを削除したりするには、[サイト-ブックマークの一覧]を実行します。

色の一覧には、パレットに登録されている色(5色)と、明度のバリエーション、黒色・白色が表示されます。これから設定する色をクリックします。

使用履歴

最近使用した色が表示されます。これから設定する色をクリックします。

スポイト

画面上の色を取得します。**スポイト** をクリック後、画面上をクリックすると、クリックした位置の色が設定されます。

パレット変更

使用するパレットを変更します。

カスタム

基本色の選択や色の作成、作成した色の選択を行えます。

色には透明度を設定することができます。

画像の操作ボタン

画像のパーツやサイトタイトルのパーツを選択したときは、画像ファイルの選択や画像の編集などを行うための操作ボタンも表示されます。



※表示されるボタンの数が少ないとき(  など)は、  をクリックします。ボタンが表示されて、設定できるようになります。

1. 画像の選択、ロゴ画像の選択

画像ファイルを選択・変更します。

2. 画像の編集、ロゴ画像の編集

画像を、画像編集ソフトを起動して編集します。

編集する画像ソフトは、ホームページ・ビルダーに付属のウェブアート デザイナー、通常お使いの画像エディター、またはイメージ デザイナー*1 から選択できます。

*1「イメージ デザイナー」は、ホームページ・ビルダー 21 に付属していた画像編集ソフトです。

ホームページ・ビルダー 21 SP で作成したページの画像を編集する際に、イメージ デザイナーがインストールされている場合にだけ、選択できます。

※画像ファイルをまだ選択していない画像パーツの場合は、画像編集ソフトを起動して、新しい画像を作成することができます。

3. リンクの設定／解除

画像にリンクを設定したり、リンクの設定を解除したりします。

▶ P.112 [リンクの設定]ダイアログボックス

4. ロゴ画像の解除

ロゴ画像を削除します。

◆ 付録 2 : 転送のトラブル Q&A 集

ホームページビルダー SP で、サイトの転送中、または転送完了後に起こりやすい問題の原因と対処方法を説明します。

Q1 転送中にエラーメッセージが表示される

A 転送中にエラーメッセージが表示される原因として、転送設定に誤りがある場合や、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれている場合などが考えられます。

現象	エラーメッセージの例	確認事項
ユーザー ID やパスワードがまちがっているというメッセージが表示される	「FTP アカウント または FTP パスワードが正しくありません。」	▶ P.143 確認事項 1 :
サーバーへ接続ができないというメッセージが表示される	「サーバーが見つかりません。」	▶ P.143 確認事項 1 : ▶ P.145 確認事項 5 : ▶ P.145 確認事項 6 :
宛先フォルダー / ファイルや、転送先のフォルダーの指定がまちがっているというメッセージが表示される	「転送先フォルダが存在しません。」	▶ P.144 確認事項 3 :
転送先のフォルダーに日本語や全角文字などが含まれている	「転送先フォルダに、日本語や全角文字などサーバーによっては処理できない文字が含まれています。」	▶ P.144 確認事項 3 :
特定のファイル名が表示されている	「ファイル/xxxx.html の転送中にエラーが発生しました。」	▶ P.145 確認事項 4 :
そのほかのエラーが表示されている		▶ P.143 確認事項 1 : ▶ P.144 確認事項 3 : ▶ P.145 確認事項 4 : ▶ P.145 確認事項 5 : ▶ P.145 確認事項 6 :

Q2 転送中に画面が止まってしまう／転送に時間がかかる／転送が遅い

A [サイトの公開]ダイアログボックスで「公開」をクリックしたとき、またはファイル転送ツールの画面で「接続」をクリックしたときに、次のような現象が起こることがあります。

現象	確認事項
何も反応がない	▶ P.144 確認事項 2 : ▶ P.145 確認事項 5 : ▶ P.145 確認事項 6 :
[ファイル転送中]ダイアログボックスの目盛りがまったく進まない、または遅い	
転送／接続するのに時間がかかる	
接続してもサーバー側に何も表示されない	

Q3 転送完了後にホームページが正しく表示されない

A サイトの転送が正常に完了したあとに、ホームページや画像が表示されない場合は、次の項目を確認してください。

現象	確認事項
転送した内容がブラウザで表示されない	▶ P.146 確認事項 8 : ▶ P.144 確認事項 3 : ▶ P.146 確認事項 7 : ▶ P.147 確認事項 9 :
トップページが表示されない	▶ P.146 確認事項 7 : ▶ P.146 確認事項 8 : ▶ P.147 確認事項 9 : ▶ P.144 確認事項 3 :
トップページ以外のページが表示されない	▶ P.147 確認事項 9 : ▶ P.146 確認事項 8 :
画像が表示されない	▶ P.144 確認事項 3 :
文字化けしている	▶ P.148 確認事項 10 :

Q4 「転送は完了しましたが、アクセス権は変更できませんでした」というメッセージが表示された

A 転送先フォルダーがまちがっている可能性があります。
▶ P.144 確認事項 3:転送先フォルダーを確認する

Q5 [プロバイダの選択]の一覧にないプロバイダーやサーバーに転送したい

A [プロバイダの選択]の一覧にないプロバイダーやサーバーの転送設定を行うときは、次の操作を行います。

1. [プロバイダの選択]で[その他]を選択します。
2. [FTP サーバー名] / [FTP アカウント名] / [FTP パスワード] / [転送先フォルダ]に、プロバイダーなどから通知された転送先のサーバー名 / ユーザー ID / パスワード / 転送先フォルダーを入力します。

※プロバイダーなどから通知された内容については、プロバイダーやサーバー管理者にお問い合わせください。

Q6 パッシブ モードで転送したい

A [転送設定]ダイアログボックスの[詳細設定]タブでパッシブ モードを有効に設定すると、パッシブモードで転送できるようになります。

▶ P.145 確認事項 5:パッシブ モードが有効になっているか確認する

転送の確認事項

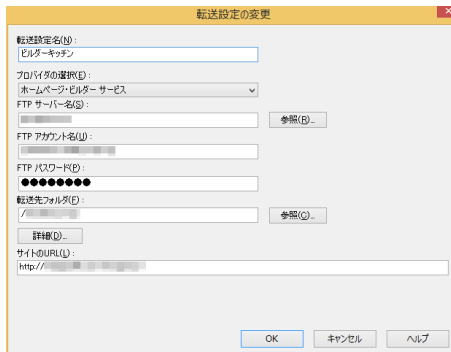
ホームページビルダー SP で、転送のトラブルが起こったときに確認してください。

確認事項 1：転送設定を確認する

転送先の FTP サーバー名、FTP アカウント名、FTP パスワード、および転送先フォルダーが、半角英数字で大文字と小文字をまちがえずに正しく入力されているかを確認します。転送設定に必要な情報が不明な場合は、プロバイダーやサーバー管理者に確認してください。

項目	確認事項
FTP サーバー名	<ul style="list-style-type: none">● ブラウザーの接続や電子メール送受信のためのサーバーを指定していないか● 全角文字で指定していないか● 大文字と小文字をまちがえていないか
FTP アカウント名、FTP パスワード	<ul style="list-style-type: none">● 全角文字で指定していないか● 大文字と小文字をまちがえていないか
転送先フォルダ	<ul style="list-style-type: none">● 全角文字で指定していないか● 大文字と小文字をまちがえていないか● フォルダー名の先頭に「/」を付ける必要がないのに付けていないか、または付ける必要があるのに忘れていないか● 指定し忘れていないか

1. ホームページビルダー SP のメニューバーから[サイト-転送設定の一覧/設定]を選択します。
[転送設定一覧/設定]ダイアログボックスが表示されます。
2. 一覧から確認したい転送設定を選択して、**変更**をクリックします。
[転送設定の変更]ダイアログボックスが表示されます。
3. 設定内容を確認し、まちがいがあれば修正します。



* 画面は通常サイトのものです。WordPress サイトの転送設定の場合は、[ダッシュボードの URL]の項目も表示されます。

確認事項 2 : 別の転送設定を作成して確認する

別の転送設定を作成し、その転送設定を使って転送してどうかを確認します。

▶ P.66 手順 2 : 転送の設定をする(通常サイト)、▶ P.72 手順 2 : 転送の設定をする(WordPress サイト)

- エラーメッセージが表示された場合
 - エラーメッセージの現象に応じた確認事項を試します。
 - ▶ P.141 **Q1** 転送中にエラーメッセージが表示される
 - 原因として可能性が高いのは、転送設定の誤りです。
転送設定が正しいかを確認してください。
 - ▶ P.144 確認事項 1 : 転送設定を確認する
 - エラーメッセージが表示されず、転送したサイトが正しく更新されている場合
転送設定自体に問題はありません。
セキュリティソフトや通信環境によって時間がかかっているだけの可能性があります。セキュリティソフトの影響や通信環境を確認してください。
 - ▶ P.145 確認事項 6 : セキュリティソフトの影響を確認する

確認事項 3 : 転送先フォルダーを確認する

転送先フォルダーとは、ホームページを転送する場所としてプロバイダーやサーバーが定めているフォルダーです。

転送先フォルダーがまちがっていると、転送中にエラーが表示されたり、転送が完了してもインターネット上でホームページが表示されなかったりすることがあります。[転送先フォルダ]がプロバイダーなどから通知されたとおりに、半角英数字で正しく設定されているかどうかを確認し、まちがいがあれば修正します。[転送先フォルダ]の右側にある **参照** から転送先フォルダーを設定することができます。

▶ P.144 確認事項 1 : 転送設定を確認する

！注意 [転送先フォルダ]は、プロバイダーなどから通知されたとおりに設定してください

例えば、「public_html にデータを置いてください。」と通知された場合は、[転送先フォルダ]に「public_html」と設定します。このとき先頭に「/」は必要ありません。

また、「/home/userxxx (あなたのアカウント)にデータを置いてください。」と通知された場合は、先頭に「/」が付いた、「/home/userxxx」と設定します。例えば、あなたのアカウントが「yamada」の場合は「/home/yamada」となります。

確認事項 4：サーバーの空き容量を超えて転送していないか確認する

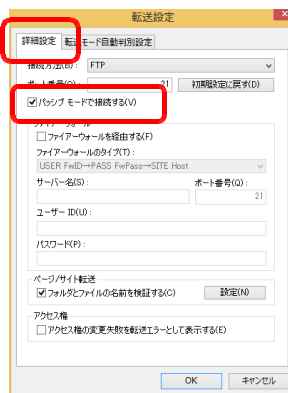
プロバイダーやサーバーで決められている制限容量を超えると、ファイルを転送できなくなります。これまでにサーバーへ転送したファイルのうち、使っていないファイルを削除するか、サーバーの容量を増やしてください。

サーバー側の空き容量を調べたり、サーバーの容量を増やしたりする方法については、プロバイダーまたはサーバー管理者に確認してください。

確認事項 5：パッシブ モードが有効になっているか確認する

ADSL や光ファイバー、CATV などの常時接続の回線やルーターを使って転送する場合は、パッシブ モードで接続する必要がある場合があります。常時接続環境にしてからファイルの転送ができなくなった場合には、次の操作をして、パッシブ モードを有効にしてから転送してください。

1. ホームページビルダー SP のメニューバーから[サイト-転送設定の一覧/設定]を選択します。
[転送設定一覧/設定]ダイアログボックスが表示されます。
2. 一覧から確認したい転送設定を選択して、**変更** をクリックします。
[転送設定の変更]ダイアログボックスが表示されます。
3. **詳細** をクリックします。
4. [詳細設定]タブをクリックし、[パッシブ モードで接続する]をオンにします。



確認事項 6：セキュリティソフトの影響を確認する

セキュリティソフトがインストールされている場合は、セキュリティ面を考慮して外部との接続が制限されることがあります。

セキュリティソフトがホームページの転送を遮断したり、制限したりしていないかを確認してください。確認方法や設定方法について詳しくは、セキュリティソフトのメーカーに確認してください。

！注意 ルーターやモデムの(セキュリティ)設定が原因の場合もあります

セキュリティソフトと同様に、ルーターまたはモデムがホームページの転送を遮断したり、制限したりしていないかを確認してください。確認方法や設定方法について詳しくは、ルーターまたはモデムのメーカーに確認してください。

確認事項 7 : ブラウザーに指定したアドレス (URL) を確認する

ブラウザーの入力欄にホームページのアドレス (URL) を入力してページを表示しようとしていた場合は、アドレスが正しいかどうかを確認してください。アドレスがまちがっていると、ホームページは表示されません。

確認事項 8 : ブラウザーの表示内容を更新する

ブラウザーに以前に閲覧した情報が残っていて、過去の内容を表示していることがあります。ブラウザーの表示内容を更新してください。

- **ブラウザーの[最新の情報に更新]ボタンをクリックするか F5 キーを押して、表示内容を最新の情報に更新する**

更新方法はお使いのブラウザーによって異なります。詳しくは、ブラウザーのヘルプなどをご覧ください。

- **キャッシュ(インターネット一時ファイル)を削除する**

削除方法は、お使いのブラウザーや、ブラウザーのバージョンによって異なります。詳しくは、ブラウザーのヘルプなどをご覧ください。

Microsoft Edge の場合、次の操作で削除します。

1. ブラウザー画面右上の **...** をクリックし、メニューから **[設定]** を選択します。
2. 表示された画面の左側で **[プライバシーとセキュリティ]** を選択し、画面の右側で **[閲覧データのクリア]** にある **クリアするデータの選択** をクリックします。
3. **[キャッシュされたデータとファイル]** の項目をオンにし、**クリア** をクリックします。

確認事項 9 : サーバーのファイルが更新されているか確認する

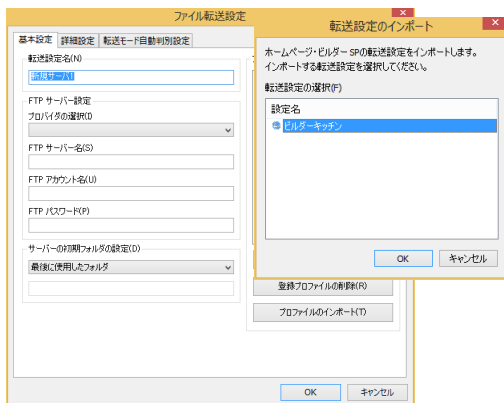
ホームページビルダー SP に付属のファイル転送ツール(FTP ツール)で、サーバーに転送されたファイルが最新の状態かどうか確認してください。

1 ファイル転送ツールで転送設定を作成する

ホームページビルダー SP で設定した転送設定をファイル転送ツールにインポートします。

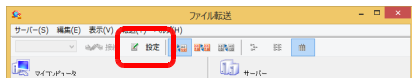
1. ホームページビルダー SP のメニューバーから[ツール-ファイル転送ツールの起動]を選択します。

ファイル転送ツールが起動し、[ファイル転送設定]ダイアログボックス、続けて[転送設定のインポート]ダイアログボックスが自動的に表示されます。



※[転送設定のインポート]ダイアログボックスが自動的に表示されなかった場合は、次の操作でダイアログボックスを表示します。

1. ファイル転送ツールの画面上部の **設定** をクリックし、[ファイル転送設定]ダイアログボックスを表示します。



2. [基本設定]タブをクリックし、右下にある **プロフィールのインポート** をクリックします。

2. サーバーのファイルを確認したい転送設定を選択します。

3. **OK** をクリックします。

転送設定がインポートされ、[ファイル転送設定]ダイアログボックスの各項目に設定内容が反映されます。

4. **OK** をクリックします。

ダイアログボックスが閉じ、ファイル転送ツールに転送設定が作成されます。

2 サーバーのファイルを確認する

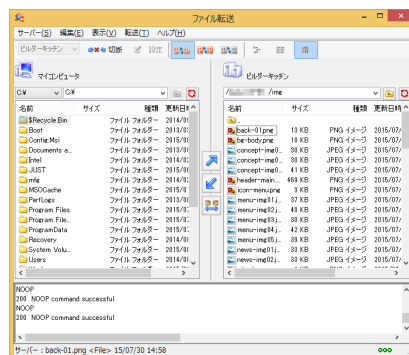
1. ファイル転送ツールの画面の左上でサーバーのファイルを確認したい転送設定を選択し、**接続** をクリックします。



サーバーに接続し、画面右側に、サーバーのフォルダーやファイルが表示されます。

※画面左側には、パソコン内のファイルが表示されます。

2. 画面右側で、ファイル名や更新日時を確認します。



確認事項 10 : OS の地域と言語の設定、ブラウザの表示などを確認する

ページの文字が文字化けしている場合、複数の原因が考えられます。次の手順で確認します。

1 地域や言語の設定を確認する

1. Windows 10 の[スタート]ボタンをクリックし、アプリ一覧から[Windows システムツール-コントロールパネル]を選択し、[日付、時刻、数値形式の変更]をクリックします。

※ Windows 8.1 の場合は、Windows の[スタート]ボタンを右クリックし、表示されるメニューから[コントロールパネル]を選択し、[日付、時刻、または数値の形式の変更]をクリックします。

2. 地域や言語の設定が、次のようになっているかを確認します。

- [形式]シートの[形式]…[日本語(日本)]
- [管理]シートの[Unicode 対応ではないプログラムの言語]…[日本語(日本)]

※ Windows 8.1 の場合は、[場所]シートの[主な使用場所]が[日本]になっているかも確認します。

3. 上記の設定になっていない場合は、上記のように設定します。

上記の設定になっている場合は、いったん「英語(米国)」 「米国」など日本語・日本以外の設定に変更します。OK をクリックしてパソコンを再起動したあと、再度上記の操作を行って日本語・日本の設定に戻します。

2 フォントの情報ファイルを更新する

フォントキャッシュ更新ツールでフォントの情報ファイルを更新し、Windows を再起動して確認します。

3 ブラウザーの表示を確認する

ここでは Microsoft Edge の場合の方法を説明します。

※お使いのブラウザによっては、操作が異なる場合があります。

1. ブラウザーの[最新の情報に更新]ボタンをクリックするか、F5 キーを押して、表示内容を最新の情報に更新します。

2. 別の種類のブラウザで表示したときも文字化けするか確認します。

※エンコードの設定を変更できるブラウザの場合は、設定を変更しても文字化けするか確認します。

◆ 付録 3 : データ移行の Q&A 集

Q7 ほかのパソコンにあるホームページビルダー SP のデータを使いたい

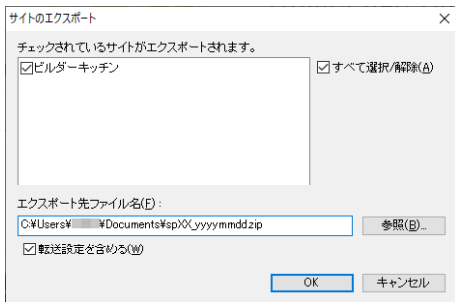
A 次の手順で、ホームページビルダー SP のデータと転送設定のエクスポート、インポートを行います。

※ホームページビルダー SP のアプリケーションの設定 (オプションの設定など) は、ほかのパソコンから引き継ぐことはできません。本製品であらためて設定してください。

1 ほかのパソコンでデータをエクスポートする

1. ほかのパソコンのホームページビルダー SP で、メニューバーから [サイト・サイトのエクスポート] を選択します。
2. エクスポートしたいサイトをオンにし、[エクスポート先ファイル名] にエクスポート先とファイル名を設定し、**OK** をクリックします。

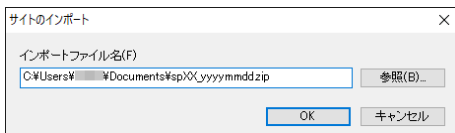
※ [転送設定を含める] をオンにすると、転送設定もいっしょにバックアップできます。



3. USB メモリなどを使い、操作 **1**-**2**. でエクスポートしたデータ (* .zip) を、本製品をインストールしたパソコンにコピーします。

2 本製品をインストールしたパソコンで、データをインポートする

1. ほかのパソコンのホームページビルダー SP で、メニューバーから [サイト・サイトのインポート] を選択します。
2. [インポートファイル名] に、操作 **1**-**3**. でコピーしたデータ (* .zip) を設定し、**OK** をクリックします。



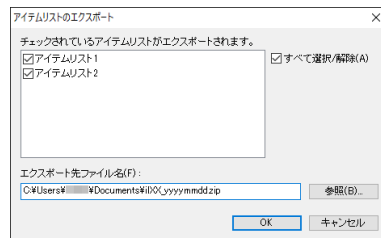
3. [インポートされたサイト] ダイアログボックスでサイトを確認し、**閉じる** をクリックします。

アイテムギャラリーのパーツを配置している場合

アイテムギャラリーで表示するアイテムデータは、左記の操作ではエクスポート・インポートされません。サイトとは別にエクスポート・インポートします。

● ほかのパソコンで、アイテムデータをエクスポートする

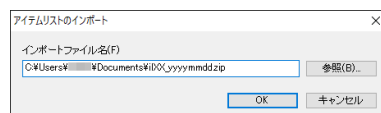
1. ホームページビルダー SP のメニューバーから [サイト・データ管理-アイテムデータ] を選択します。
2. [アイテムデータの管理] ダイアログボックスで **アイテムリスト** をクリックし、表示されたメニューから [エクスポート] を選択します。
3. エクスポートしたいアイテムリストをオンにし、[エクスポート先ファイル名] にエクスポート先とファイル名を設定し、**OK** をクリックします。



4. USB メモリなどを使い、エクスポートしたデータ (* .zip) を、本製品をインストールしたパソコンにコピーします。

● 本製品をインストールしたパソコンで、アイテムデータをインポートする

1. ホームページビルダー SP のメニューバーから [サイト・データ管理-アイテムデータ] を選択します。
2. [アイテムデータの管理] ダイアログボックスで **アイテムリスト** をクリックし、表示されたメニューから [インポート] を選択します。
3. [インポートファイル名] に、パソコンにコピーしたデータ (* .zip) を設定し、**OK** をクリックします。



4. [インポートされたアイテムリスト] ダイアログボックスでアイテムリストを確認し、**閉じる** をクリックします。